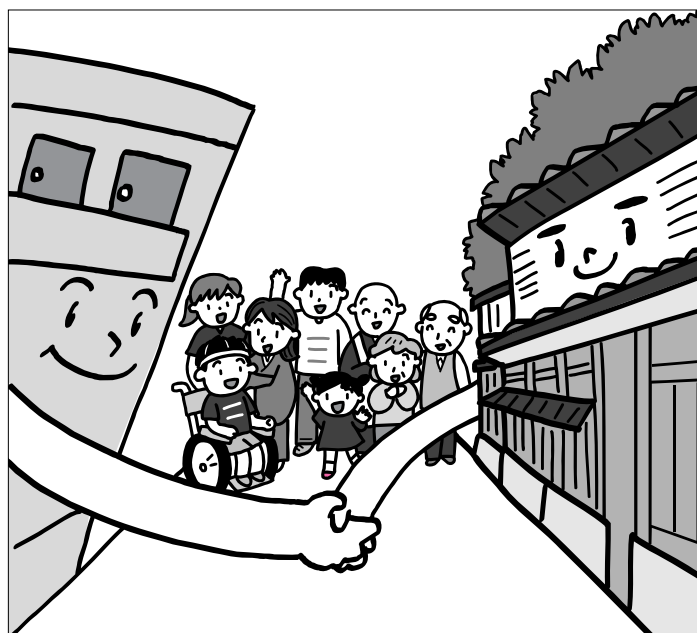


# 中京区民のくらしの 実態と地域福祉の課題

中京区民生活実態調査結果と区民フォーラム1. シンポジストの報告



社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会  
中京区地域福祉活動計画策定委員会



はじめに

平成13年9月から約1年半にわたって中京区地域福祉活動計画を策定してまいりました。その過程で、中京区にお住まいの方々の暮らしむきや、どのようなことを望んでおられるかを把握するため、平成14年3月に区民生活実態調査を実施しました。中京区23学区を特徴的な6つのパターンに分類し、その代表的な学区を6学区（富有学区・教業学区・龍池学区・立誠学区・朱一学区・朱五学区）を選定し、それぞれ1～2カ町の全世帯のみなさまにご協力いただきました。

また中京区のまちで、福祉の活動を展開しておられる関係者の方から、日頃の活動や活動上の課題をお話ししていただく場として、平成14年7月10日に区民フォーラム1を開催をし、約250名の区民のみなさまにお集まりをいただきました。

この冊子では、このような作業を踏まえてとりまとめました中京区地域福祉活動計画の第2部「中京区民の生活の変化と区内の地域福祉活動」の基礎となる詳細なデータと、区民フォーラム1シンポジウムでのシンポジストの報告を収録しました。

中京区地域福祉活動計画とともに、本冊子を今後の地域での「やさしいまちづくり」に活かしていただきたいと思います。

最後に、お忙しいなかこの区民生活実態調査の調査表づくりから集約までを中心的に携わっていただきました中京区地域福祉活動計画策定作業委員長の藤井伸生さま、区民フォーラム1の起稿をしていただきました作業委員の小林敬子さまはじめ、ご尽力をいただきました関係者のみなさま、そして区民生活実態調査にご協力いただきました区民のみなさまにこの場を借りまして厚くお礼申し上げます。

平成15年3月

社会福祉法人中京区社会福祉協議会会長  
中京区地域福祉活動計画策定委員長

川口東嶺

# 目 次

はじめに	1
<b>第一部 中京区民の暮らしと地域福祉に関する実態調査の結果</b>	
<b>I 調査の目的と方法</b>	7
1 調査の目的	7
2 調査の内容	7
3 調査の方法	8
4 調査時期と回収率	9
<b>II 基本的な特徴</b>	10
1 階層（生計中心者の仕事）	10
2 生計中心者の勤務先	12
3 配偶者の就業状況	13
4 生計中心者の性	14
5 生計中心者の年齢	15
6 世帯構成	16
7 住まいの形態	17
<b>III 暮らしを支える条件</b>	17
1 居住期間	19
2 近所づきあい	23
3 相談相手	28
4 地域活動への参加状況	38
<b>IV 生活問題</b>	38
1 健康状態	38
2 暮らしや医療の面での困りごと	40
3 家計状況	42
4 食生活	44
5 住まいの困りごと	46
<b>V 地域生活問題</b>	48
1 地域で日頃何とかしなければならないと思っていること	48
2 地域別にみた地域生活問題	50
3 地域活動と地域生活問題	58
<b>VI 子どもの問題</b>	60
1 子どものいる世帯	60
2 子どもの年齢	62
3 子どもの昼間の様子	64

4	幼稚園やおけいこごとの状況	66
5	家での過ごし方	68
6	子育て上の不安や悩み	70
<b>Ⅶ</b>	<b>高齢者・障害者の問題</b>	<b>74</b>
1	高齢者のいる世帯	74
2	昼間独居高齢者のいる世帯	78
3	要介護者のいる世帯	79
4	要介護者の続柄	80
5	介護をしている人	82
6	介護上の困りごと	86
<b>Ⅷ</b>	<b>ボランティア活動の状況</b>	<b>92</b>
1	ボランティア活動の内容	92
2	ボランティア活動に参加している人	94
3	ボランティア活動に参加してよかったこと	96
4	ボランティア活動の中で日頃感じていること	98
<b>Ⅸ</b>	<b>活動拠点の整備状況</b>	<b>100</b>
<b>X</b>	<b>施設の周知・利用状況及びかかりつけ医</b>	<b>104</b>
<b>XI</b>	<b>定住意向、中京区の良さ、まちづくりに必要なこと</b>	<b>110</b>
1	定住意向	110
2	中京区の良さ	112
3	まちづくりに必要なこと	115

## **第二部 中京区民の福祉のまちづくり 区民フォーラム1.シンポジストの報告**

報告〈1〉	学区社会福祉協議会の取り組み	122
報告〈2〉	区内の高齢者を支える関係施設から	124
報告〈3〉	地域子育て支援拡充事業からみる子育ての現状と課題	127
報告〈4〉	開かれた施設づくりと新しい福祉のまちづくり	131



## 第一部

# 中京区民のくらしと地域福祉に関する 実態調査の結果





# I 調査の目的と方法

## 1 調査の目的

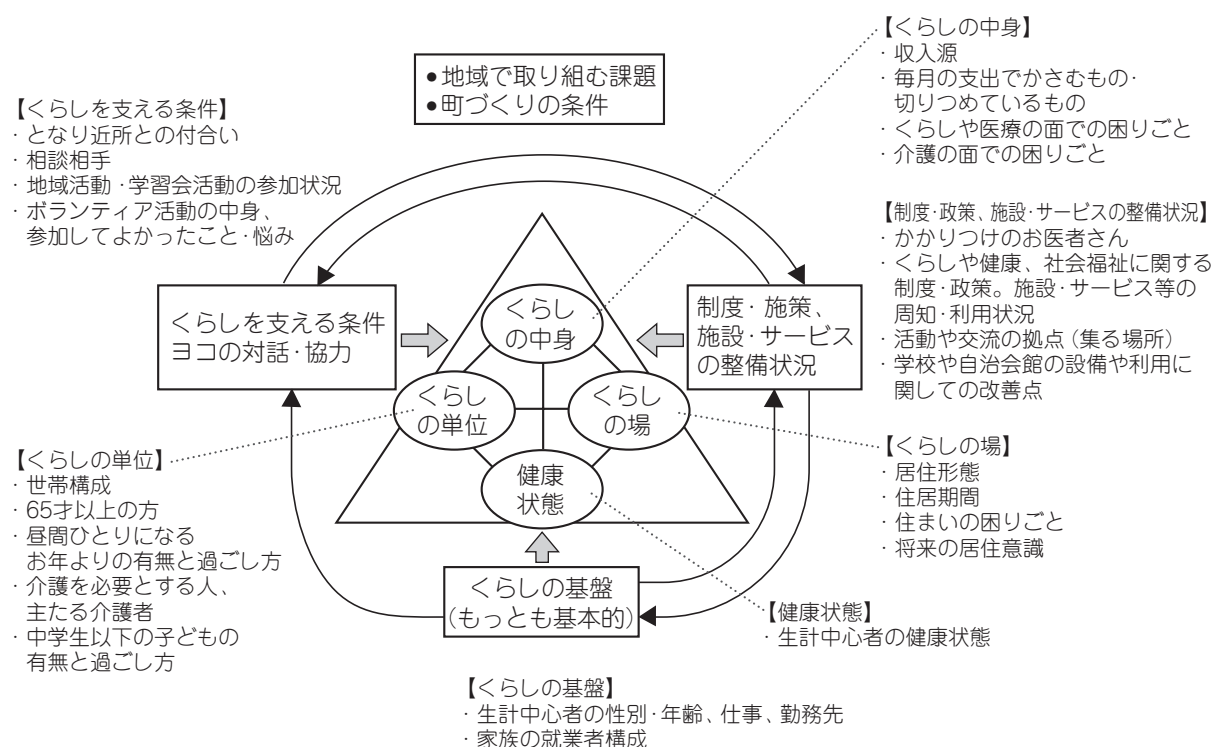
今回の調査は、中京区社会福祉協議会及び中京区地域福祉活動計画策定委員会において「中京区地域福祉活動計画」を策定するにあたって、基礎データを得るために実施したものである。

地域福祉活動計画の策定には、区民がかかえているくらしの課題を明らかにすることが出発点といえる。また、現時点での地域活動やボランティア活動がどの程度展開されているかを把握することによって、くらしの問題解決の方向性を探ることもできる。このような問題意識で、今回の「中京区民のくらしと地域福祉に関する実態調査（中京区民生活実態調査）」を実施した。

## 2 調査の内容

上記の調査目的を達成するため、以下のような調査の柱と枠組みをたてて調査を実施した。具体的な調査項目は付録に示したとおりである。

中京区民のくらしと地域福祉活動の課題と条件をとらえるための柱と枠組み



### 3 調査の方法

調査方法としては、まず、元学区ごとに世帯数の増減状況と人口密度をクロスし、9つの地域区分を行った（なお、実際にあてはまる地域区分は6つであった）。その6区分のなかから、それぞれ一つの元学区を選定し、該当元学区で100世帯程度になるよう2～3の町内会に協力をしてもらおうという形で、調査対象世帯を抽出した。

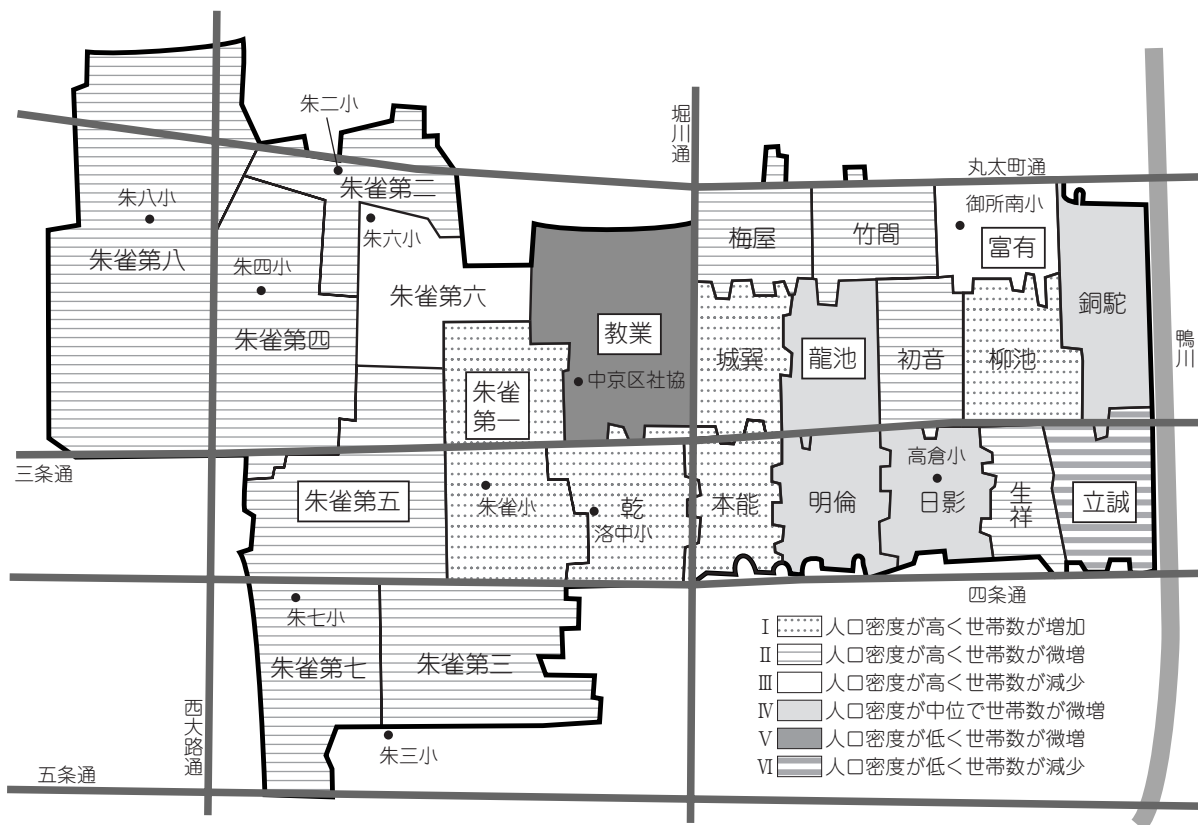
世帯数の増減状況や地域区分の結果は以下の通りである。

#### 調査対象選定のための中京区学区基礎データ

調査対象学区は太字斜字で掲載

学 区	面積 km <sup>2</sup>	人口 人口	人口密度 人/km <sup>2</sup>	世帯数		世帯数の 増減率 1970年～ 2000年 (d) / (c)	高齢化率	地域類型
				1970年 (c)	2000年 (d)			
	(a)	(b)	(b) / (a)					
梅屋	0.227	3,325	14,648	1,325	1,556	1.17	2.14%	Ⅱ
竹間	0.187	2,229	11,920	871	1,067	1.23	23.3%	Ⅱ
<b>富</b>	0.173	1,935	11,185	932	821	0.88	24.7%	Ⅲ
<b>教</b>	0.423	2,087	4,934	877	1,023	1.17	22.5%	Ⅴ
城翼	0.224	3,686	16,455	1,101	1,923	1.75	19.4%	Ⅰ
龍池	0.182	1,693	9,302	645	933	1.45	21.6%	Ⅳ
初音	0.189	2,196	11,619	899	1,176	1.31	20.6%	Ⅱ
柳池	0.228	2,810	12,325	920	1,450	1.58	21.3%	Ⅰ
銅駝	0.307	2,041	6,648	954	1,216	1.27	22.4%	Ⅳ
乾	0.221	3,978	18,000	1,310	1,998	1.53	18.6%	Ⅰ
本能	0.197	3,095	15,711	949	1,530	1.61	20.2%	Ⅰ
明倫	0.215	1,931	8,981	726	975	1.34	22.1%	Ⅳ
日彰	0.208	2,025	9,736	787	1,010	1.28	21.4%	Ⅳ
生祥	0.128	1,772	13,844	658	920	1.40	21.5%	Ⅱ
<b>立</b>	0.259	1,003	3,873	976	414	0.42	28.1%	Ⅵ
朱一	0.557	9,282	16,666	2,893	4,533	1.57	17.5%	Ⅰ
朱二	0.301	5,468	18,166	2,261	2,441	1.08	19.7%	Ⅱ
朱三	0.426	7,233	16,979	2,374	3,395	1.43	20.6%	Ⅱ
朱四	0.47	7,078	15,060	2,504	3,321	1.33	15.4%	Ⅱ
<b>朱</b>	0.513	8,230	16,043	2,736	3,645	1.33	19.4%	Ⅱ
朱六	0.295	4,474	15,166	1,979	1,817	0.92	21.8%	Ⅲ
朱七	0.395	6,328	16,020	2,482	2,862	1.15	20.1%	Ⅱ
朱八	1.022	11,135	10,895	3,537	4,793	1.36	16.2%	Ⅱ
	7.347	95,034	12,935	34,697	44,819	1.29	19.5%	Ⅱ

		世帯数増減率		
		1.5以上	1.0～1.4	1.0未満
人口 密度	一万以上	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
	5千以上		Ⅳ	
	5千未満		Ⅴ	Ⅵ



調査方法は、今回の調査にあたっての事前学習会に参加した調査員が、各世帯を一軒ずつ訪問し対話するといった、聞き取り調査法を基本的に用いた。なお、聞き取りが時間的にできない場合などにおいては、部分的に留め置き調査法も併用した。

#### 4 調査時期と回収率

調査時期は、2002年3月1日～9日の9日間であった。

本調査の回収状況は、以下の表に示した通り、73.2%（48世帯/663世帯）であった。

##### 回収状況

学区	対象世帯数	調査不能			拒否	回収
		不在	入院	その他		
I 朱雀第一	117	14	1		14	88
II 朱雀第五	93	4	1		9	79
III 富有	107	9	2		8	88
IV 龍池	160	56		2	14	88
V 教業	115	26			12	77
VI 立誠	71	3			3	65
合計	663	112	4	2	60	485

\*不在112世帯の内、99世帯（88.4%）がマンションなど集合住宅であった。

\*拒否理由としては、「回答しても意味がない・何も変わらない」といった意見や調査に対する警戒心から「うちはいいです」との反応が目立った。

## Ⅱ 基本的な特徴

### 1 階層（生計中心者の仕事）

それぞれの世帯のくらしの中身を決定づける基本的な要因は、それぞれの世帯の生計中心者がどのような仕事をしているか、つまりいかなる階層に属しているかによるといえる。表1に示したような分類に基づいて今回の調査結果をみると、表2に示した通りである。

表1 階層の種類

経営者層	他人を3人以上雇って事業を営んでいる 部長（規模300人以上）以上の管理職
ホワイトカラー層	専門・技術職 規模30人以上の事業所の事務職・セールス 事務系の公務員
ブルーカラー層	規模30人以上の事業所の現場・労務職 事務系でない公務員
不安定雇用者層	規模30人未満の事業所に雇われている 商業・サービス関係に雇われている 運転手・職人・臨時・嘱託・日雇・パートタイマー・内職
自営業者層	主として家族でやっている自営業
無業者層	収入のある仕事についていない

表2 階層別にみた生計中心者の仕事

		問3 生計中心者の仕事														
		合計	に収 つ入 のい あて るい 仕 事	(内訳 [%は内数])												事務 系 の 公 務 員
				事 業 を 営 ん で い る 3 人 以 上	主 と し て 家 族 で 営 ん で い る 自 営 業	商 業	サ ー ビ ス 業	製 造 業	建 設 業	運 送 業	そ の 他	部 長 以 上 の 管 理 職	専 門 ・ 技 術 職	30 人 以 上 の 事 業 所 の 事 務 ・ セ ー ル ス	30 人 以 上 の 事 業 所 の 現 場 ・ 労 務 職	
全	体	485 100.0	342 100.0	41 12.0	164 48.0	47 13.7	37 10.8	32 9.4	3 0.9	1 0.3	39 11.4	6 1.8	14 4.1	30 8.8	16 4.7	9 2.6
階 層	経営者層	47 100.0	47 100.0	41 87.2	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	6 12.8	- -	- -	- -	- -
	ホワイトカラー層	53 100.0	53 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	14 26.4	30 56.6	- -	9 17.0
	ブルーカラー層	25 100.0	25 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	16 64.0	- -
	不安定雇用者層	53 100.0	53 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	自営業者層	164 100.0	164 100.0	- -	164 100.0	47 28.7	37 22.6	32 19.5	3 1.8	1 0.6	39 23.8	- -	- -	- -	- -	- -
無業者層	143 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

最も比率が高かったのが自営業層で33.8%、ついで無業者層が29.5%。以下、ホワイトカラー層が10.9%、不安定雇用者層が10.9%、経営者層が9.7%、ブルーカラー層が5.2%であった。京都市の中心部であるということも反映して、自営業層が三分の一を占めているのが特徴的である。また高齢者が約9割を占めている無業者層も約3割であった。なお雇用者層も約3割存在していることも今日の特徴として見逃せない。

地域別にみると（表3）、立誠において自営業層が約7割と非常に高率なのが目につく。富有と龍池は、無業者層が他の地域に比べて高い。朱一・朱五・教業は、雇用者層の比率が他の地域に比べて高くなっている。

表3 地域別にみた階層

	上段：実数 下段：横%	合 計	階層						無 回 答
			経 営 者 層	カ ホ ラ ワ ー イ 層 ト	カ ブ ラ ー 層 I	雇 用 者 層 安 定	自 営 業 者 層	無 業 者 層	
全 体	485 100.0	47 9.7	53 10.9	25 5.2	53 10.9	164 33.8	143 29.5	- -	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	6 6.8	9 10.2	8 9.1	14 15.9	25 28.4	26 29.5	- -
	朱 雀 第 五	79 100.0	7 8.9	4 5.1	9 11.4	13 16.5	22 27.8	24 30.4	- -
	富 有	88 100.0	9 10.2	8 9.1	2 2.3	11 12.5	25 28.4	33 37.5	- -
	龍 池	88 100.0	10 11.4	15 17.0	3 3.4	6 6.8	24 27.3	30 34.1	- -
	教 業	77 100.0	7 9.1	13 16.9	3 3.9	9 11.7	23 29.9	22 28.6	- -
	立 誠	65 100.0	8 12.3	4 6.2	- -	- -	45 69.2	8 12.3	- -

公 事 務 系 で な い 員	所 に 雇 わ れ て い る	30 人 未 満 の 事 業	に 雇 わ れ て い る	商 業 ・ サ ー ビ ス 業	運 転 手	職 人	臨 時 ・ 嘱 託 ・ 日 雇	パ ー ト タ イ マ ー	内 職	そ の 他	無 回 答	仕 現 在 に 関 し て の 収 入 の 有 無	（無業の理由 [%は内数]）									
													老 齢	定 年	障 害	病 気	失 業	家 事	そ の 他	学 生	無 回 答	
9 2.6	12 3.5	19 5.6	3 0.9	6 1.8	4 1.2	6 1.8	3 0.9	1 0.3	-	143 100.0	88 61.5	37 25.9	1 0.7	5 3.5	7 4.9	-	-	10 7.0	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
9 36.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
-	12 22.6	19 35.8	3 5.7	6 11.3	4 7.5	6 11.3	3 5.7	1 1.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	143 100.0	88 61.5	37 25.9	1 0.7	5 3.5	7 4.9	-	-	10 7.0	-			

## 2 生計中心者の勤務先

生計中心者の勤務先は、自営業者層が多いことを反映して、「自宅」が41.2%と最も高率である。つぎに高い比率になっているのは、「京都市内」で25.4%、「中京区内」が20.5%、そして「大阪府内」が7.3%となっている（表4）。

階層別にみると、自営業者層は「自宅」が圧倒的に高く70.1%を占めている。ホワイトカラー層の場合、「大阪府内」が22.6%と相対的に高くなっているのが特徴的である。

地域別にみると（表5）、自営業者層の比率が高い立誠では「自宅」が86.0%と高率である。ホワイトカラー層の比率が相対的に高かった龍池では、「大阪府内」が12.1%と相対的に高率である。

表4 階層別にみた生計中心者の勤務先

		合 計	問3□ 生計中心者の勤務先							無 回 答
			自 宅	中 京 区 内	京 都 市 内	京 都 府 内	大 阪 府 内	滋 賀 県 内	そ の 他	
全	体	342	141	70	87	6	25	4	8	1
		100.0	41.2	20.5	25.4	1.8	7.3	1.2	2.3	0.3
階 層	経 営 者 層	47	18	16	4	-	4	1	3	1
		100.0	38.3	34.0	8.5	-	8.5	2.1	6.4	2.1
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53	3	8	24	3	12	1	2	-
		100.0	5.7	15.1	45.3	5.7	22.6	1.9	3.8	-
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25	-	4	15	2	3	-	1	-
		100.0	-	16.0	60.0	8.0	12.0	-	4.0	-
層	不 安 定 雇 用 者 層	53	5	14	28	-	3	1	2	-
		100.0	9.4	26.4	52.8	-	5.7	1.9	3.8	-
	自 営 業 者 層	164	115	28	16	1	3	1	-	-
		100.0	70.1	17.1	9.8	0.6	1.8	0.6	-	-
	無 業 者 層	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-

表5 地域別にみた生計中心者の勤務先

		合 計	問3□ 生計中心者の勤務先							無 回 答
			自 宅	中 京 区 内	京 都 市 内	京 都 府 内	大 阪 府 内	滋 賀 県 内	そ の 他	
全	体	342	141	70	87	6	25	4	8	1
		100.0	41.2	20.5	25.4	1.8	7.3	1.2	2.3	0.3
地 域	朱 雀 第 一	62	11	19	25	2	3	1	1	-
		100.0	17.7	30.6	40.3	3.2	4.8	1.6	1.6	-
	朱 雀 第 五	55	23	9	16	2	5	-	-	-
		100.0	41.8	16.4	29.1	3.6	9.1	-	-	-
	富 有	55	23	14	12	-	5	1	-	-
		100.0	41.8	25.5	21.8	-	9.1	1.8	-	-
立 誠	龍 池	58	18	17	10	-	7	1	4	1
		100.0	31.0	29.3	17.2	-	12.1	1.7	6.9	1.7
	教 業	55	17	8	21	2	4	1	2	-
	100.0	30.9	14.5	38.2	3.6	7.3	1.8	3.6	-	
	立 誠	57	49	3	3	-	1	-	1	-
		100.0	86.0	5.3	5.3	-	1.8	-	1.8	-

### 3 配偶者の就業状況

配偶者がいる場合、その内「仕事についている」配偶者は55.0%で、半数以上が夫婦共働きといった実態であった（表6）。配偶者の就業の形態は、「家業の手伝い」が52.2%、雇用労働者が42.4%であった。雇用労働者といった場合、「常用雇用」と「パートタイマー」「臨時・日雇」が半々で、不安定就業者が多いといえる。

地域別にみると（表7）、夫婦共働きが高率なのは富有（60.7%）と立誠（73.9%）地域である。それに対して、夫婦共働き率が低いのは朱五（45.5%）と龍池（41.5%）地域である。

表6 階層別にみた配偶者の就業状況

上段：実数 下段：横%	合 計	問4 配偶者の就業状況											無 回 答	
		配偶者はいない	配偶者がいる	(就業状況 [%は内数])										
				て仕事についていない	い仕事についている	(内訳 [%は内数])								
						常用雇用	日臨時雇・	タパート	内職	手家伝業の	その他			
全 体	485 100.0	147 30.3	338 69.7	152 45.0	184 55.0	40 21.7	2 1.1	36 19.6	4 2.2	96 52.2	9 4.9	2 0.4		
階 層	営 業 者 層	47 100.0	5 10.6	42 89.4	9 21.4	33 78.6	16 48.5	1 3.0	3 9.1	- -	12 36.4	1 3.0	- -	
	ホワイトカラー層	53 100.0	9 17.0	44 83.0	25 56.8	19 43.2	6 31.6	- -	9 47.4	1 5.3	4 21.1	1 5.3	- -	
	ブルーカラー層	25 100.0	4 16.0	21 84.0	11 52.4	10 47.6	6 60.0	1 10.0	2 20.0	- -	- -	1 10.0	- -	
	不安定雇用者層	53 100.0	22 41.5	31 58.5	18 58.1	12 41.9	1 8.3	- -	7 58.3	1 8.3	- -	3 25.0	1 1.9	
	自営業者層	164 100.0	32 19.5	132 80.5	31 23.5	101 76.5	9 8.9	- -	11 10.9	1 1.0	78 77.2	3 3.0	- -	
	無業者層	143 100.0	75 52.4	68 47.6	58 85.3	9 14.7	2 22.2	- -	4 44.4	1 11.1	2 22.2	- -	1 0.7	

表7 地域別にみた配偶者の就業状況

上段：実数 下段：横%	合 計	問4 配偶者の就業状況											無 回 答	
		配偶者はいない	配偶者がいる	(就業状況 [%は内数])										
				て仕事についていない	い仕事についている	(内訳 [%は内数])								
						常用雇用	日臨時雇・	タパート	内職	手家伝業の	その他			
全 体	485 100.0	147 30.3	338 69.7	152 45.0	184 55.0	40 21.7	2 1.1	36 19.6	4 2.2	96 52.2	9 4.9	2 0.4		
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	28 31.8	60 68.2	27 45.0	33 55.0	8 24.2	- -	10 30.3	1 3.0	13 39.4	1 3.0	- -	
	朱 雀 第 五	79 100.0	24 30.4	55 69.6	30 54.5	25 45.5	3 12.0	1 4.0	6 24.0	1 4.0	13 52.0	1 4.0	- -	
	富 有	88 100.0	32 36.4	56 63.6	22 39.3	34 60.7	6 17.6	- -	8 23.5	1 2.9	17 50.0	2 5.9	- -	
	龍 池	88 100.0	23 26.1	65 73.9	38 58.5	27 41.5	9 33.3	- -	4 14.8	- -	14 51.9	1 3.7	- -	
	教 業	77 100.0	21 27.3	56 72.7	23 41.1	31 58.9	8 25.8	1 3.2	8 25.8	- -	14 45.2	2 6.5	2 2.6	
	立 誠	65 100.0	19 29.2	46 70.8	12 26.1	34 73.9	6 17.6	- -	- -	1 2.9	25 73.5	2 5.9	- -	

## 4 生計中心者の性

今回の調査対象世帯における生計中心者の性別は（表8）、男性が79.0%、女性が20.0%であった。

階層別にみると、多くの階層では男性の比率が高いが、無業者層では女性の比率が39.9%と高率となっている。

世帯構成別にみると（表9）、「単身」と「生計中心者と親」世帯で、それぞれ62.6%・53.7%と女性の比率が高いといった特徴がある。

表8 階層別にみた生計中心者の性別

	上段：実数 下段：横%	合 計	問10 生計中心者の性別		
			男	女	無 回 答
全	体	485 100.0	383 79.0	97 20.0	5 1.0
階 層	経 営 者 層	47 100.0	44 93.6	3 6.4	- -
	ホワイトカラー層	53 100.0	47 88.7	6 11.3	- -
	ブルーカラー層	25 100.0	24 96.0	1 4.0	- -
	不安定雇用者層	53 100.0	44 83.0	9 17.0	- -
	自 営 業 者 層	164 100.0	140 85.4	21 12.8	3 1.8
	無 業 者 層	143 100.0	84 58.7	57 39.9	2 1.4

表9 世帯構成別にみた生計中心者の性別

	上段：実数 下段：横%	合 計	問10 生計中心者の性別		
			男	女	無 回 答
全	体	485 100.0	383 79.0	97 20.0	5 1.0
世 帯 構 成	単 身	99 100.0	36 36.4	62 62.6	1 1.0
	夫 婦 の み	109 100.0	105 96.3	2 1.8	2 1.8
	夫 婦 と 子	142 100.0	140 98.6	1 0.7	1 0.7
	夫 婦 と 親	10 100.0	10 100.0	- -	- -
	三 世 代	65 100.0	62 95.4	3 4.6	- -
	生 計 中 心 者 と 親	41 100.0	18 43.9	22 53.7	1 2.4
	そ の 他	19 100.0	12 63.2	7 36.8	- -



## 5 生計中心者の年齢

生計中心者の年齢は（表10）、65歳以上が39.2%、75歳以上が17.7%であった。高齢者の比率が非常に高いといえる。

階層別にみると、ホワイトカラー層とブルーカラー層においては30～40歳代の比率が高く、無業者層においては65歳以上が81.1%と非常に高いといった特徴がみられる。

世帯構成別にみると（表11）、「単身」世帯と「夫婦のみ」世帯において、65歳以上が62.6%、64.2%と高率になっている。「三世代」世帯では、40～50歳代の比率が相対的に高くなっている。

表10 階層別にみた生計中心者の年齢

	上段：実数 下段：横%	合 計	問10 生計中心者の年齢												無 回 答
			25 歳 未 満	25 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 34 歳	35 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 44 歳	45 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 54 歳	55 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 64 歳	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 以 上	
全	体	485 100.0	12 2.5	5 1.0	13 2.7	34 7.0	32 6.6	36 7.4	51 10.5	55 11.3	57 11.8	54 11.1	50 10.3	86 17.7	- -
階 層	経 営 者 層	47 100.0	- -	- -	1 2.1	3 6.4	3 6.4	5 10.6	11 23.4	8 17.0	6 12.8	6 12.8	4 8.5	- -	- -
	ホワイ トカラ ー層	53 100.0	- -	1 1.9	5 9.4	12 22.6	11 20.8	6 11.3	5 9.4	6 11.3	4 7.5	- -	- -	3 5.7	- -
	ブル ーカラ ー層	25 100.0	- -	3 12.0	3 12.0	4 16.0	5 20.0	4 16.0	1 4.0	4 16.0	1 4.0	- -	- -	- -	- -
	不安 定雇用 者層	53 100.0	2 3.8	- -	2 3.8	4 7.5	3 5.7	4 7.5	8 15.1	6 11.3	11 20.8	7 13.2	2 3.8	4 7.5	- -
	自 営 業者 層	164 100.0	- -	1 0.6	2 1.2	11 6.7	9 5.5	16 9.8	23 14.0	28 17.1	26 15.9	20 12.2	17 10.4	11 6.7	- -
	無 業 者 層	143 100.0	10 7.0	- -	- -	- -	1 0.7	1 0.7	3 2.1	3 2.1	9 6.3	21 14.7	27 18.9	68 47.6	- -

表11 世帯構成別にみた生計中心者の年齢

	上段：実数 下段：横%	合 計	問10 生計中心者の年齢												無 回 答
			25 歳 未 満	25 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 34 歳	35 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 44 歳	45 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 54 歳	55 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 64 歳	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 以 上	
全	体	485 100.0	12 2.5	5 1.0	13 2.7	34 7.0	32 6.6	36 7.4	51 10.5	55 11.3	57 11.8	54 11.1	50 10.3	86 17.7	- -
世 帯 構 成	単 身	99 100.0	12 12.1	2 2.0	- -	2 2.0	1 1.0	2 2.0	5 5.1	5 5.1	8 8.1	14 14.1	11 11.1	37 37.4	- -
	夫 婦 の み	109 100.0	- -	1 0.9	4 3.7	3 2.8	1 0.9	2 1.8	5 4.6	10 9.2	13 11.9	19 17.4	19 17.4	32 29.4	- -
	夫 婦 と 子	142 100.0	- -	2 1.4	8 5.6	19 13.4	13 9.2	18 12.7	21 14.8	21 14.8	17 12.0	9 6.3	7 4.9	7 4.9	- -
	夫 婦 と 親	10 100.0	- -	- -	- -	1 10.0	1 10.0	- -	2 20.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	- -	- -
	三 世 代	65 100.0	- -	- -	- -	5 7.7	11 16.9	10 15.4	11 16.9	12 18.5	7 10.8	4 6.2	3 4.6	2 3.1	- -
	生計 中心 者と 親	41 100.0	- -	- -	1 2.4	1 2.4	5 12.2	2 4.9	4 9.8	4 9.8	7 17.1	6 14.6	6 14.6	5 12.2	- -
	そ の 他	19 100.0	- -	- -	- -	3 15.8	- -	2 10.5	3 15.8	1 5.3	3 15.8	1 5.3	3 15.8	3 15.8	- -

地域別にみると（表12）、立誠で65歳以上が46.2%と高率となっている。

**表12 地域別にみた生計中心者の年齢**

	合 計	問1口 生計中心者の年齢													無 回 答
		25 歳 未 満	25 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 34 歳	35 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 44 歳	45 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 54 歳	55 歳 ～ 59 歳	60 歳 ～ 64 歳	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 以 上		
全 体	485 100.0	12 2.5	5 1.0	13 2.7	34 7.0	32 6.6	36 7.4	51 10.5	55 11.3	57 11.8	54 11.1	50 10.3	86 17.7	- -	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	- -	1 1.1	5 5.7	3 3.4	9 10.2	8 9.1	9 10.2	13 14.8	8 9.1	14 15.9	6 6.8	12 13.6	- -
	朱 雀 第 五	79 100.0	- -	3 3.8	2 2.5	7 8.9	5 6.3	7 8.9	5 6.3	6 7.6	10 12.7	7 8.9	12 15.2	15 19.0	- -
	富 有	88 100.0	3 3.4	- -	1 1.1	5 5.7	3 3.4	4 4.5	12 13.6	14 15.9	8 9.1	10 11.4	13 14.8	15 17.0	- -
	龍 池	88 100.0	6 6.8	1 1.1	2 2.3	9 10.2	8 9.1	6 6.8	8 9.1	11 12.5	7 8.0	7 8.0	9 10.2	14 15.9	- -
立 誠	教 業	77 100.0	3 3.9	- -	1 1.3	7 9.1	5 6.5	6 7.8	8 10.4	5 6.5	16 20.8	3 3.9	5 6.5	18 23.4	- -
	立 誠	65 100.0	- -	- -	2 3.1	3 4.6	2 3.1	5 7.7	9 13.8	6 9.2	8 12.3	13 20.0	5 7.7	12 18.5	- -

## 6 世帯構成

今回の調査対象世帯の世帯構成は（表13）、比率の高い順で「夫婦と子」（29.3%）、「夫婦のみ」（22.5%）、「単身」（20.4%）、「三世代」（13.4%）、「生計中心者と親」（8.5%）、「夫婦と親」（2.1%）となっている。「三世代」世帯の比率が低いのが特徴的である。

階層別にみると、経営者層と自営業層では、「三世代」の比率が21.3%・18.3%と相対的に高い。ホワイトカラー層とブルーカラー層では「夫婦と子」世帯の比率が5割強と高い。無業者層では、「単身」（44.8%）と「夫婦のみ」世帯（30.1%）の比率が高い。

**表13 階層別にみた世帯構成**

	合 計	世帯構成								無 回 答
		単 身	夫 婦 の み	夫 婦 と 子	夫 婦 と 親	三 世 代	生 計 中 心 者 と 親	そ の 他		
全 体	485 100.0	99 20.4	109 22.5	142 29.3	10 2.1	65 13.4	41 8.5	19 3.9	- -	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	3 6.4	6 12.8	21 44.7	2 4.3	10 21.3	3 6.4	2 4.3	- -
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	3 5.7	8 15.1	28 52.8	1 1.9	8 15.1	4 7.5	1 1.9	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	2 8.0	3 12.0	14 56.0	- -	5 20.0	- -	1 4.0	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	14 26.4	8 15.1	17 32.1	- -	5 9.4	8 15.1	1 1.9	- -
層	自 営 業 者 層	164 100.0	13 7.9	41 25.0	50 30.5	6 3.7	30 18.3	15 9.1	9 5.5	- -
	無 業 者 層	143 100.0	64 44.8	43 30.1	12 8.4	1 0.7	7 4.9	11 7.7	5 3.5	- -

地域別にみると（表14）、朱五で「夫婦と子」（35.4%）が、富有で「夫婦のみ」（28.4%）が、立誠で「三世代」（24.6%）が相対的に高い比率になっている。

**表14 地域別にみた世帯構成**

	上段：実数 下段：横%	合 計	世帯構成							無 回 答
			単 身	夫 婦 の み	夫 婦 と 子	夫 婦 と 親	三 世 代	者 生 計 と 中 心 親	そ の 他	
全	体	485 100.0	99 20.4	109 22.5	142 29.3	10 2.1	65 13.4	41 8.5	19 3.9	- -
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	20 22.7	18 20.5	29 33.0	3 3.4	9 10.2	6 6.8	3 3.4	- -
	朱 雀 第 五	79 100.0	18 22.8	18 22.8	28 35.4	2 2.5	7 8.9	5 6.3	1 1.3	- -
	富 有	88 100.0	20 22.7	25 28.4	21 23.9	1 1.1	10 11.4	8 9.1	3 3.4	- -
	龍 池	88 100.0	16 18.2	20 22.7	28 31.8	- -	13 14.8	7 8.0	4 4.5	- -
	教 業	77 100.0	17 22.1	15 19.5	23 29.9	3 3.9	10 13.0	7 9.1	2 2.6	- -
	立 誠	65 100.0	8 12.3	13 20.0	13 20.0	1 1.5	16 24.6	8 12.3	6 9.2	- -

## 7 住まいの形態

今回の調査対象世帯の住まいの形態は（表15）、「一戸建ての持ち家」が70.9%と圧倒的に高く、ついで「民間借家」が10.9%、「賃貸マンション・アパート」が6.4%、「棟続きの持ち家」が4.5%、「分譲のマンション」が3.5%となっている。マンション等、集合住宅世帯に調査の協力をしてもらえなかったことを反映した結果となっているといえる。

**表15 階層別にみた住まいの形態**

	上段：実数 下段：横%	合 計	問13 住まいの形態									無 回 答
			持一 戸建 家の	マ分 ンシ ョンの	持棟 続 家の	の公 賃 住 宅	公 営 公 団	民 間 借 家	ア ン 賃 パ ヨ 貸 マ ン ト ン	社 宅 ・ 寮	同 居	
全	体	485 100.0	344 70.9	17 3.5	22 4.5	- -	53 10.9	31 6.4	8 1.6	2 0.4	8 1.6	- -
階 層	経 営 者 層	47 100.0	36 76.6	3 6.4	2 4.3	- -	2 4.3	1 2.1	3 6.4	- -	- -	- -
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	39 73.6	6 11.3	3 5.7	- -	4 7.5	1 1.9	- -	- -	- -	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	20 80.0	2 8.0	1 4.0	- -	1 4.0	1 4.0	- -	- -	- -	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	33 62.3	2 3.8	- -	- -	10 18.9	6 11.3	- -	- -	2 3.8	- -
	自 営 業 者 層	164 100.0	119 72.6	2 1.2	7 4.3	- -	19 11.6	7 4.3	4 2.4	1 0.6	5 3.0	- -
	無 業 者 層	143 100.0	97 67.8	2 1.4	9 6.3	- -	17 11.9	15 10.5	1 0.7	1 0.7	1 0.7	- -

階層別にみると、ホワイトカラー層で、「分譲のマンション」の比率が11.3%と相対的に高い。また、不安定雇用者層で「民間借家」(18.9%)と「賃貸マンション・アパート」(11.3%)の比率が相対的に高くなっている。

世帯構成別にみると(表16)、「単身」世帯では「賃貸マンション・アパート」(21.2%)が、「夫婦と子」世帯では「分譲マンション」(8.5%)が、「三世帯」世帯では「一戸建ての持ち家」(76.9%)がそれぞれ相対的に高くなっている。

地域別にみると(表17)、朱一・朱五は「一戸建ての持ち家」が、龍池は「分譲のマンション」(19.3%)・「賃貸マンション・アパート」(12.5%)が、教業は「賃貸マンション・アパート」(13.0%)が、立誠は自営業の従事者等を自宅に住まわすといった意味での「社宅・寮」(7.7%)が相対的に高くなっている。

表16 世帯構成別にみた住まいの形態

	上段：実数 下段：横%	合 計	問13 住まいの形態									
			持一 戸建 家の	マ分 ン譲 ヨンの	持棟 ち続 き家の	の公 賃賃 住宅 団	民間 借家	アソ ン賃 パヨ ンマ ト・ン	社宅 ・寮	同 居	そ の 他	無 回 答
全	体	485 100.0	344 70.9	17 3.5	22 4.5	- -	53 10.9	31 6.4	8 1.6	2 0.4	8 1.6	- -
世 帯 構 成	単	99 100.0	57 57.6	2 2.0	2 2.0	- -	13 13.1	21 21.2	1 1.0	1 1.0	2 2.0	- -
	夫 婦 の み	109 100.0	81 74.3	3 2.8	8 7.3	- -	14 12.8	2 1.8	1 0.9	- -	- -	- -
	夫 婦 と 子	142 100.0	106 74.6	12 8.5	4 2.8	- -	15 10.6	3 2.1	2 1.4	- -	- -	- -
	夫 婦 と 親	10 100.0	9 90.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 10.0	- -	- -
	三 世 代	65 100.0	50 76.9	- -	4 6.2	- -	1 1.5	1 1.5	3 4.6	- -	6 9.2	- -
	生 計 中 心 者 と 親	41 100.0	29 70.7	- -	2 4.9	- -	7 17.1	2 4.9	1 2.4	- -	- -	- -
	そ の 他	19 100.0	12 63.2	- -	2 10.5	- -	3 15.8	2 10.5	- -	- -	- -	- -

表17 地域別にみた住まいの形態

	上段：実数 下段：横%	合 計	問13 住まいの形態									
			持一 戸建 家の	マ分 ン譲 ヨンの	持棟 ち続 き家の	の公 賃賃 住宅 団	民間 借家	アソ ン賃 パヨ ンマ ト・ン	社宅 ・寮	同 居	そ の 他	無 回 答
全	体	485 100.0	344 70.9	17 3.5	22 4.5	- -	53 10.9	31 6.4	8 1.6	2 0.4	8 1.6	- -
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	79 89.8	- -	1 1.1	- -	4 4.5	2 2.3	- -	1 1.1	1 1.1	- -
	朱 雀 第 五	79 100.0	63 79.7	- -	2 2.5	- -	12 15.2	- -	- -	1 1.3	1 1.3	- -
	富 有	88 100.0	63 71.6	- -	5 5.7	- -	11 12.5	7 8.0	1 1.1	- -	1 1.1	- -
	龍 池	88 100.0	46 52.3	17 19.3	4 4.5	- -	8 9.1	11 12.5	1 1.1	- -	1 1.1	- -
	教 業	77 100.0	48 62.3	- -	6 7.8	- -	11 14.3	10 13.0	1 1.3	- -	1 1.3	- -
	立 誠	65 100.0	45 69.2	- -	4 6.2	- -	7 10.8	1 1.5	5 7.7	- -	3 4.6	- -

### Ⅲ くらしを支える条件

#### 1 居住期間

今回の調査対象世帯の居住期間は（表18）、「親の代から」が50.9%、「現在の生計中心者の代になってから」が48.5%とほぼ半々といった状況である。

階層別にみると、自営業者層で「親の代から」が62.8%と高率になっている。それに対して、ホワイトカラー層・ブルーカラー層・不安定雇用者層といった雇用労働者層では、「親の代から」は3～4割程度に留まり、「現在の生計中心者の代になってから」が6割前後と高率になっている。

住まいの形態別にみると（表19）、「分譲のマンション」と「賃貸マンション・アパート」で、「現在の生計中心者の代になってから」の比率が9割程度と高い。近年建築された集合住宅の居住者の特徴である。

階層別にみると、自営業者層で「親の代から」が62.8%と高率になっている。それに対して、ホワイトカラー層・ブルーカラー層・不安定雇用者層といった雇用労働者層では、「親の代から」は3～4割程度に留まり、「現在の生計中心者の代になってから」が6割前後と高率になっている。

住まいの形態別にみると（表19）、「分譲のマンション」と「賃貸マンション・アパート」で、「現在の生計中心者の代になってから」の比率が9割程度と高い。近年建築された集合住宅の居住者の特徴である。

表18 階層別にみた居住期間

上段：実数 下段：横%	合 計	問14イ 居住期間			
		親の代から	現在の生計中心者の代になってから	無回答	
全 体	485 100.0	247 50.9	235 48.5	3 0.6	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	26 55.3	21 44.7	- -
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	17 32.1	36 67.9	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	9 36.0	16 64.0	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	22 41.5	29 54.7	2 3.8
	自 営 業 者 層	164 100.0	103 62.8	60 36.6	1 0.6
	無 業 者 層	143 100.0	70 49.0	73 51.0	- -

地域別にみると（表20）、立誠で「親の代から」が93.8%と非常に比率が高い。朱五と龍池では、「親の代から」が相対的に低く、「現在の生計中心者の代になってから」が6割強と相対的に高い。

表19 住まいの形態別にみた居住期間

	合 計	問14イ 居住期間			
		親の代から	現在の生計中心者の代になってから	無回答	
全 体	485 100.0	247 50.9	235 48.5	3 0.6	
問 13 住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 100.0	186 54.1	157 45.6	1 0.3
	分譲のマンション	17 100.0	1 5.9	15 88.2	1 5.9
	棟続きの持ち家	22 100.0	13 59.1	9 40.9	- -
	公営・公団の賃貸住宅	- -	- -	- -	- -
	民間借家	53 100.0	32 60.4	20 37.7	1 1.9
	賃貸マンション・アパート	31 100.0	3 9.7	28 90.3	- -
	社宅・寮	8 100.0	6 75.0	2 25.0	- -
	同居	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -
	その他	8 100.0	5 62.5	3 37.5	- -

表20 地域別にみた居住期間

	合 計	問14イ 居住期間			
		親の代から	現在の生計中心者の代になってから	無回答	
全 体	485 100.0	247 50.9	235 48.5	3 0.6	
地 域	朱雀第一	88 100.0	43 48.9	44 50.0	1 1.1
	朱雀第五	79 100.0	27 34.2	51 64.6	1 1.3
	富 有	88 100.0	46 52.3	42 47.7	- -
	龍 池	88 100.0	34 38.6	53 60.2	1 1.1
	教 業	77 100.0	36 46.8	41 53.2	- -
	立 誠	65 100.0	61 93.8	4 6.2	- -

具体的な居住年数についてみると（表21）、「20年以上」（67.0%）と「1～5年未満」（16.9%）といった二つの項目が目につく。居住年数の長い層が中心だが、新たな居住者も増えてきているといった特徴がみられる。

階層別にみると、自営業者層と無業者層では「20年以上」の比率が8割前後と高いが、雇用労働者層では「1～5年未満」の比率が3～4割と相対的に高くなっている。

世帯構成別にみると（表22）、「夫婦と子」世帯において「1～5年未満」の比率が28.2%と相対的に高いといった特徴がみられる。

**表21 階層別にみた居住年数**

	合 計	問14□ 居住年数							
		1 年 未 満	未 1 ～ 5 年 未 満	未 5 ～ 10 年 未 満	未 10 ～ 15 年 未 満	未 15 ～ 20 年 未 満	20 年 以 上	無 回 答	
全 体	485 100.0	19 3.9	82 16.9	16 3.3	17 3.5	12 2.5	325 67.0	14 2.9	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	3 6.4	7 14.9	3 6.4	2 4.3	1 2.1	28 59.6	3 6.4
	ホワイトカラー層	53 100.0	1 1.9	21 39.6	4 7.5	2 3.8	3 5.7	19 35.8	3 5.7
	ブルーカラー層	25 100.0	1 4.0	10 40.0	3 12.0	1 4.0	-	10 40.0	-
	不安定雇用者層	53 100.0	4 7.5	12 22.6	2 3.8	3 5.7	1 1.9	30 56.6	1 1.9
	自 営 業 者 層	164 100.0	6 3.7	20 12.2	1 0.6	4 2.4	6 3.7	123 75.0	4 2.4
	無 業 者 層	143 100.0	4 2.8	12 8.4	3 2.1	5 3.5	1 0.7	115 80.4	3 2.1

**表22 世帯構成別にみた居住年数**

	合 計	問14□ 居住年数							
		1 年 未 満	未 1 ～ 5 年 未 満	未 5 ～ 10 年 未 満	未 10 ～ 15 年 未 満	未 15 ～ 20 年 未 満	20 年 以 上	無 回 答	
全 体	485 100.0	19 3.9	82 16.9	16 3.3	17 3.5	12 2.5	325 67.0	14 2.9	
世 帯 構 成	単 身	99 100.0	6 6.1	21 21.2	2 2.0	4 4.0	2 2.0	62 62.6	2 2.0
	夫 婦 の み	109 100.0	1 0.9	13 11.9	1 0.9	3 2.8	2 1.8	85 78.0	4 3.7
	夫 婦 と 子	142 100.0	10 7.0	40 28.2	12 8.5	8 5.6	5 3.5	66 46.5	1 0.7
	夫 婦 と 親	10 100.0	-	1 10.0	-	-	-	9 90.0	-
	三 世 代	65 100.0	1 1.5	4 6.2	1 1.5	1 1.5	1 1.5	51 78.5	6 9.2
	生 計 中 心 者 と 親	41 100.0	1 2.4	1 2.4	-	1 2.4	1 2.4	36 87.8	1 2.4
	そ の 他	19 100.0	-	2 10.5	-	-	1 5.3	16 84.2	-

住まいの形態別にみると（表23）、「分譲のマンション」「賃貸マンション・アパート」において居住年数が短い比率が高いといった特徴がみられる。

地域別にみると（表24）、朱五と龍池で居住年数が短い比率が相対的に高いといった特徴がみられる。

**表23 住まいの形態別にみた居住年数**

	合 計	問14□ 居住年数							
		1 年 未 満	未 1 〳 5 満 年	未 5 〳 10 満 年	未 10 〳 15 満 年	未 15 〳 20 満 年	20 年 以 上	無 回 答	
全 体	485 100.0	19 3.9	82 16.9	16 3.3	17 3.5	12 2.5	325 67.0	14 2.9	
問 13 住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 100.0	10 2.9	42 12.2	11 3.2	13 3.8	9 2.6	247 71.8	12 3.5
	分譲のマンション	17 100.0	1 5.9	12 70.6	3 17.6	- -	1 5.9	- -	- -
	棟続きの持ち家	22 100.0	- -	1 4.5	- -	1 4.5	1 4.5	17 77.3	2 9.1
	公営・公団の賃貸住宅	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	民間借家	53 100.0	1 1.9	6 11.3	1 1.9	2 3.8	- -	43 81.1	- -
	賃貸マンション・アパート	31 100.0	6 19.4	19 61.3	1 3.2	1 3.2	- -	4 12.9	- -
	社宅・寮	8 100.0	1 12.5	- -	- -	- -	1 12.5	6 75.0	- -
	同居	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -
	その他	8 100.0	- -	2 25.0	- -	- -	- -	6 75.0	- -

**表24 地域別にみた居住年数**

	合 計	問14□ 居住年数							
		1 年 未 満	未 1 〳 5 満 年	未 5 〳 10 満 年	未 10 〳 15 満 年	未 15 〳 20 満 年	20 年 以 上	無 回 答	
全 体	485 100.0	19 3.9	82 16.9	16 3.3	17 3.5	12 2.5	325 67.0	14 2.9	
地 域	朱雀第一	88 100.0	5 5.7	13 14.8	2 2.3	7 8.0	3 3.4	58 65.9	- -
	朱雀第五	79 100.0	2 2.5	17 21.5	3 3.8	5 6.3	1 1.3	49 62.0	2 2.5
	富 有	88 100.0	1 1.1	12 13.6	3 3.4	3 3.4	3 3.4	64 72.7	2 2.3
	龍 池	88 100.0	6 6.8	27 30.7	6 6.8	- -	4 4.5	37 42.0	8 9.1
	教 業	77 100.0	5 6.5	13 16.9	2 2.6	2 2.6	1 1.3	53 68.8	1 1.3
	立 誠	65 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	64 98.5	1 1.5



## 2 近所づきあい

今回の調査結果における近所づきあいの程度は（図1及び表25・26）、「ほとんどつきあっていない」が6.4%、「あいさつをする程度」が30.9%、「荷物をあずかったりみやげをわける」が14.2%、「家に入り込んだつきあいや助け合いをしている」が48.5%であった。近所づきあいの希薄な世帯が4割弱あり、かなり高い比率といえる。

図1 近所づきあいの程度

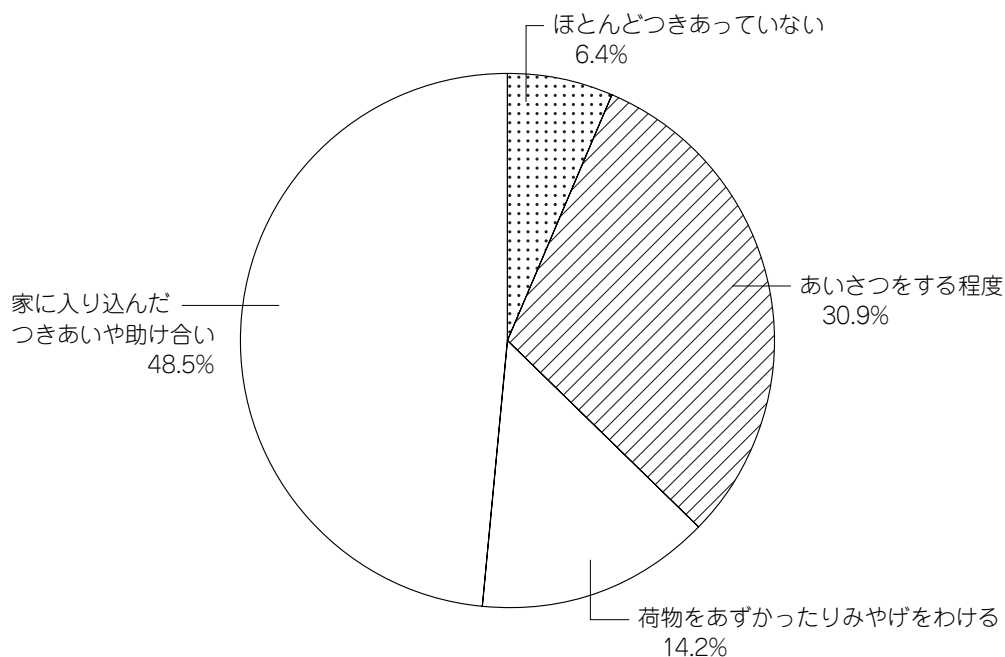


表26 階層別にみた近所づきあい類型

	合 計	近所づきあい類型					無 回 答
		い つ ほ と ん ど な あ っ て い な い	す あ づ か っ た り み や げ を わ け る	を り ず 荷 物 を あ ず か っ た り み や げ を わ け る	助 き 込 め あ い さ つ を す る	家 に 入 り 込 ん だ つ き あ い や た す け あ い を し て い る	
全 体	485 100.0	31 6.4	150 30.9	69 14.2	235 48.5	-	
階	経 営 者 層	47 100.0	4 8.5	12 25.5	8 17.0	23 48.9	-
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	1 1.9	23 43.4	8 15.1	21 39.6	-
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	1 4.0	12 48.0	2 8.0	10 40.0	-
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	8 15.1	16 30.2	7 13.2	22 41.5	-
層	自 営 業 者 層	164 100.0	6 3.7	44 26.8	31 18.9	83 50.6	-
	無 業 者 層	143 100.0	11 7.7	43 30.1	13 9.1	76 53.1	-

階層別にみると、ホワイトカラー層・ブルーカラー層・不安定雇用者層といった雇用労働者層において近所づきあいが乏しい。

世帯構成別にみると（表27）、「単身」世帯では「ほとんどつきあっていない」といった比率が20.2%と高いのが目にとまる。

表27 世帯構成別にみた近所づきあい類型

	合 計	近所づきあい類型					無 回 答
		い つ ほ と ん ど つ き あ っ て い な い	す あ い さ つ を あ い さ つ を	を り ず 荷 わ み か 物 け や つ を る げ た あ	助 き 込 家 け あ ん に 合 い だ 入 い や つ り		
全 体	485 100.0	31 6.4	150 30.9	69 14.2	235 48.5	- -	
世帯構成	単 身	99 100.0	20 20.2	30 30.3	5 5.1	44 44.4	- -
	夫 婦 の み	109 100.0	3 2.8	32 29.4	14 12.8	60 55.0	- -
	夫 婦 と 子	142 100.0	5 3.5	43 30.3	31 21.8	63 44.4	- -
	夫 婦 と 親	10 100.0	- -	1 10.0	1 10.0	8 80.0	- -
	三 世 代	65 100.0	- -	23 35.4	3 4.6	39 60.0	- -
	生 計 中 心 者 と 親	41 100.0	1 2.4	15 36.6	10 24.4	15 36.6	- -
	そ の 他	19 100.0	2 10.5	6 31.6	5 26.3	6 31.6	- -

表25 階層別にみた近所づきあいの程度

	合 計	問15 近所づきあいの程度							
		て つ ほ と ん ど つ き あ っ て い な い	を あ い さ つ を あ い さ つ を	あ 荷 宅 配 便 を あ い さ つ を	の み や け を あ い さ つ を	相 や 困 り ご と を あ い さ つ を	し つ き あ い を あ い さ つ を	入 家 の 中 に 入 り こ ん だ い な い	の 送 迎 や 子 ど も の 世 話 を 頼 む
全 体	485	31 6.4	150 30.9	167 34.4	197 40.6	77 15.9	62 12.8	3 0.6	
階層	経 営 者 層	47 8.5	4 25.5	12 42.6	20 42.6	18 38.3	7 14.9	4 8.5	- -
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 1.9	1 43.4	23 22.6	12 22.6	17 32.1	5 9.4	3 5.7	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 4.0	1 48.0	12 48.0	6 24.0	8 32.0	4 16.0	5 20.0	1 4.0
	不 安 定 雇 用 者 層	53 15.1	8 30.2	16 30.2	19 35.8	18 34.0	8 15.1	6 11.3	- -
	自 営 業 者 層	164 3.7	6 26.8	44 26.8	64 39.0	79 48.2	30 18.3	23 14.0	- -
	無 業 者 層	143 7.7	11 30.1	43 30.1	46 32.2	57 39.9	23 16.1	21 14.7	2 1.4

住まいの形態別にみると（表28）、「分譲のマンション」「賃貸マンション・アパート」で近所づきあいが乏しくなっている。

表28 住まいの形態別にみた近所づきあい類型

	合 計	近所づきあい類型					無 回 答
		いつほ きと な あ ん ど いてど	す あ い さ つ を 程 度 を	を り ず 荷 わ み か 物 け や っ を る げ た あ	助 き 込 家 け あ ん に 合 い だ 入 い や つ り		
全 体	485 100.0	31 6.4	150 30.9	69 14.2	235 48.5	- -	
問 13 住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 100.0	5 1.5	110 32.0	44 12.8	185 53.8	- -
	分譲のマンション	17 100.0	1 5.9	8 47.1	4 23.5	4 23.5	- -
	棟続きの持ち家	22 100.0	2 9.1	5 22.7	2 9.1	13 59.1	- -
	公営・公団の賃貸住宅	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	民間借家	53 100.0	4 7.5	10 18.9	15 28.3	24 45.3	- -
	賃貸マンション・アパート	31 100.0	18 58.1	10 32.3	2 6.5	1 3.2	- -
	社宅・寮	8 100.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	2 25.0	- -
	同居	2 100.0	- -	- -	- -	2 100.0	- -
	その他	8 100.0	- -	3 37.5	1 12.5	4 50.0	- -

見病 舞人 いの	話高 し 高 齢 相 者 手 の	世高 話 を 高 齢 者 の 頼 む の	立集 て 金 替 え の	貸米よ味 しなう噌 借ど油・し りの・し	わたで自 けもつ分 あのくの うをっ家	引き買 受い ける物 を	連緊 絡急 や援 助の	そ の 他	無 回 答
64 13.2	32 6.6	3 0.6	7 1.4	17 3.5	102 21.0	24 4.9	81 16.7	28 5.8	- -
6 12.8	3 6.4	- -	1 2.1	3 6.4	7 14.9	2 4.3	7 14.9	2 4.3	- -
4 7.5	- -	- -	- -	1 1.9	7 13.2	1 1.9	7 13.2	4 7.5	- -
2 8.0	1 4.0	- -	- -	1 4.0	6 24.0	2 8.0	1 4.0	- -	- -
3 5.7	8 15.1	1 1.9	2 3.8	4 7.5	14 26.4	5 9.4	8 15.1	1 1.9	- -
24 14.6	7 4.3	1 0.6	2 1.2	3 1.8	31 18.9	7 4.3	33 20.1	12 7.3	- -
25 17.5	13 9.1	1 0.7	2 1.4	5 3.5	37 25.9	7 4.9	25 17.5	9 6.3	- -

居住期間別にみると（表29）、5年未満の世帯で近所づきあいが乏しいといった特徴がみられる。

地域活動類型別にみると（表30）、地域活動に「参加していない」といった世帯と参加していても「自治会のみ」といった世帯で近所づきあいが乏しいといった特徴がみられる。

**表29 居住期間別にみた近所づきあい類型**

	合 計	近所づきあい類型					無 回 答
		いつほ な き あ っ て ど	す あ い さ つ を 程 度 を	を り ず 荷 わ み か 物 け や つ を る げ た あ	助 き 込 家 け あ ん に 合 い だ 入 い や つ り		
全 体	485 100.0	31 6.4	150 30.9	69 14.2	235 48.5	- -	
問 14 口 居 住 期 間	1 年 未 満	19 100.0	4 21.1	12 63.2	3 15.8	- -	
	1 ～ 5 年 未 満	82 100.0	18 22.0	35 42.7	12 14.6	17 20.7	
	5 ～ 10 年 未 満	16 100.0	1 6.3	5 31.3	3 18.8	7 43.8	
	10 ～ 15 年 未 満	17 100.0	1 5.9	6 35.3	4 23.5	6 35.3	
	15 ～ 20 年 未 満	12 100.0	- -	6 50.0	1 8.3	5 41.7	
	20 年 以 上	325 100.0	7 2.2	81 24.9	44 13.5	193 59.4	

**表30 地域活動類型別にみた近所づきあい類型**

	合 計	近所づきあい類型					無 回 答
		いつほ な き あ っ て ど	す あ い さ つ を 程 度 を	を り ず 荷 わ み か 物 け や つ を る げ た あ	助 き 込 家 け あ ん に 合 い だ 入 い や つ り		
全 体	485 100.0	31 6.4	150 30.9	69 14.2	235 48.5	- -	
地 域 活 動 類 型	自 治 会 の み	36 100.0	- -	14 38.9	6 16.7	16 44.4	
	行 政 協 力 型	61 100.0	1 1.6	11 18.0	13 21.3	36 59.0	
	子 ども 会 ・ スポ ーツ クラ ブ	19 100.0	- -	3 15.8	3 15.8	13 68.4	
	く ら し に か か わ る 自 主 的 活 動	41 100.0	- -	12 29.3	7 17.1	22 53.7	
	地 域 福 祉 活 動	16 100.0	- -	5 31.3	2 12.5	9 56.3	
	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	61 100.0	- -	9 14.8	7 11.5	45 73.8	
	く ら し や 健 康 に 関 わ る 自 主 的 学 習 会	4 100.0	- -	2 50.0	1 25.0	1 25.0	
	参 加 し て い な い	247 100.0	30 12.1	94 38.1	30 12.1	93 37.7	

地域別にみると（表31）、龍池で「あいさつをする程度」（42.0%）「ほとんどつきあっていない」（12.5%）の比率が相対的に高いといった特徴がみられる。

集合住宅で、居住期間が短く、そして地域活動にあまり参加していない世帯において、近所づきあいが乏しいといった傾向がみられる。

**表31 地域別にみた近所づきあい類型**

上段：実数 下段：横%		合 計	近所づきあい類型				
			いつほ なきと なあん ってど	すあ るい さつ 程 度 を	をりず 荷 わ み か 物 け や っ を る げ た あ	助 き 込 家 け あ ん に 合 い だ 入 い や つ り	無 回 答
全	体	485	31	150	69	235	-
		100.0	6.4	30.9	14.2	48.5	-
地     域	朱 雀 第 一	88	4	28	8	48	-
		100.0	4.5	31.8	9.1	54.5	-
	朱 雀 第 五	79	3	22	10	44	-
		100.0	3.8	27.8	12.7	55.7	-
	富 有	88	4	24	13	47	-
		100.0	4.5	27.3	14.8	53.4	-
域	龍 池	88	11	37	16	24	-
		100.0	12.5	42.0	18.2	27.3	-
	教 業	77	7	24	10	36	-
		100.0	9.1	31.2	13.0	46.8	-
域	立 誠	65	2	15	12	36	-
		100.0	3.1	23.1	18.5	55.4	-

### 3 相談相手

今回の調査結果における相談相手の状況は（図2及び表32・33）、「相談できる人が身近にいない」といった世帯が8.0%、相談相手はいるものの「身内のみ」といった世帯が29.3%となっている。相談相手の広がりのない世帯が4割近いという実態となっている。

図2 相談相手の状況

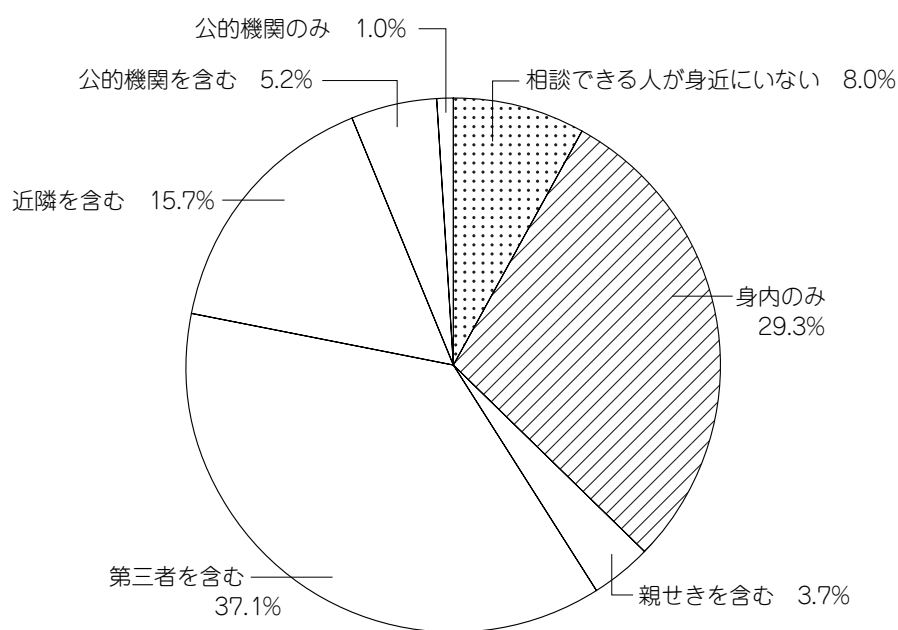


表32 階層別にみた相談相手

	合 計	問16 相談相手													
		相談できる人が身近にいない	い	配偶者	親	きょうだい	子ども	親せき	友人・知人	近所の人	自治会や学区の役員	老人福祉員	民生児童委員	寺の住職	雇い主や職場の上司
全 体	485	39 8.0	446 92.0	242 49.9	114 23.5	111 22.9	159 32.8	63 13.0	156 32.2	72 14.8	21 4.3	13 2.7	4 0.8	4 0.8	
階 層	経 営 者 層	47	4 8.5	43 91.5	30 63.8	8 17.0	11 23.4	15 31.9	2 4.3	20 42.6	7 14.9	3 6.4	-	-	-
	ホワイアカラー層	53	2 3.8	51 96.2	33 62.3	33 62.3	11 20.8	9 17.0	6 11.3	22 41.5	4 7.5	2 3.8	-	-	2 3.8
	ブルーアカラー層	25	2 8.0	23 92.0	18 72.0	10 40.0	7 28.0	1 4.0	3 12.0	12 48.0	2 8.0	-	-	-	1 4.0
	不安定雇用者層	53	9 17.0	44 83.0	22 41.5	11 20.8	15 28.3	13 24.5	7 13.2	20 37.7	7 13.2	2 3.8	2 3.8	-	1 1.9
	自営業者層	164	14 8.5	150 91.5	98 59.8	41 25.0	38 23.2	50 30.5	25 15.2	52 31.7	25 15.2	3 1.8	2 1.2	2 1.2	-
	無業者層	143	8 5.6	135 94.4	41 28.7	11 7.7	29 20.3	71 49.7	20 14.0	30 21.0	27 18.9	11 7.7	9 6.3	2 1.4	-

表33 階層別に応じた相談相手類型

	上段：実数 下段：横%	合計	相談相手類型							無回答
			相談できる人が身近にいない	身内のみ	含親せきをむ	含第三者をむ	近隣を含む	含公的機関をむ	公的機関のみ	
全体	485 100.0	39 8.0	142 29.3	18 3.7	180 37.1	76 15.7	25 5.2	5 1.0	- -	
階層	経営者層	47 100.0	4 8.5	17 36.2	1 2.1	16 34.0	6 12.8	3 6.4	- -	- -
	ホワイトカラー層	53 100.0	2 3.8	18 34.0	- -	25 47.2	6 11.3	2 3.8	- -	- -
	ブルーカラー層	25 100.0	2 8.0	4 16.0	1 4.0	15 60.0	2 8.0	1 4.0	- -	- -
	不安定雇用者層	53 100.0	9 17.0	9 17.0	3 5.7	21 39.6	6 11.3	5 9.4	- -	- -
	自営業者層	164 100.0	14 8.5	49 29.9	5 3.0	63 38.4	27 16.5	6 3.7	- -	- -
	無業者層	143 100.0	8 5.6	45 31.5	8 5.6	40 28.0	29 20.3	8 5.6	5 3.5	- -

職場の同僚	所の職社務員	の保健所	役所の職員	その他の区	議会の職員	社会福祉協	社会福祉施設	社会福祉シヤーマネ	ケアマネ	ヘルパー	ホーム	かかりつけの医者	かかりつけの医師	相談室の職員	病院の医療	看護師	学校の先生	幼稚園の先生	先	幼稚園の保育所・学童保育所の職員	加入している団体の人	の役員	労働組合	政党的議員	の宗教団体	その他	無回答
12 2.5	17 3.5	7 1.4	13 2.7	6 1.2	8 1.6	15 3.1	6 1.2	104 21.4	2 0.4	6 1.2	10 2.1	6 1.2	7 1.4	3 0.6	2 0.4	8 1.6	3 0.6	5 1.0	- -								
- -	2 4.3	1 2.1	- -	- -	- -	1 2.1	- -	8 17.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	2 4.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
4 7.5	1 1.9	1 1.9	1 1.9	- -	1 1.9	4 7.5	1 1.9	8 15.1	- -	- -	1 1.9	3 5.7	1 1.9	2 3.8	- -	1 1.9	- -	2 3.8	- -	- -	- -	- -	1 1.9	- -	- -	2 3.8	- -
3 12.0	1 4.0	- -	- -	- -	1 4.0	2 8.0	- -	4 16.0	- -	- -	1 4.0	1 4.0	3 12.0	- -	- -	- -	4 12.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
2 3.8	2 3.8	1 1.9	2 3.8	3 5.7	1 1.9	- -	1 1.9	6 11.3	1 1.9	1 1.9	2 3.8	1 1.9	1 1.9	1 1.9	- -	2 3.8	1 1.9	1 1.9	1 1.9	- -	- -	2 3.8	2 3.8	2 3.8	- -	- -	
2 1.2	3 1.8	2 1.2	4 2.4	1 0.6	3 1.8	4 2.4	1 0.6	36 22.0	- -	2 1.2	5 3.0	1 0.6	2 1.2	- -	1 0.6	3 1.8	1 0.6	3 1.8	- -	- -	- -	1 0.7	- -	1 0.6	1 0.6	3 1.8	- -
1 0.7	8 5.6	2 1.4	6 4.2	2 1.4	2 1.4	4 2.8	3 2.1	42 29.4	1 0.7	3 2.1	1 0.7	- -	- -	- -	- -	1 0.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

世帯構成別にみると（表34）、「単身」世帯において「相談できる人が身近にいない」が12.1%と相対的に高率となっている。また「夫婦のみ」世帯において「身内のみ」が40.4%と高率になっている。世帯人員の少ない世帯において、相談相手の広がりが乏しくなっているといえる。

表34 世帯構成別にみた相談相手類型

	合 計	相談相手類型								
		い 人 が 相 談 で き る 人 が 身 近 に い ない	身 内 の み	含 親 せ き を む	含 第 三 者 を む	近 隣 を 含 む	含 公 的 機 関 を む	公 的 機 関 の み	無 回 答	
全 体	485 100.0	39 8.0	142 29.3	18 3.7	180 37.1	76 15.7	25 5.2	5 1.0	- -	
世帯構成	単 身	99 100.0	12 12.1	23 23.2	3 3.0	32 32.3	20 20.2	5 5.1	4 4.0	- -
	夫 婦 の み	109 100.0	8 7.3	44 40.4	4 3.7	31 28.4	16 14.7	5 4.6	1 0.9	- -
	夫 婦 と 子	142 100.0	7 4.9	33 23.2	5 3.5	63 44.4	25 17.6	9 6.3	- -	- -
	夫 婦 と 親	10 100.0	1 10.0	4 40.0	- -	3 30.0	1 10.0	1 10.0	- -	- -
	三 世 代	65 100.0	2 3.1	21 32.3	2 3.1	27 41.5	10 15.4	3 4.6	- -	- -
	生 計 中 心 者 と 親	41 100.0	8 19.5	12 29.3	2 4.9	16 39.0	1 2.4	2 4.9	- -	- -
	そ の 他	19 100.0	1 5.3	5 26.3	2 10.5	8 42.1	3 15.8	- -	- -	- -

表35 住まいの形態別にみた相談相手類型

	合 計	相談相手類型								
		い 人 が 相 談 で き る 人 が 身 近 に い ない	身 内 の み	含 親 せ き を む	含 第 三 者 を む	近 隣 を 含 む	含 公 的 機 関 を む	公 的 機 関 の み	無 回 答	
全 体	485 100.0	39 8.0	142 29.3	18 3.7	180 37.1	76 15.7	25 5.2	5 1.0	- -	
13 住 ま い の 形 態	一 戸 建 の 持 ち 家	344 100.0	24 7.0	107 31.1	14 4.1	128 37.2	53 15.4	17 4.9	1 0.3	- -
	分 譲 の マン シ ョ ン	17 100.0	- -	4 23.5	- -	11 64.7	1 5.9	1 5.9	- -	- -
	棟 続 き の 持 ち 家	22 100.0	1 4.5	7 31.8	- -	8 36.4	6 27.3	- -	- -	- -
	公 営 ・ 公 団 の 賃 貸 住 宅	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	民 間 借 家	53 100.0	7 13.2	12 22.6	4 7.5	15 28.3	11 20.8	3 5.7	1 1.9	- -
	賃 貸 マン シ ョ ン ・ ア パ ー ト	31 100.0	5 16.1	6 19.4	- -	12 38.7	2 6.5	3 9.7	3 9.7	- -
	社 宅 ・ 寮	8 100.0	- -	3 37.5	- -	3 37.5	2 25.0	- -	- -	- -
	同 居	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
	そ の 他	8 100.0	2 25.0	2 25.0	- -	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	- -



住まいの形態別にみると（表35）、「分譲のマンション」「賃貸マンション・アパート」で「近隣を含む」といった比率が低いといった特徴がみられる。

地域活動類型別にみると（表36）、地域福祉活動・ボランティア活動・くらしや健康に関わる自主的学習会において「近隣を含む」といった比率が高いといった特徴がみられる。

地域別にみると（表37）、龍池で「近隣を含む」といった比率が低くなっているといった特徴がみられる。

**表36 地域活動類型別にみた相談相手類型**

	合 計	相談相手類型								
		い 人 が 相 談 で き る 身 内 に 近 い	身 内 の み	含 親 せ き む を	含 第 三 者 む を	近 隣 を 含 む	含 公 的 機 関 を む	公 的 機 関 の み	無 回 答	
全 体	485 100.0	39 8.0	142 29.3	18 3.7	180 37.1	76 15.7	25 5.2	5 1.0	- -	
地 域 活 動 類 型	自 治 会 の み	36 100.0	- -	12 33.3	2 5.6	16 44.4	5 13.9	1 2.8	- -	- -
	行 政 協 力 型	61 100.0	3 4.9	17 27.9	1 1.6	29 47.5	8 13.1	3 4.9	- -	- -
	子ども会・スポーツクラブ	19 100.0	2 10.5	6 31.6	1 5.3	7 36.8	2 10.5	1 5.3	- -	- -
	くらしにかかわる自主的活動	41 100.0	- -	10 24.4	- -	19 46.3	7 17.1	4 9.8	1 2.4	- -
	地域福祉活動	16 100.0	1 6.3	5 31.3	1 6.3	3 18.8	4 25.0	2 12.5	- -	- -
	ボランティア活動	61 100.0	1 1.6	14 23.0	3 4.9	24 39.3	15 24.6	4 6.6	- -	- -
	くらしや健康に関わる自主的学習会	4 100.0	1 25.0	- -	- -	- -	2 50.0	1 25.0	- -	- -
	参加していない	247 100.0	31 12.6	78 31.6	10 4.0	82 33.2	33 13.4	9 3.6	4 1.6	- -

**表37 地域別にみた相談相手類型**

	合 計	相談相手類型								
		い 人 が 相 談 で き る 身 内 に 近 い	身 内 の み	含 親 せ き む を	含 第 三 者 む を	近 隣 を 含 む	含 公 的 機 関 を む	公 的 機 関 の み	無 回 答	
全 体	485 100.0	39 8.0	142 29.3	18 3.7	180 37.1	76 15.7	25 5.2	5 1.0	- -	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	11 12.5	25 28.4	2 2.3	29 33.0	16 18.2	4 4.5	1 1.1	- -
	朱 雀 第 五	79 100.0	6 7.6	21 26.6	8 10.1	27 34.2	13 16.5	4 5.1	- -	- -
	富 有	88 100.0	5 5.7	20 22.7	- -	36 40.9	17 19.3	7 8.0	3 3.4	- -
	龍 池	88 100.0	3 3.4	37 42.0	2 2.3	32 36.4	9 10.2	5 5.7	- -	- -
	教 業	77 100.0	8 10.4	20 26.0	1 1.3	30 39.0	13 16.9	4 5.2	1 1.3	- -
	立 誠	65 100.0	6 9.2	19 29.2	5 7.7	26 40.0	8 12.3	1 1.5	- -	- -

## 4 地域活動への参加状況

今回の調査結果によると、地域活動に「参加していない」といった世帯が50.9%と半数をわずかに超えている。地域活動は低調である。

地域活動に参加している場合、どのような活動に参加しているかについては表38に示すとおりだが、それを表39のような活動類型に整理してみると（図3及び表40）、「自治会のみ」が7.4%、「行政協力型」が12.6%、「子ども会・スポーツクラブ」が3.9%、「くらしにかかわる自主的活動」が8.5%、「地域福祉活動」が3.3%、「ボランティア活動」が12.6%、「くらしや健康に関わる自主的学習会」が0.8%となっている。

表39 地域活動の類型

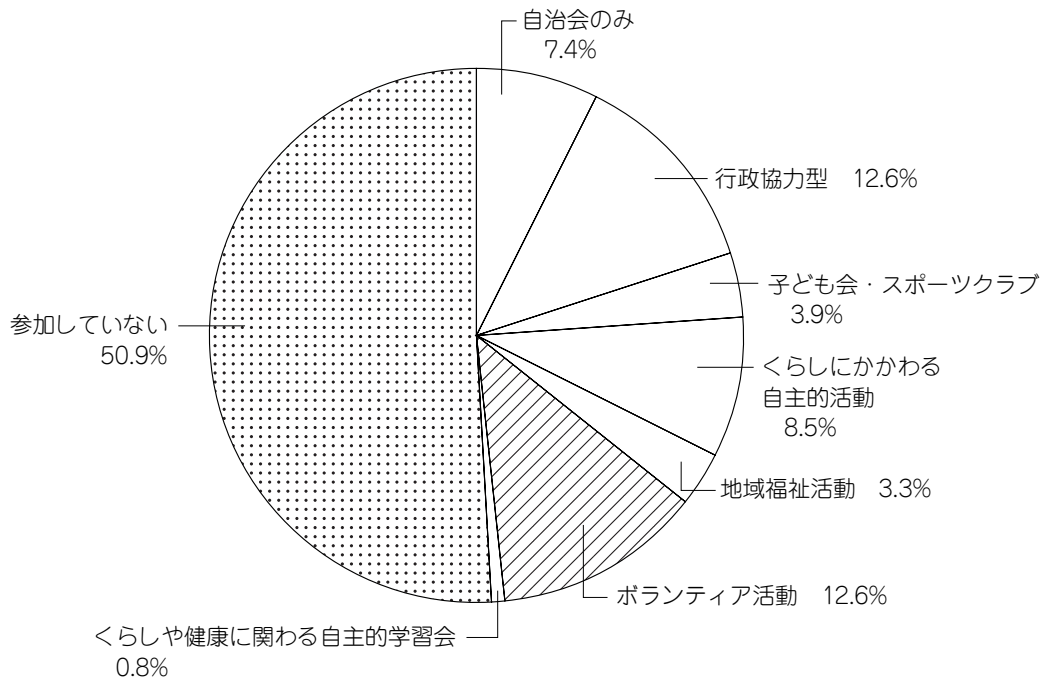
自治会のみ	自治会の行事
行政協力型	自治会の行事、女性会活動、PTA活動、老人クラブ活動、生涯学習の教室・講座、消防団活動
子ども・スポーツクラブ	子ども会活動、スポーツ団体・クラブの活動
くらしに関わる自主的活動	文庫活動、親子劇場、趣味娯楽の集まり、障害者運動・共同作業所運動、教育活動、平和運動、保育所運動、母親運動、女性運動、消費者運動、生活改善運動、環境保護運動、生活協同組合
地域福祉活動	学区社会福祉協議会活動、民生・児童委員、老人福祉員活動
ボランティア活動	ボランティア活動
くらしや健康に関わる自主的学習会	くらしや健康に関する自主的な学習会

表38 階層別にみた地域活動への参加状況

	合	問17 参加している活動										
		行自治会事の計	女性会活動	PTA活動	ブ老人クラブ	イボア活動	教室・講座の生涯学習	子ども会活動	スポーツ団体の活動	陶芸手芸農園などの創作活動	文庫活動	親子劇場
全体	238	135 56.7	45 18.9	48 20.2	36 15.1	63 26.5	32 13.4	8 3.4	39 16.4	7 2.9	1 0.4	-
階	経営者層	29 72.4	6 20.7	7 24.1	2 6.9	8 27.6	6 20.7	2 6.9	9 31.0	2 6.9	1 3.4	-
	ホワイトカラー層	25 60.0	5 20.0	9 36.0	2 8.0	8 32.0	3 12.0	-	1 4.0	-	-	-
	ブルーカラー層	13 61.5	-	6 46.2	1 7.7	2 15.4	1 7.7	2 15.4	2 15.4	-	-	-
	不安定雇用者層	22 50.0	6 27.3	4 18.2	1 4.5	7 31.8	2 9.1	1 4.5	4 18.2	1 4.5	-	-
層	自営業者層	85 57.6	18 21.2	20 23.5	12 14.1	24 28.2	11 12.9	2 2.4	19 22.4	-	-	-
	無業者層	64 48.4	10 15.6	2 3.1	18 28.1	14 21.9	9 14.1	1 1.6	4 6.3	4 6.3	-	-

地域活動があまり活発ではない中で、「ボランティア活動」に参加している世帯が1割強となっていることは注目に値する。

図3 地域活動の参加状況



の趣味集まり	する自主的学習会	くらしや健康に関	共同作業所運動	障害者運動	教育活動	平和運動	保育所(学童保育)運動	(婦人)運動	母親運動女性	消費者運動	生活改善運動	環境保護	消防団活動	組合生活協同	学区社会福祉協議会活動	民生児童委員、老人福祉活動	その他	無回答
32	4	5	4	1	4	1	-	-	1	12	16	35	14	25	-	-	-	-
13.4	1.7	2.1	1.7	0.4	1.7	0.4	-	-	0.4	5.0	6.7	14.7	5.9	10.5	-	-	-	-
6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	1	4	3	3	-	-	-	-
20.7	-	-	-	-	3.4	-	-	-	-	10.3	3.4	13.8	10.3	10.3	-	-	-	-
3	-	2	1	-	2	-	-	-	-	-	2	3	1	1	-	-	-	-
12.0	-	8.0	4.0	-	8.0	-	-	-	-	-	8.0	12.0	4.0	4.0	-	-	-	-
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-
-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	7.7	15.4	-	-	-	-	-	-	-
3	2	-	-	1	1	1	-	-	-	2	2	2	2	1	-	-	-	-
13.6	9.1	-	-	4.5	4.5	4.5	-	-	-	9.1	9.1	9.1	9.1	4.5	-	-	-	-
10	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	4	5	13	9	-	-	-	-
11.8	1.2	1.2	1.2	-	-	-	-	-	-	1.2	4.7	5.9	15.3	10.6	-	-	-	-
10	1	1	2	-	-	-	-	-	-	2	4	13	4	11	-	-	-	-
15.6	1.6	1.6	3.1	-	-	-	-	-	-	3.1	6.3	20.3	6.3	17.2	-	-	-	-

階層別にみると、不安定雇用者層と無業者層において「参加していない」といった比率が58.5%、55.2%と高くなっている。ボランティア活動への参加は、経営者層（17.0%）とホワイトカラー層（15.1%）と自営業者層（14.0%）で相対的に高く、ブルーカラー層（8.0%）と無業者層（9.1%）で相対的に低い。

居住期間別にみると（表41）、10年未満だと「参加していない」といった比率が6・7割と高くなっている。

表40 階層別にみた地域活動類型

	合 計	地域活動類型									
		自治会のみ	行政協力型	子ども会・スポーツクラブ	自主的にかかわる活動	くらしに活かす地域福祉	地域福祉活動	ボランティア活動	くらしや健康に関わる学習会	参加していない	無回答
全体	485 100.0	36 7.4	61 12.6	19 3.9	41 8.5	16 3.3	61 12.6	4 0.8	247 50.9	-	
階	経営者層	47 100.0	5 10.6	5 10.6	5 10.6	3 6.4	3 6.4	8 17.0	-	18 38.3	-
	ホワイトカラー層	53 100.0	5 9.4	5 9.4	-	4 7.5	3 5.7	8 15.1	-	28 52.8	-
	ブルーカラー層	25 100.0	4 16.0	4 16.0	1 4.0	2 8.0	-	2 8.0	-	12 48.0	-
	不安定雇用者層	53 100.0	-	6 11.3	1 1.9	5 9.4	1 1.9	7 13.2	2 3.8	31 58.5	-
層	自営業者層	164 100.0	12 7.3	23 14.0	12 7.3	9 5.5	5 3.0	23 14.0	1 0.6	79 48.2	-
	無業者層	143 100.0	10 7.0	18 12.6	-	18 12.6	4 2.8	13 9.1	1 0.7	79 55.2	-

表41 居住期間別にみた地域活動類型

	合 計	地域活動類型									
		自治会のみ	行政協力型	子ども会・スポーツクラブ	自主的にかかわる活動	くらしに活かす地域福祉	地域福祉活動	ボランティア活動	くらしや健康に関わる学習会	参加していない	無回答
全体	485 100.0	36 7.4	61 12.6	19 3.9	41 8.5	16 3.3	61 12.6	4 0.8	247 50.9	-	
居住期間	1年未満	19 100.0	1 5.3	1 5.3	-	2 10.5	-	1 5.3	-	14 73.7	-
	1～5年未満	82 100.0	5 6.1	8 9.8	4 4.9	4 4.9	2 2.4	1 1.2	2 2.4	56 68.3	-
	5～10年未満	16 100.0	2 12.5	2 12.5	-	-	1 6.3	2 12.5	-	9 58.3	-
	10～15年未満	17 100.0	3 17.6	3 17.6	1 5.9	-	-	1 5.9	-	9 52.9	-
	15～20年未満	12 100.0	1 8.3	1 8.3	1 8.3	3 25.0	-	4 33.3	-	2 16.7	-
	20年以上	325 100.0	20 6.2	44 13.5	13 4.0	31 9.5	13 4.0	50 15.4	2 0.6	152 46.8	-

住まいの形態別にみると（表42）、「分譲のマンション」「賃貸マンション・アパート」では、「参加していない」比率が、64.7%・90.3%と高率になっている。

地域別にみると（表43）、朱一と龍池で「参加していない」比率が58.0%・62.5%と高くなっている。

表42 住まいの形態別にみた地域活動類型

	合 計	地域活動類型									
		自治会のみ	行政協力型	子ども会・ スポーツクラブ	自主的 活動	か かわ る に く ら し に	活 地 域 福 祉 社	活 ボ ラ ン テ ィ ア 動	自 主 的 学 習 会 に 関 わ る	く ら し や 健 康 に 関 わ る	い 参 加 し て い な い
全 体	485 100.0	36 7.4	61 12.6	19 3.9	41 8.5	16 3.3	61 12.6	4 0.8	247 50.9	-	
住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 100.0	32 9.3	49 14.2	16 4.7	35 10.2	8 2.3	46 13.4	2 0.6	156 45.3	-
	分譲のマンション	17 100.0	-	2 11.8	1 5.9	-	1 5.9	2 11.8	-	11 64.7	-
	棟続きの持ち家	22 100.0	1 4.5	2 9.1	-	2 9.1	1 4.5	2 9.1	-	14 63.6	-
	公営・公団の賃貸住宅	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	民間借家	53 100.0	2 3.8	8 15.1	2 3.8	2 3.8	3 5.7	7 13.2	1 1.9	28 52.8	-
	賃貸マンション・アパート	31 100.0	-	-	-	1 3.2	1 3.2	-	1 3.2	28 90.3	-
	社宅・寮	8 100.0	-	-	-	1 12.5	1 12.5	3 37.5	-	3 37.5	-
	同居	2 100.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-
	その他	8 100.0	1 12.5	-	-	-	1 12.5	-	-	6 75.0	-

表43 地域別にみた地域活動類型

	合 計	地域活動類型									
		自治会のみ	行政協力型	子ども会・ スポーツクラブ	自主的 活動	か かわ る に く ら し に	活 地 域 福 祉 社	活 ボ ラ ン テ ィ ア 動	自 主 的 学 習 会 に 関 わ る	く ら し や 健 康 に 関 わ る	い 参 加 し て い な い
全 体	485 100.0	36 7.4	61 12.6	19 3.9	41 8.5	16 3.3	61 12.6	4 0.8	247 50.9	-	
地 域	朱雀第一	88 100.0	5 5.7	8 9.1	5 5.7	10 11.4	1 1.1	7 8.0	1 1.1	51 58.0	-
	朱雀第五	79 100.0	8 10.1	20 25.3	5 6.3	7 8.9	1 1.3	4 5.1	1 1.3	33 41.8	-
	富有	88 100.0	8 9.1	7 8.0	1 1.1	8 9.1	5 5.7	18 20.5	1 1.1	40 45.5	-
	龍池	88 100.0	7 8.0	7 8.0	2 2.3	7 8.0	2 2.3	8 9.1	-	55 62.5	-
	教業	77 100.0	7 9.1	5 6.5	5 6.5	8 10.4	3 3.9	10 13.0	1 1.3	38 49.4	-
	立誠	65 100.0	1 1.5	14 21.5	1 1.5	1 1.5	4 6.2	14 21.5	-	30 46.2	-

ところで、地域活動に参加していない理由について尋ねてみたところ（図4及び表44）、最も高率であったのが「仕事があるので活動の時間帯が合わない」（41.7%）であった。それについて、「地域活動・学習会活動に興味がない」（18.2%）、「地域でどんな活動が行われているのかわからない」（17.4%）、「参加したい活動がない」（12.6%）、「身体の調子がよくない」（10.1%）、「育児や介護があるため、活動に参加する暇がない」（8.5%）となっている。

図4 地域活動に参加していない理由

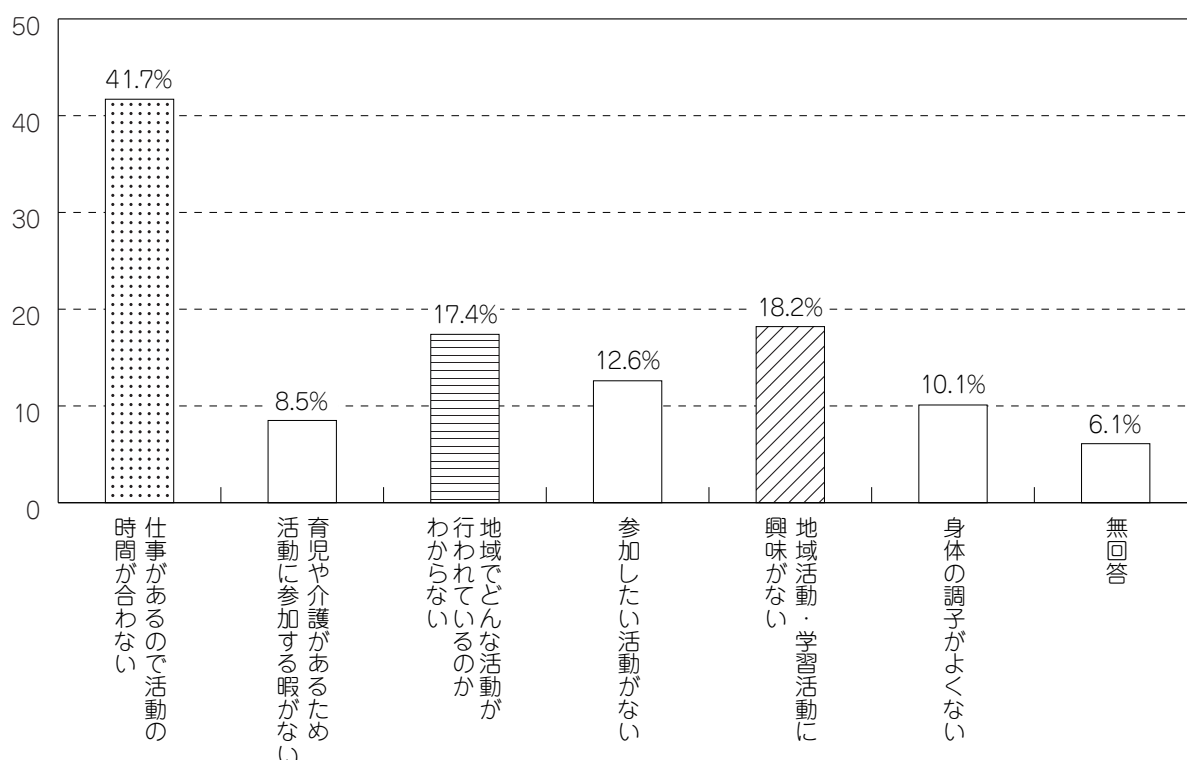


表44 階層別にみた地域活動に参加していない理由

	合 計	問17 参加していない理由						
		仕事があるので活動の時間帯が合わない	育児や介護があるため活動に参加する暇がない	地域でどんな活動が行われているのかわからない	参加したい活動がない	地域活動・学習会活動に興味がない	身体の調子がよくない	無回答
全体	247	103 41.7	21 8.5	43 17.4	31 12.6	45 18.2	25 10.1	15 6.1
階層	経営者層	18 66.7	1 5.6	4 22.2	- -	- -	- -	2 11.1
	ホワイトカラー層	28 53.6	15 53.6	10 35.7	4 14.3	5 17.9	4 14.3	1 3.6
	ブルーカラー層	12 25.0	3 25.0	2 16.7	2 16.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3
	不安定雇用者層	31 51.6	16 51.6	2 6.5	8 25.8	2 6.5	4 12.9	2 6.5
	自営業者層	79 68.4	54 68.4	2 2.5	9 11.4	8 10.1	17 21.5	1 1.3
	無業者層	79 3.8	3 3.8	4 5.1	16 20.3	14 17.7	16 20.3	22 27.8



# Ⅳ 生活問題

## 1 健康状態

くらしの問題は健康状態に顕著に現れる。今回の調査結果によると（表45）、生計中心

表45 階層別にみた生計中心者の健康状態

	合 計	問2 生計中心者の健康状態																	
		起きられ ない	朝、気分 よく	むねよく ない	夜よく ない	とれな い	疲れが ない	からだ がだる く、疲 れやす い	きや すい	力 を ひ	下痢 または 便秘 を こ ま か す こ と が 多 い	胃腸 の調 子 が よ く な い	食 欲 が な い	高血 圧 が 低 い	頭痛 が 重 い	しび れる 痛 い	腕や 手 が こ ご る	肩 首 す じ	つ か れ る
全 体	485	41 8.5	50 10.3	74 15.3	59 12.2	40 8.2	34 7.0	53 10.9	13 2.7	117 24.1	20 4.1	31 6.4	109 22.5	77 15.9	87 17.9				
階 層	経 営 者 層	47	7 14.9	6 12.8	9 19.1	5 10.6	3 6.4	7 14.9	6 12.8	1 2.1	9 19.1	2 4.3	3 6.4	10 21.3	6 12.8	9 19.1			
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	53	6 11.3	1 1.9	13 24.5	8 15.1	6 11.3	2 3.8	5 9.4	2 3.8	4 7.5	1 1.9	1 1.9	8 15.1	8 15.1	4 7.5			
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25	2 8.0	1 4.0	12 48.0	4 16.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	1 4.0	6 24.0	1 4.0	-	8 32.0	1 4.0	6 24.0			
	不 安 定 雇 用 者 層	53	2 3.8	3 5.7	6 11.3	5 9.4	5 9.4	4 7.5	4 7.5	1 1.9	5 9.4	1 1.9	2 3.8	11 20.8	6 11.3	9 17.0			
	自 営 業 者 層	164	11 6.7	15 9.1	24 14.6	21 12.8	11 6.7	9 5.5	19 11.6	1 0.6	39 23.8	5 3.0	16 9.8	41 25.0	29 17.7	30 18.3			
	無 業 者 層	143	13 9.1	24 16.8	10 7.0	16 11.2	14 9.8	11 7.7	15 10.5	7 4.9	54 37.8	10 7.0	9 6.3	31 21.7	27 18.9	29 20.3			

表46 生計中心者の年齢別にみた健康状態

	合 計	問2 生計中心者の健康状態																	
		起きられ ない	朝、気分 よく	むねよく ない	夜よく ない	とれな い	疲れが ない	からだ がだる く、疲 れやす い	きや すい	力 を ひ	下痢 または 便秘 を こ ま か す こ と が 多 い	胃腸 の調 子 が よ く な い	食 欲 が な い	高血 圧 が 低 い	頭痛 が 重 い	しび れる 痛 い	腕や 手 が こ ご る	肩 首 す じ	つ か れ る
全 体	485	41 8.5	50 10.3	74 15.3	59 12.2	40 8.2	34 7.0	53 10.9	13 2.7	117 24.1	20 4.1	31 6.4	109 22.5	77 15.9	87 17.9				
問 1 口 生 計 中 心 者 の 年 齢	2 5 歳 未 満	12	2 16.7	2 16.7	1 8.3	-	1 8.3	-	-	-	-	-	1 8.3	2 16.7	-				
	2 5 ~ 2 9 歳	5	-	-	1 20.0	-	-	1 20.0	2 40.0	-	-	1 20.0	-	2 40.0	-				
	3 0 ~ 3 4 歳	13	1 7.7	-	3 23.1	2 15.4	2 15.4	1 7.7	3 23.1	-	2 15.4	1 7.7	-	4 30.8	2 15.4	1 7.7			
	3 5 ~ 3 9 歳	34	9 26.5	4 11.8	12 35.3	7 20.6	4 11.8	2 5.9	2 5.9	1 2.9	3 8.8	-	1 2.9	8 23.5	5 14.7	7 20.6			
	4 0 ~ 4 4 歳	32	2 6.3	3 9.4	7 21.9	4 12.5	-	1 3.1	3 9.4	1 3.1	2 6.3	2 6.3	-	5 15.6	2 6.3	5 15.6			
	4 5 ~ 4 9 歳	36	3 8.3	2 5.6	10 27.8	4 11.1	3 8.3	3 8.3	4 11.1	2 5.6	5 13.9	1 2.8	1 2.8	9 25.0	4 11.1	7 19.4			
	5 0 ~ 5 4 歳	51	5 9.8	5 9.8	9 17.6	6 11.8	5 9.8	5 9.8	11 21.6	2 3.9	12 23.5	2 3.9	6 11.8	9 17.6	8 15.7	10 19.6			
	5 5 ~ 5 9 歳	55	1 1.8	3 5.5	8 14.5	8 14.5	2 3.6	4 7.3	6 10.9	-	12 21.8	1 1.8	4 7.3	17 30.9	7 12.7	13 23.6			
	6 0 ~ 6 4 歳	57	4 7.0	5 8.8	8 14.0	4 7.0	5 8.8	4 7.0	6 10.5	-	12 21.1	4 7.0	5 8.8	17 29.8	12 21.1	9 15.8			
	6 5 ~ 6 9 歳	54	3 5.6	3 5.6	5 9.3	3 5.6	7 13.0	2 3.7	2 3.7	-	17 31.5	2 3.7	6 11.1	11 20.4	8 14.8	3 5.6			
	7 0 ~ 7 4 歳	50	5 10.0	12 24.0	5 10.0	9 18.0	5 10.0	4 8.0	3 6.0	4 8.0	18 36.0	2 4.0	3 6.0	9 18.0	9 18.0	11 22.0			
7 5 歳 以 上	86	6 7.0	11 12.8	5 5.8	12 14.0	6 7.0	7 8.1	11 12.8	3 3.5	34 39.5	4 4.7	5 5.8	17 19.8	18 20.9	21 24.4				



者の健康状態は、「どこも悪くない」との回答は19.6%に留まり、8割程度が体調が悪いとの回答になっている。「医者に診てもらっている」は31.5%となっている。

生計中心者の年齢別にみると（表46）、45歳未満の場合は、「どこも悪くない」とする比率が相対的に高いが、70歳以上になると体調の悪さを訴える比率が非常に高い。「医者に診てもらっている」比率も、70～74歳で48.0%、75歳以上だと70.9%となっている。

	えに聞く	耳が聞こえない	虫歯がある	歯が悪い	だるい	足が重い	転ぶことがある	つまづいたり切れしやすい	坂や階段で息切れしやすい	すどろろする	すめまいがある	しやしい	イライラ	汗をかきやすい	汗をかきやすい	ことがあ	落ち込む	が気になる	ささいなことが少ない	笑うことが少ない	笑うことが多い	物忘れをする	がおっくう	人と話すのがおっくう	根気がなくなった	なやまなくなる	これから先どうなるかわからない	もろろしている	医者に診てもらっている	悪くない	どこも	その他	無回答										
60	12.4	94	19.4	11.1	4.5	22	40	23	19	46	34	31	23	17	77	14	64	67	153	95	30	3	12.4	19.4	11.1	4.5	8.2	4.7	3.9	9.5	7.0	6.4	4.7	3.5	15.9	2.9	13.2	13.8	31.5	19.6	6.2	0.6	
4	8.5	9	19.1	8.5	2.1	1	1	1	1	5	3	6	3	2	7	2	4	5	12	9	1	1	8.5	19.1	8.5	2.1	2.1	2.1	2.1	10.6	6.4	12.8	6.4	4.3	14.9	4.3	8.5	10.6	25.5	19.1	2.1	2.1	
4	7.5	6	11.3	9.4	3.8	2	1	1	1.9	2	2	2	-	-	2	1	4	4	6	19	3	-	4	6	5	2	1	3.8	3.8	1.9	3.8	1.9	3.8	1.9	7.5	7.5	11.3	35.8	5.7	-			
2	8.0	2	8.0	8.0	2	1	1	1	1	3	2	3	2	2	2	1	3	3	4	4	2	-	8.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	12.0	8.0	12.0	8.0	8.0	8.0	4.0	12.0	12.0	16.0	16.0	8.0	-		
8	15.1	7	13.2	5.7	-	3	2	4	-	7	4	1	1	2	5	1	5	7	12	16	1	-	15.1	13.2	5.7	-	3.8	7.5	-	13.2	7.5	1.9	1.9	3.8	9.4	1.9	9.4	13.2	22.6	30.2	1.9	-	
9	5.5	41	25.0	7.3	2.4	4	13	4	4	20	15	8	6	2	19	1	15	27	39	37	9	-	9	25.0	7.3	2.4	7.9	2.4	2.4	12.2	9.1	4.9	3.7	1.2	11.6	0.6	9.1	16.5	23.8	22.6	5.5	-	
33	23.1	29	20.3	19.6	9.8	14	22	12	9	10	8	12	11	9	42	8	33	21	80	10	14	2	33	29	19.6	9.8	15.4	12	10	8	12	11	9	42	8	33	21	80	10	14	2		
	23.1	20.3	19.6	9.8	15.4	8.4	6.3	7.0	5.6	8.4	7.7	6.3	29.4	5.6	23.1	14.7	55.9	7.0	9.8	1.4																							

	えに聞く	耳が聞こえない	虫歯がある	歯が悪い	だるい	足が重い	転ぶことがある	つまづいたり切れしやすい	坂や階段で息切れしやすい	すどろろする	すめまいがある	しやしい	イライラ	汗をかきやすい	汗をかきやすい	ことがあ	落ち込む	が気になる	ささいなことが少ない	笑うことが少ない	笑うことが多い	物忘れをする	がおっくう	人と話すのがおっくう	根気がなくなった	なやまなくなる	これから先どうなるかわからない	もろろしている	医者に診てもらっている	悪くない	どこも	その他	無回答											
60	12.4	94	19.4	11.1	4.5	22	40	23	19	46	34	31	23	17	77	14	64	67	153	95	30	3	12.4	19.4	11.1	4.5	8.2	4.7	3.9	9.5	7.0	6.4	4.7	3.5	15.9	2.9	13.2	13.8	31.5	19.6	6.2	0.6		
-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	8.3	-	-	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	23.1	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2	5.9	3	8.8	5.9	2.9	1	-	1	2	4	4	2	-	-	2	-	4	5	3	7	1	-	2	3	2	2	2	2.9	5.9	11.8	11.8	5.9	2	-	5.9	14.7	8.8	20.6	2.9	-	-			
-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
-	-	12.5	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2	5.6	10	27.8	-	-	1	-	3	3	4	5	4	2	1	6	-	2	6	7	8	3	-	2	6	2	2	2.8	5.6	8.3	11.1	13.9	11.1	2.8	2.8	16.7	19.4	22.2	8.3	-	-				
3	5.9	9	17.6	13.7	2.0	7.8	5.9	5.9	11.8	3.9	7.8	3.9	7.8	3.9	11.8	-	6	5	13	13	1	1	6	-	6	5	5.9	5.9	11.8	11.8	5.9	2.0	11.8	11.8	25.5	25.5	2.0	2.0	-	-				
2	3.6	9	16.4	7.3	5.5	10.9	5.5	1.8	14.5	8	7	7.3	5.5	5.5	3.6	3.6	3.6	10.9	21.8	20.0	7.3	-	2	2	2	6	3.6	3.6	14.5	12.7	7.3	5.5	5.5	3.6	3.6	10.9	21.8	20.0	7.3	-	-			
5	8.8	14	24.6	8.8	-	3	2	3	5	4	5	3	4	1	7	1	4	9	12	11	2	-	8.8	24.6	8.8	-	5.3	3.5	5.3	8.8	7.0	5.3	7.0	1.8	12.3	1.8	7.0	15.8	21.1	19.3	3.5	-		
8	14.8	12	22.2	3.7	1.9	1.9	1.9	1.9	9.3	5.6	1.9	5.6	1.9	5.6	20.4	3.7	16.7	16.7	35.2	25.9	7.4	-	14.8	22.2	3.7	1.9	1.9	1.9	9.3	5.6	1.9	5.6	1.9	5.6	20.4	3.7	16.7	16.7	35.2	25.9	7.4	-		
12	24.0	12	24.0	16.0	12.0	20.0	8.0	2.0	8.0	10.0	6.0	2.0	8.0	2.0	26.0	4.0	22.0	16.0	46.0	10.0	4.0	2.0	12	12	16.0	12.0	20.0	8.0	2.0	8.0	10.0	6.0	2.0	8.0	26.0	4.0	22.0	16.0	46.0	10.0	4.0	2.0		
26	30.2	17	19.8	26.7	11.6	16.3	8.1	5.8	8.1	3.5	5.8	8.1	3.5	5.8	32.6	5.8	27.9	14.0	70.9	3.5	11.6	1.2	26	17	19.8	26.7	11.6	16.3	8.1	5.8	8.1	3.5	5.8	8.1	3.5	5.8	32.6	5.8	27.9	14.0	70.9	3.5	11.6	1.2

## 2 くらしや医療の面での困りごと

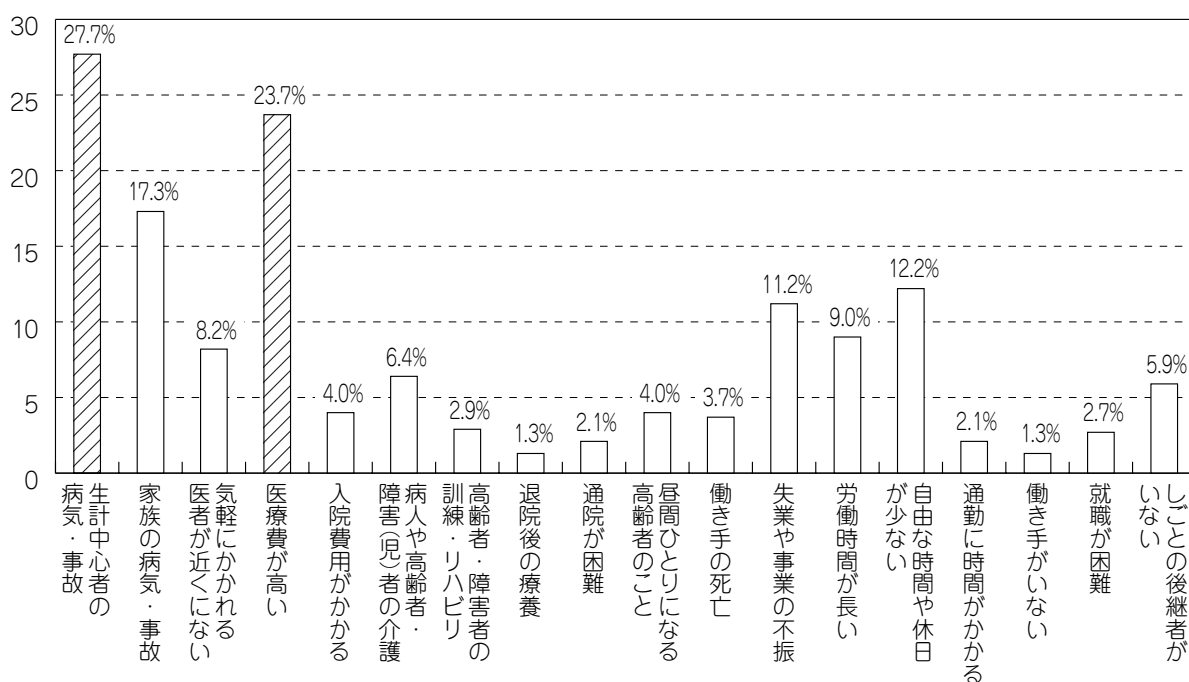
「くらしや医療の面で、日頃何とかしなければならぬと思っていることや困りごとはありませんか」との問に対する回答は、「ある」が77.5%を占めていた（表47）。

具体的な困りごとを比率の高い順に挙げると（図5）、①老後のこと（28.2%）、②生計中心者の病気・事故（27.7%）、③医療費が高い（23.7%）、④税金が高い（22.6%）、⑤収入が不足（20.5%）、⑥貯金ができない（20.5%）、⑦家族の病気・事故（17.3%）、

表47 階層別にみた生活問題

上段：実数 下段：横%	合 計	問11 くらしや医療の面の困りごと (内訳 [%は内数])																	
		ない	あ る	(内訳 [%は内数])															
				生計中心者の 病気・事故	家族の 病気・事故	医師が 近づく 気にか かる	医療費 が高い	入院 費用が かかる	障害 児者の 介護	病人 や高齢 者の 訓練・ リハビリ	高齢 者の 障害	退院 後の 療養	通院 が困 難	毎 日の 生活 が困 難	働 き手 の死 亡	失 業 や 事 業 の 不振	長 い 労働 時間	休 日 が少 ない	自 由な 時間 や 休日
全 体	485 100.0	109 22.5	376 77.5	104 27.7	65 17.3	31 8.2	89 23.7	15 4.0	24 6.4	11 2.9	5 1.3	8 2.1	15 4.0	14 3.7	42 11.2	34 9.0	46 12.2	8 2.1	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	10 21.3	37 78.7	10 27.0	8 21.6	6 16.2	6 16.2	3 8.1	3 8.1	2 5.4	1 2.7	2 5.4	- -	2 5.4	7 18.9	8 21.6	10 27.0	1 2.7
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	11 20.8	42 79.2	9 21.4	7 16.7	1 2.4	10 23.8	- -	4 9.5	2 4.8	- -	- -	1 2.4	3 7.1	5 11.9	9 21.4	2 4.8	
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	6 24.0	19 76.0	8 42.1	10 52.6	- -	5 26.3	1 5.3	3 15.8	3 15.8	1 5.3	- -	- -	1 5.3	4 21.1	4 21.1	1 5.3	1 5.3
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	10 18.9	43 81.1	10 23.3	5 11.6	4 9.3	17 39.5	4 9.3	4 9.3	1 2.3	1 2.3	- -	6 14.0	5 11.6	5 11.6	3 7.0	5 11.6	1 2.3
層	自 営 業 者 層	164 100.0	37 22.6	127 77.4	28 22.0	23 18.1	10 7.9	21 16.5	1 0.8	7 5.5	1 0.8	1 0.8	1 0.8	1 0.8	4 3.1	18 14.2	14 11.0	21 16.5	2 1.6
	無 業 者 層	143 100.0	35 24.5	108 75.5	39 36.1	12 11.1	10 9.3	30 27.8	6 5.6	3 2.8	2 1.9	1 0.9	5 4.6	7 6.5	1 0.9	5 4.6	- -	- -	1 0.9

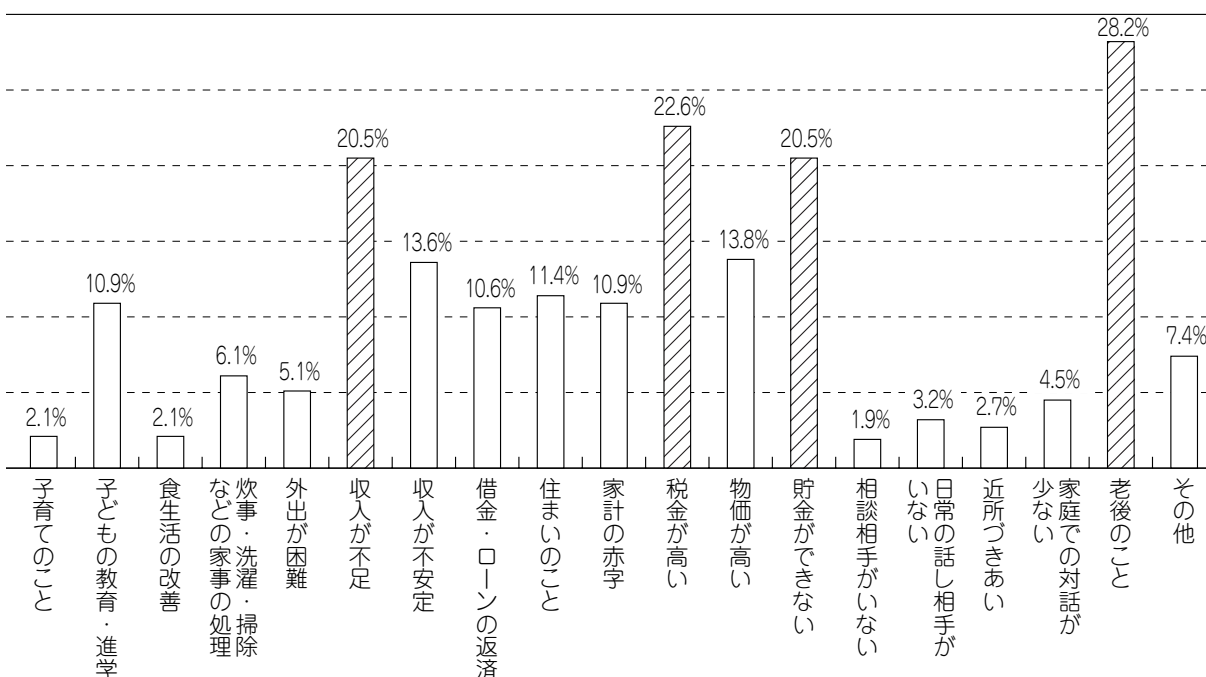
図5 くらしや医療の面での困りごと



⑧物価が高い（22.6%）、⑨収入が不安定（13.6%）、⑩自由な時間や休日が少ない（12.2%）、⑪住まいのこと（11.4%）、⑫失業や事業の不振（11.2%）、⑬子どもの教育・進学（10.9%）、⑭家計の赤字（10.9%）、⑮借金・ローンの返済（10.6%）となっている。

階層別にみると、不安定雇用者層において困りごとが「ある」との比率が他の階層に比べてやや高くなっている。具体的な内容においては、やはり不安定雇用者層において「老後のこと」（44.2%）、「医療費が高い」（39.5%）、「収入が不足」（27.9%）、「家計の赤字」（23.3%）等が相対的に高率となっている。

いなき手	働き手が	困難が	就職が	者がいない	子どもの後継	子育ての	子どもの教育・進学	改訂の生活	食生活の	炊事洗濯掃除などの家の処理	外出が困難	収入不足	収入不安定	借金の返済	住まいのこと	家計の赤字	税金が高い	物価が高い	貯金がない	相談相手がない	相談相手がない	日常の話し相手がない	近所づきあい	家庭での対話が少ない	老後のこと	その他	無回答
5	10	22	8	41	8	23	19	77	51	40	43	41	85	52	77	7	12	10	17	106	28	-	-	-	-	-	
1.3	2.7	5.9	2.1	10.9	2.1	6.1	5.1	20.5	13.6	10.6	11.4	10.9	22.6	13.8	20.5	1.9	3.2	2.7	4.5	28.2	7.4	-	-	-	-	-	
-	1	4	2	5	1	4	1	9	4	8	3	1	13	4	7	-	1	1	3	7	-	-	-	-	-	-	
-	2.7	10.8	5.4	13.5	2.7	10.8	2.7	24.3	10.8	21.6	8.1	2.7	35.1	10.8	18.9	-	2.7	2.7	8.1	18.9	-	-	-	-	-	-	
-	1	-	2	13	2	5	1	3	1	4	7	4	9	8	9	1	-	3	-	7	7	-	-	-	-	-	
-	2.4	-	4.8	31.0	4.8	11.9	2.4	7.1	2.4	9.5	16.7	9.5	21.4	19.0	21.4	2.4	-	7.1	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	
1	1	-	3	5	1	2	-	2	1	3	4	7	5	2	2	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	
5.3	5.3	-	15.8	26.3	5.3	10.5	-	10.5	5.3	15.8	21.1	36.8	26.3	10.5	10.5	-	-	-	5.3	26.3	-	-	-	-	-	-	
-	2	-	-	5	1	1	2	12	9	7	7	10	7	10	13	1	2	1	4	19	3	-	-	-	-	-	
-	4.7	-	-	11.6	2.3	2.3	4.7	27.9	20.9	16.3	16.3	23.3	16.3	23.3	30.2	2.3	4.7	2.3	9.3	44.2	7.0	-	-	-	-	-	
3	2	17	1	12	2	3	8	32	27	15	9	12	38	14	25	2	-	2	3	31	8	-	-	-	-	-	
2.4	1.6	13.4	0.8	9.4	1.6	2.4	6.3	25.2	21.3	11.8	7.1	9.4	29.9	11.0	19.7	1.6	-	1.6	2.4	24.4	6.3	-	-	-	-	-	
1	3	1	-	1	1	8	7	19	9	3	13	7	13	14	21	3	9	3	6	37	10	-	-	-	-	-	
0.9	2.8	0.9	-	0.9	0.9	7.4	6.5	17.6	8.3	2.8	12.0	6.5	12.0	13.0	19.4	2.8	8.3	2.8	5.6	34.3	9.3	-	-	-	-	-	



### 3 家計状況

家計状況の実態を把握する方法として今回の調査では、家計の中でかさむもの及び切りつめているものの有無と、ある場合は具体的内容について尋ねた。

その結果（表48・49）、かさむものが「ある」とする世帯の比率は80.6%、切りつめているものが「ある」とする世帯の比率は64.5%であった。家計状況が厳しいと指摘する世帯の比率は、かなり高い。

かさむものの具体的内容を比率の高いものから順に挙げると、①水光熱費（34.8%）、②主食費（26.9%）、③副食費（25.1%）、④年金や保険などの掛け金（22.3%）、⑤医者・

表48 階層別にみた家計の中でかさむもの

上段：実数 下段：横%	合 計	問8 家計の中でかさむもの									
		な い	あ る	(内訳 [%は内数])							
				主 食 費	副 食 費	外 食 費	水 光 熱 費	家 賃	住 宅 借 入 金	住 宅 ロ ー ン 借 入 金	
全 体	485 100.0	94 19.4	391 80.6	105 26.9	98 25.1	32 8.2	136 34.8	42 10.7	63 16.1	33 8.4	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	10 21.3	37 78.7	10 27.0	10 27.0	3 8.1	9 24.3	4 10.8	11 29.7	6 16.2
	ホワイトカラー層	53 100.0	8 15.1	45 84.9	8 17.8	12 26.7	3 6.7	19 42.2	2 4.4	14 31.1	3 6.7
	ブルーカラー層	25 100.0	1 4.0	24 96.0	11 45.8	10 41.7	5 20.8	12 50.0	1 4.2	5 20.8	- -
	不安定雇用者層	53 100.0	8 15.1	45 84.9	12 26.7	10 22.2	1 2.2	16 35.6	6 13.3	6 13.3	9 20.0
	自 営 業 者 層	164 100.0	33 20.1	131 79.9	43 32.8	31 23.7	9 6.9	44 33.6	14 10.7	27 20.6	12 9.2
	無 業 者 層	143 100.0	34 23.8	109 76.2	21 19.3	25 22.9	11 10.1	36 33.0	15 13.8	- -	3 2.8

表49 階層別にみた家計の中で切りつめているもの

上段：実数 下段：横%	合 計	問9 家計で切りつめているもの									
		な い	あ る	(内訳 [%は内数])							
				主 食 費	副 食 費	外 食 費	水 光 熱 費	ま ま 衣 服 の 代 金	庭 家 具 の 代 金	こ づ か い	
全 体	485 100.0	172 35.5	313 64.5	60 19.2	69 22.0	108 34.5	101 32.3	146 46.6	48 15.3	81 25.9	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	14 29.8	33 70.2	6 18.2	9 27.3	9 27.3	9 27.3	18 54.5	4 12.1	7 21.2
	ホワイトカラー層	53 100.0	17 32.1	36 67.9	6 16.7	9 25.0	20 55.6	12 33.3	16 44.4	8 22.2	10 27.8
	ブルーカラー層	25 100.0	8 32.0	17 68.0	3 17.6	3 17.6	4 23.5	4 23.5	6 35.3	1 5.9	3 17.6
	不安定雇用者層	53 100.0	16 30.2	37 69.8	7 18.9	8 21.6	11 29.7	15 40.5	19 51.4	6 16.2	11 29.7
	自 営 業 者 層	164 100.0	58 35.4	106 64.6	23 21.7	23 21.7	44 41.5	34 32.1	54 50.9	18 17.0	36 34.0
	無 業 者 層	143 100.0	59 41.3	84 58.7	15 17.9	17 20.2	20 23.8	27 32.1	33 39.3	11 13.1	14 16.7

薬代（19.2%）、⑥教育費（17.9%）、⑦民間の生命保険の掛け金（17.6%）、⑧住宅ローン（16.1%）、⑨税金（15.9%）、⑩交際費（15.1%）となっている。

かさむものを階層別にみると、生計中心者において高齢者が多い無業者層では、「交際費」（22.0%）と「医者・薬代」（25.7%）の比率が相対的に高くなっている。

切りつめているものの具体的内容を比率の高いものから順に挙げると、①衣服・身のまわり品代（46.6%）、②外食費（34.5%）、③水光熱費（32.3%）、④こづかい（25.9%）、⑤旅行費（22.7%）、⑥副食費（22.0%）、⑦娯楽費（19.8%）、⑧主食費（19.2%）、⑨電話代・通信費（16.0%）、⑩交際費（15.7%）となっている。

きりつめているものを階層別にみると、不安定雇用者層において「水・光熱費」が40.5%と相対的に高い。

教育費	養子・子ども費	税金	交通費・タクシー代	通話代・通信費	年間の掛け金など	民間の生命保険の掛け金	民間の維持費	ガソリン代	交際費	旅行費	医者・薬代	看護・介護費用	その他	無回答
70	20	62	16	50	87	69	54	59	16	75	8	15	-	
17.9	5.1	15.9	4.1	12.8	22.3	17.6	13.8	15.1	4.1	19.2	2.0	3.8	-	
9	1	13	2	6	11	13	8	5	-	3	1	-	-	
24.3	2.7	35.1	5.4	16.2	29.7	35.1	21.6	13.5	-	8.1	2.7	-	-	
20	7	7	3	10	4	7	8	4	3	8	-	1	-	
44.4	15.6	15.6	6.7	22.2	8.9	15.6	17.8	8.9	6.7	17.8	-	2.2	-	
6	2	3	-	1	1	5	4	1	1	5	1	2	-	
25.0	8.3	12.5	-	4.2	4.2	20.8	16.7	4.2	4.2	20.8	4.2	8.3	-	
11	1	5	1	5	8	11	9	7	-	9	-	1	-	
24.4	2.2	11.1	2.2	11.1	17.8	24.4	20.0	15.6	-	20.0	-	2.2	-	
23	8	19	5	12	42	24	21	18	6	22	2	2	-	
17.6	6.1	14.5	3.8	9.2	32.1	18.3	16.0	13.7	4.6	16.8	1.5	1.5	-	
1	1	15	5	16	21	9	4	24	6	28	4	9	-	
0.9	0.9	13.8	4.6	14.7	19.3	8.3	3.7	22.0	5.5	25.7	3.7	8.3	-	

酒タバコ代	娯楽	交際費	旅行費	貯金	医者・薬代	看護・介護費用	タクシー代・交通費	通話代・通信費	ガソリン代・維持費	その他	無回答
42	62	49	71	40	15	2	35	50	24	8	-
13.4	19.8	15.7	22.7	12.8	4.8	0.6	11.2	16.0	7.7	2.6	-
2	6	5	5	5	2	-	3	1	3	2	-
6.1	18.2	15.2	15.2	15.2	6.1	-	9.1	3.0	9.1	6.1	-
9	9	10	8	4	2	1	8	8	6	-	-
25.0	25.0	27.8	22.2	11.1	5.6	2.8	22.2	22.2	16.7	-	-
2	1	1	1	3	1	-	-	-	-	-	-
11.8	5.9	5.9	5.9	17.6	5.9	-	-	-	-	-	-
5	9	4	7	5	2	-	3	10	3	-	-
13.5	24.3	10.8	18.9	13.5	5.4	-	8.1	27.0	8.1	-	-
19	30	19	36	13	4	1	11	16	10	3	-
17.9	28.3	17.9	34.0	12.3	3.8	0.9	10.4	15.1	9.4	2.8	-
5	7	10	14	10	4	-	10	15	2	3	-
6.0	8.3	11.9	16.7	11.9	4.8	-	11.9	17.9	2.4	3.6	-

## 4 食生活

今回の調査では、「どのような食生活をされていますか」との質問をした。その結果は(図6及び表50)、「手作りのモノを食べている」(84.7%)や「朝・昼・晩の三食をきちんととっている」(73.0%)といった項目の指摘が高率であり、大半の世帯の食生活は良好といえる。ただ、「添加物の入ったモノはなるべく食べないようにしている」は27.4%止まりであるし、「買って来た弁当や惣菜・インスタント食品を食べることが多い」(10.7%)や「外食が多い」(7.8%)といった項目の指摘が1割程度あるが無視できない実態である。また、「家族そろって食事をとることが少ない・一人で食べることが多い」との指摘が19.2%ある点も何らかの対応が求められる実態といえる

世帯構成別にみると(表51)、単身世帯において「買って来た弁当や惣菜・インスタント食品を食べることが多い」(23.2%)、「外食が多い」(14.1%)、「家族そろって食事をとることが少ない・一人で食べることが多い」(37.4%)との比率が高くなっている。単身世帯の食生活の充実策が課題といえる。

図6 食生活の状況

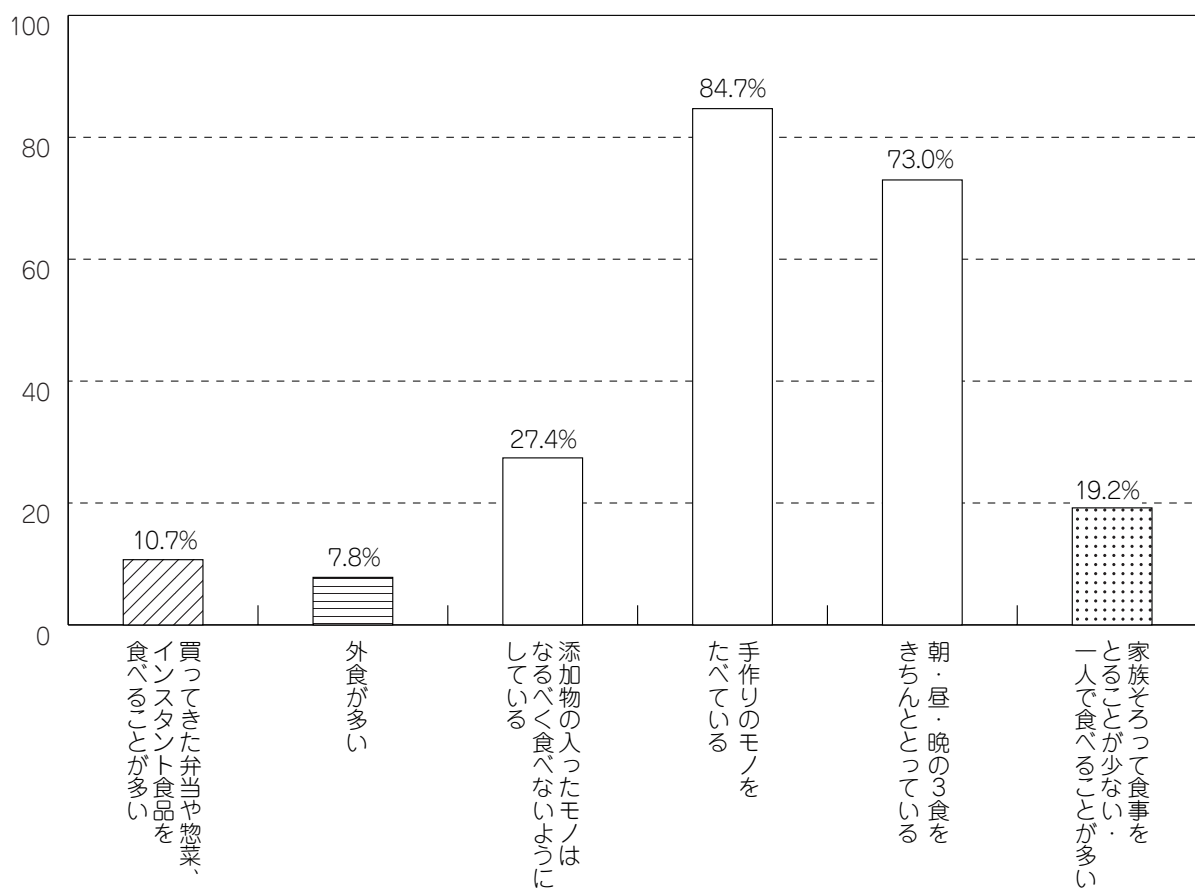


表50 階層別にみた食生活

上段：実数 下段：横%		合 計	問10 食生活							無 回 答
			買ったきた弁当や惣菜、インスタント食品を食べることが多い	外食が多い	食べないようになっている	添加物の入ったモノはなるべく	手作りのモノをたべている	朝・昼・晩の3食をきちんとして	家族そろって食事をとることが少ない・一人で食べる人が多い	
全 体		485	52 10.7	38 7.8	133 27.4	411 84.7	354 73.0	93 19.2	3 0.6	
階 層	経 営 者 層	47	4 8.5	5 10.6	18 38.3	39 83.0	32 68.1	8 17.0	- -	
	ホワイトカラー層	53	4 7.5	7 13.2	22 41.5	42 79.2	43 81.1	6 11.3	1 1.9	
	ブルーカラー層	25	5 20.0	7 28.0	5 20.0	22 88.0	17 68.0	2 8.0	- -	
	不安定雇用者層	53	10 18.9	2 3.8	13 24.5	42 79.2	34 64.2	12 22.6	1 1.9	
	自 営 業 者 層	164	9 5.5	8 4.9	47 28.7	146 89.0	124 75.6	30 18.3	- -	
	無 業 者 層	143	20 14.0	9 6.3	28 19.6	120 83.9	104 72.7	35 24.5	1 0.7	

表51 世帯構成別にみた食生活

上段：実数 下段：横%		合 計	問10 食生活							無 回 答
			買ったきた弁当や惣菜、インスタント食品を食べることが多い	外食が多い	食べないようになっている	添加物の入ったモノはなるべく	手作りのモノをたべている	朝・昼・晩の3食をきちんとして	家族そろって食事をとることが少ない・一人で食べる人が多い	
全 体		485	52 10.7	38 7.8	133 27.4	411 84.7	354 73.0	93 19.2	3 0.6	
世 帯 構 成	単 身	99	23 23.2	14 14.1	11 11.1	69 69.7	62 62.6	37 37.4	1 1.0	
	夫 婦 の み	109	8 7.3	7 6.4	37 33.9	95 87.2	84 77.1	14 12.8	1 0.9	
	夫 婦 と 子	142	8 5.6	11 7.7	49 34.5	128 90.1	109 76.8	20 14.1	- -	
	夫 婦 と 親	10	- -	- -	4 40.0	9 90.0	6 60.0	2 20.0	- -	
	三 世 代	65	2 3.1	2 3.1	21 32.3	60 92.3	54 83.1	8 12.3	- -	
	生 計 中 心 者 と 親	41	7 17.1	4 9.8	8 19.5	33 80.5	27 65.9	8 19.5	1 2.4	
	そ の 他	19	4 21.1	- -	3 15.8	17 89.5	12 63.2	4 21.1	- -	

## 5 住まいの困りごと

住まいのことでの困りごとや悩みについて「ある」との回答は（表52）、68.5%であった。困りごとや悩みの具体的内容を比率の高いものから順に挙げると、①日当たりがよくない（31.9%）、②家が古くなりいたんでいる（27.4%）、③部屋が狭い（22.0%）、④車イスが利用できない住宅・部屋の構造になっている（19.0%）、⑤部屋数が少ない

表52 階層別にみた住まいの困りごとや悩み

	合 計	問14ハ 住まいの困りごとや悩み (内訳 [%は内数])												
		ない	あ る											
				狭部 屋 い が	少部 屋 数 い が	病 人 や 高 齢 者 専 用 室 が な い	狭 玄 関 い が	騒 音 ・ 悪 臭 の 周 囲	よ く な い 日 当 た り が	よ く な い 風 通 し が	危 険 で あ る 階 段 が	が な い エレ ベ ーター	あ 段 差 る が	
全 体	485 100.0	152 31.3	332 68.5	73 22.0	56 16.9	23 6.9	41 12.3	54 16.3	106 31.9	43 13.0	41 12.3	8 2.4	40 12.0	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	17 36.2	30 63.8	12 40.0	12 40.0	3 10.0	5 16.7	5 16.7	10 33.3	5 16.7	7 23.3	3 10.0	4 13.3
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	16 30.2	37 69.8	12 32.4	10 27.0	1 2.7	6 16.2	5 13.5	16 43.2	3 8.1	7 18.9	- -	2 5.4
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	6 24.0	19 76.0	10 52.6	11 57.9	5 26.3	7 36.8	2 10.5	6 31.6	3 15.8	4 21.1	1 5.3	4 21.1
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	14 26.4	39 73.6	9 23.1	7 17.9	5 12.8	4 10.3	7 17.9	13 33.3	7 17.9	3 7.7	- -	4 10.3
	自 営 業 者 層	164 100.0	56 34.1	108 65.9	14 13.0	12 11.1	6 5.6	11 10.2	25 23.1	33 30.6	16 14.8	7 6.5	1 0.9	11 10.2
	無 業 者 層	143 100.0	43 30.1	99 69.2	16 16.2	4 4.0	3 3.0	8 8.1	10 10.1	28 28.3	9 9.1	13 13.1	3 3.0	15 15.2

表53 地域別にみた住まいの困りごとや悩み

	合 計	問14ハ 住まいの困りごとや悩み (内訳 [%は内数])												
		ない	あ る											
				狭部 屋 い が	少部 屋 数 い が	病 人 や 高 齢 者 専 用 室 が な い	狭 玄 関 い が	騒 音 ・ 悪 臭 の 周 囲	よ く な い 日 当 た り が	よ く な い 風 通 し が	危 険 で あ る 階 段 が	が な い エレ ベ ーター	あ 段 差 る が	
全 体	485 100.0	152 31.3	332 68.5	73 22.0	56 16.9	23 6.9	41 12.3	54 16.3	106 31.9	43 13.0	41 12.3	8 2.4	40 12.0	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	28 31.8	60 68.2	13 21.7	5 8.3	6 10.0	10 16.7	7 11.7	22 36.7	11 18.3	8 13.3	2 3.3	7 11.7
	朱 雀 第 五	79 100.0	26 32.9	53 67.1	14 26.4	10 18.9	7 13.2	6 11.3	7 13.2	10 18.9	5 9.4	6 11.3	1 1.9	4 7.5
	富 有	88 100.0	25 28.4	63 71.6	14 22.2	9 14.3	- -	5 7.9	8 12.7	19 30.2	3 4.8	10 15.9	2 3.2	8 12.7
	龍 池	88 100.0	27 30.7	61 69.3	14 23.0	12 19.7	4 6.6	7 11.5	9 14.8	25 41.0	5 8.2	9 14.8	3 4.9	11 18.0
	教 業	77 100.0	26 33.8	50 64.9	13 26.0	11 22.0	5 10.0	9 18.0	5 10.0	18 36.0	11 22.0	5 10.0	- -	8 16.0
	立 誠	65 100.0	20 30.8	45 69.2	5 11.1	9 20.0	1 2.2	4 8.9	18 40.0	12 26.7	8 17.8	3 6.7	- -	2 4.4



(16.9%)、⑥家屋の修理や改築のための費用がない(16.6%)、⑦周囲の騒音・悪臭(16.3%)、⑧風通しがよくない(13.0%)、⑨階段が危険である(12.3%)、⑩玄関が狭い(12.3%)、⑪段差がある(12.0%)となっている。

地域別にみると(表53)、立誠において「入浴車が入れない」との比率が13.3%と相対的に高くなっていることが目につく。

開閉が困難	ドアの	なすり	手すり	できない構造	車イスが利用	入浴車が入	緊急時の避難	使用が困難	トイレが	使用が困難	風呂がな	いたんで	家が古くなり	改築の費用が	家屋の修理や	誰に修理を頼め	住宅ロー	返済	家賃が高い	家賃の更新料や	値上げにか	払えない	更新料が	せまられて	立ち退きを	が少ない	低層の公共	その他	無	回	答																																																																																																																																																																																																																												
4	19	63	24	29	27	28	91	55	9	25	19	9	2	3	8	27	1	1.2	5.7	19.0	7.2	8.7	8.1	8.4	27.4	16.6	2.7	7.5	5.7	2.7	0.6	0.9	2.4	8.1	0.2	-	1	10	2	3	2	1	6	3	-	2	1	1	-	-	-	1	-	-	3.3	33.3	6.7	10.0	6.7	3.3	20.0	10.0	-	6.7	3.3	3.3	-	-	-	3.3	-	1	-	5	1	3	1	-	6	3	1	8	-	1	-	-	-	2	-	2.7	-	13.5	2.7	8.1	2.7	-	16.2	8.1	2.7	21.6	-	2.7	-	-	-	5.4	-	-	4	4	1	1	2	2	8	4	1	1	1	-	-	-	1	4	-	-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7
1.2	5.7	19.0	7.2	8.7	8.1	8.4	27.4	16.6	2.7	7.5	5.7	2.7	0.6	0.9	2.4	8.1	0.2	-	1	10	2	3	2	1	6	3	-	2	1	1	-	-	-	1	-	-	3.3	33.3	6.7	10.0	6.7	3.3	20.0	10.0	-	6.7	3.3	3.3	-	-	-	3.3	-	1	-	5	1	3	1	-	6	3	1	8	-	1	-	-	-	2	-	2.7	-	13.5	2.7	8.1	2.7	-	16.2	8.1	2.7	21.6	-	2.7	-	-	-	5.4	-	-	4	4	1	1	2	2	8	4	1	1	1	-	-	-	1	4	-	-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																		
-	1	10	2	3	2	1	6	3	-	2	1	1	-	-	-	1	-	-	3.3	33.3	6.7	10.0	6.7	3.3	20.0	10.0	-	6.7	3.3	3.3	-	-	-	3.3	-	1	-	5	1	3	1	-	6	3	1	8	-	1	-	-	-	2	-	2.7	-	13.5	2.7	8.1	2.7	-	16.2	8.1	2.7	21.6	-	2.7	-	-	-	5.4	-	-	4	4	1	1	2	2	8	4	1	1	1	-	-	-	1	4	-	-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																				
-	3.3	33.3	6.7	10.0	6.7	3.3	20.0	10.0	-	6.7	3.3	3.3	-	-	-	3.3	-	1	-	5	1	3	1	-	6	3	1	8	-	1	-	-	-	2	-	2.7	-	13.5	2.7	8.1	2.7	-	16.2	8.1	2.7	21.6	-	2.7	-	-	-	5.4	-	-	4	4	1	1	2	2	8	4	1	1	1	-	-	-	1	4	-	-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																						
1	-	5	1	3	1	-	6	3	1	8	-	1	-	-	-	2	-	2.7	-	13.5	2.7	8.1	2.7	-	16.2	8.1	2.7	21.6	-	2.7	-	-	-	5.4	-	-	4	4	1	1	2	2	8	4	1	1	1	-	-	-	1	4	-	-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																								
2.7	-	13.5	2.7	8.1	2.7	-	16.2	8.1	2.7	21.6	-	2.7	-	-	-	5.4	-	-	4	4	1	1	2	2	8	4	1	1	1	-	-	-	1	4	-	-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																										
-	4	4	1	1	2	2	8	4	1	1	1	-	-	-	1	4	-	-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																												
-	21.1	21.1	5.3	5.3	10.5	10.5	42.1	21.1	5.3	5.3	5.3	-	-	-	5.3	21.1	-	-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																																														
-	4	7	5	3	4	1	12	9	1	2	3	1	-	1	3	2	-	-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																																																																
-	10.3	17.9	12.8	7.7	10.3	2.6	30.8	23.1	2.6	5.1	7.7	2.6	-	2.6	7.7	5.1	-	1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																																																																																		
1	4	16	7	8	9	10	31	19	2	11	8	1	-	-	2	8	-	0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																																																																																																				
0.9	3.7	14.8	6.5	7.4	8.3	9.3	28.7	17.6	1.9	10.2	7.4	0.9	-	-	1.9	7.4	-	2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																																																																																																																						
2	6	21	8	11	9	14	28	17	4	1	6	5	2	2	2	10	1	2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																																																																																																																																								
2.0	6.1	21.2	8.1	11.1	9.1	14.1	28.3	17.2	4.0	1.0	6.1	5.1	2.0	2.0	2.0	10.1	0.7																																																																																																																																																																																																																																										

開閉が困難	ドアの	なすり	手すり	できない構造	車イスが利用	入浴車が入	緊急時の避難	使用が困難	トイレが	使用が困難	風呂がな	いたんで	家が古くなり	改築の費用が	家屋の修理や	誰に修理を頼め	住宅ロー	返済	家賃が高い	家賃の更新料や	値上げにか	払えない	更新料が	せまられて	立ち退きを	が少ない	低層の公共	その他	無	回	答																																																																																																																																																																																																																												
4	19	63	24	29	27	28	91	55	9	25	19	9	2	3	8	27	1	1.2	5.7	19.0	7.2	8.7	8.1	8.4	27.4	16.6	2.7	7.5	5.7	2.7	0.6	0.9	2.4	8.1	0.2	1	3	9	4	2	5	3	16	6	2	5	1	1	-	1	3	10	-	1.7	5.0	15.0	6.7	3.3	8.3	5.0	26.7	10.0	3.3	8.3	1.7	1.7	-	1.7	5.0	16.7	-	-	3	6	2	1	5	5	15	13	2	8	3	1	-	-	1	3	-	-	5.7	11.3	3.8	1.9	9.4	9.4	28.3	24.5	3.8	15.1	5.7	1.9	-	-	1.9	5.7	-	-	3	11	2	4	5	7	14	10	1	2	4	3	2	1	1	4	-	-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-
1.2	5.7	19.0	7.2	8.7	8.1	8.4	27.4	16.6	2.7	7.5	5.7	2.7	0.6	0.9	2.4	8.1	0.2	1	3	9	4	2	5	3	16	6	2	5	1	1	-	1	3	10	-	1.7	5.0	15.0	6.7	3.3	8.3	5.0	26.7	10.0	3.3	8.3	1.7	1.7	-	1.7	5.0	16.7	-	-	3	6	2	1	5	5	15	13	2	8	3	1	-	-	1	3	-	-	5.7	11.3	3.8	1.9	9.4	9.4	28.3	24.5	3.8	15.1	5.7	1.9	-	-	1.9	5.7	-	-	3	11	2	4	5	7	14	10	1	2	4	3	2	1	1	4	-	-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																		
1	3	9	4	2	5	3	16	6	2	5	1	1	-	1	3	10	-	1.7	5.0	15.0	6.7	3.3	8.3	5.0	26.7	10.0	3.3	8.3	1.7	1.7	-	1.7	5.0	16.7	-	-	3	6	2	1	5	5	15	13	2	8	3	1	-	-	1	3	-	-	5.7	11.3	3.8	1.9	9.4	9.4	28.3	24.5	3.8	15.1	5.7	1.9	-	-	1.9	5.7	-	-	3	11	2	4	5	7	14	10	1	2	4	3	2	1	1	4	-	-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																				
1.7	5.0	15.0	6.7	3.3	8.3	5.0	26.7	10.0	3.3	8.3	1.7	1.7	-	1.7	5.0	16.7	-	-	3	6	2	1	5	5	15	13	2	8	3	1	-	-	1	3	-	-	5.7	11.3	3.8	1.9	9.4	9.4	28.3	24.5	3.8	15.1	5.7	1.9	-	-	1.9	5.7	-	-	3	11	2	4	5	7	14	10	1	2	4	3	2	1	1	4	-	-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																						
-	3	6	2	1	5	5	15	13	2	8	3	1	-	-	1	3	-	-	5.7	11.3	3.8	1.9	9.4	9.4	28.3	24.5	3.8	15.1	5.7	1.9	-	-	1.9	5.7	-	-	3	11	2	4	5	7	14	10	1	2	4	3	2	1	1	4	-	-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																								
-	5.7	11.3	3.8	1.9	9.4	9.4	28.3	24.5	3.8	15.1	5.7	1.9	-	-	1.9	5.7	-	-	3	11	2	4	5	7	14	10	1	2	4	3	2	1	1	4	-	-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																										
-	3	11	2	4	5	7	14	10	1	2	4	3	2	1	1	4	-	-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																												
-	4.8	17.5	3.2	6.3	7.9	11.1	22.2	15.9	1.6	3.2	6.3	4.8	3.2	1.6	1.6	6.3	-	1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																																														
1	4	16	5	8	3	1	17	7	1	4	6	3	-	1	1	3	-	1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																																																																
1.6	6.6	26.2	8.2	13.1	4.9	1.6	27.9	11.5	1.6	6.6	9.8	4.9	-	1.6	1.6	4.9	-	2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																																																																																		
2	3	9	5	8	5	4	17	9	1	5	4	-	-	-	1	4	1	4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																																																																																																				
4.0	6.0	18.0	10.0	16.0	10.0	8.0	34.0	18.0	2.0	10.0	8.0	-	-	-	2.0	8.0	1.3	-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																																																																																																																						
-	3	12	6	6	4	8	12	10	2	1	1	1	-	-	1	3	-	-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																																																																																																																																								
-	6.7	26.7	13.3	13.3	8.9	17.8	26.7	22.2	4.4	2.2	2.2	2.2	-	-	2.2	6.7	-																																																																																																																																																																																																																																										

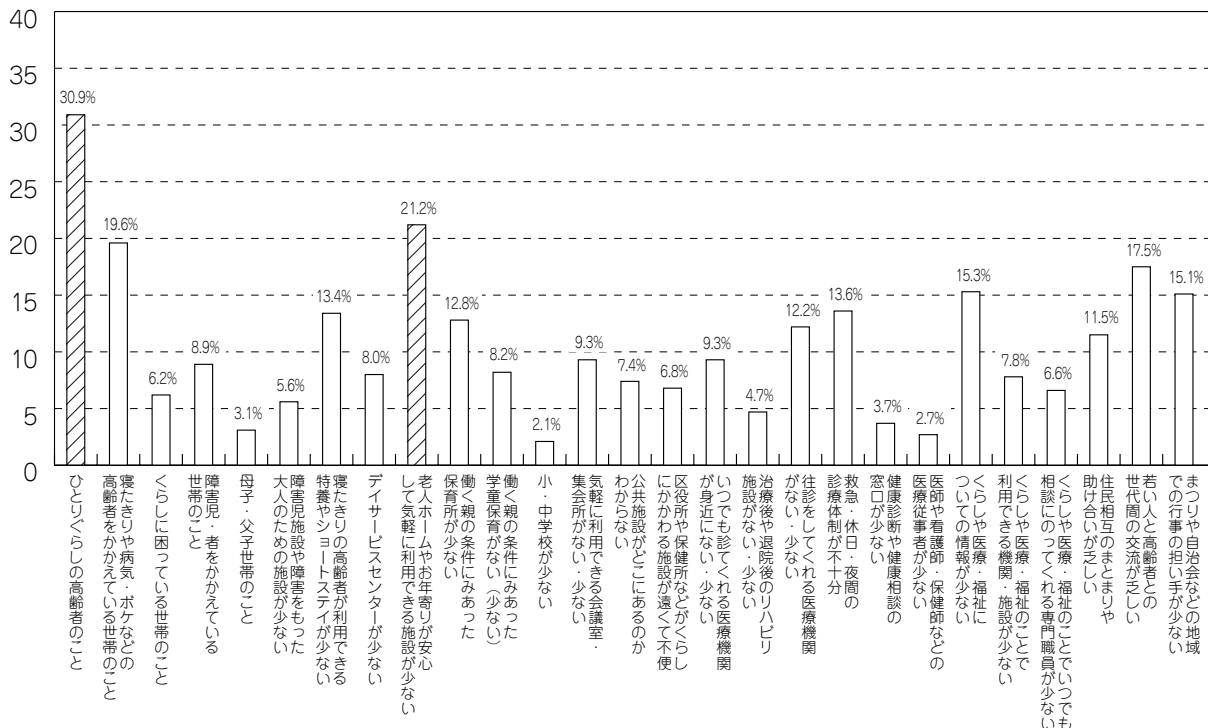
# V 地域生活問題

## 1 地域で日頃何とかしなければならないと思っていること

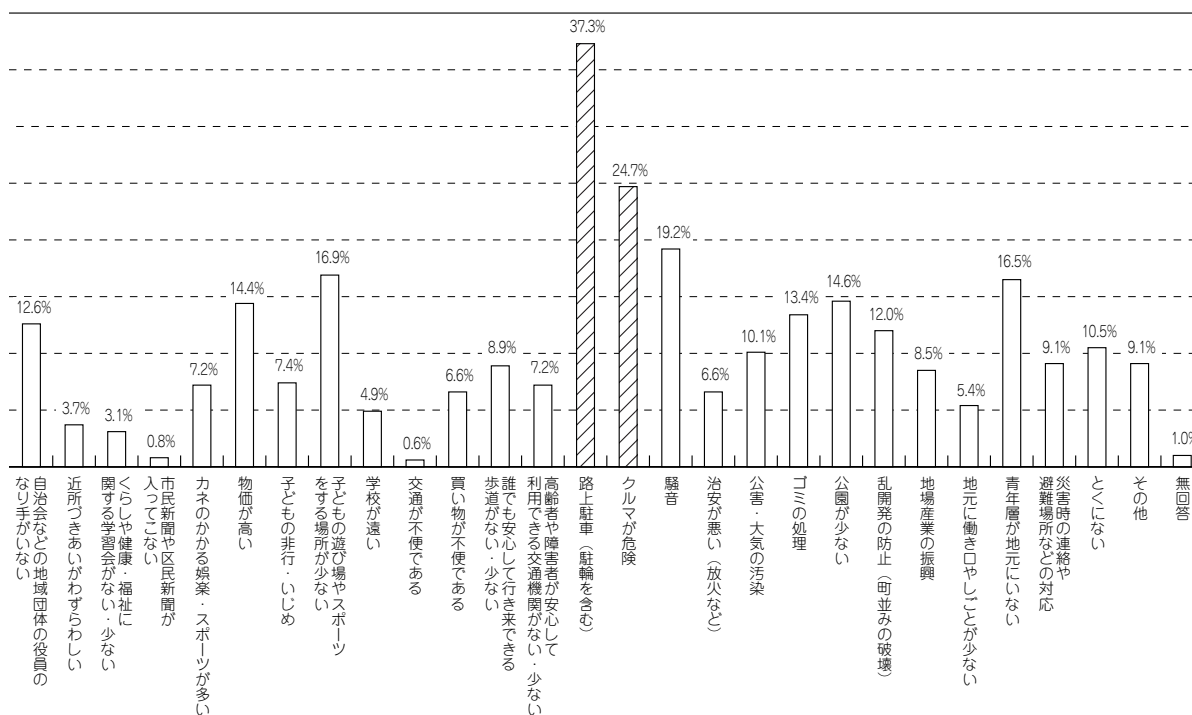
「あなたが住んでいる地域で、日頃、何とかしなければならないと思っていることは何ですか」との問に対する回答について、比率の高いものから順に挙げると以下の通りである（図8）。

- ①路上駐車（駐輪を含む）……………37.3%
- ②ひとりぐらし高齢者のこと……………30.9%
- ③クルマが危険……………24.7%
- ④老人ホームやお年寄りが安心して気軽に利用できる施設が少ない……………21.2%
- ⑤寝たきりや病気・ボケなどの高齢者をかかえている世帯のこと……………19.6%
- ⑥騒音……………19.2%
- ⑦若い人と高齢者との世代間の交流が乏しい……………17.5%
- ⑧子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない……………16.9%
- ⑨青年層が地元が少ない……………16.5%
- ⑩くらしや医療・福祉についての情報が少ない……………15.3%
- ⑪まつりや自治会などの地域での行事の担い手が少ない……………15.1%
- ⑫公園が少ない……………14.6%

図8 地域で日頃何とかしなければならないと思っていること(全体)



京都市の中心市街地ということもあって、車・自転車問題、高齢者問題の比率が高いといった特徴がある。また、新たなマンション等が建設され世帯数が増加していることの反映として、子ども・青少年問題に関するものも上位を占めている。



## 2 地域別にみた地域生活問題

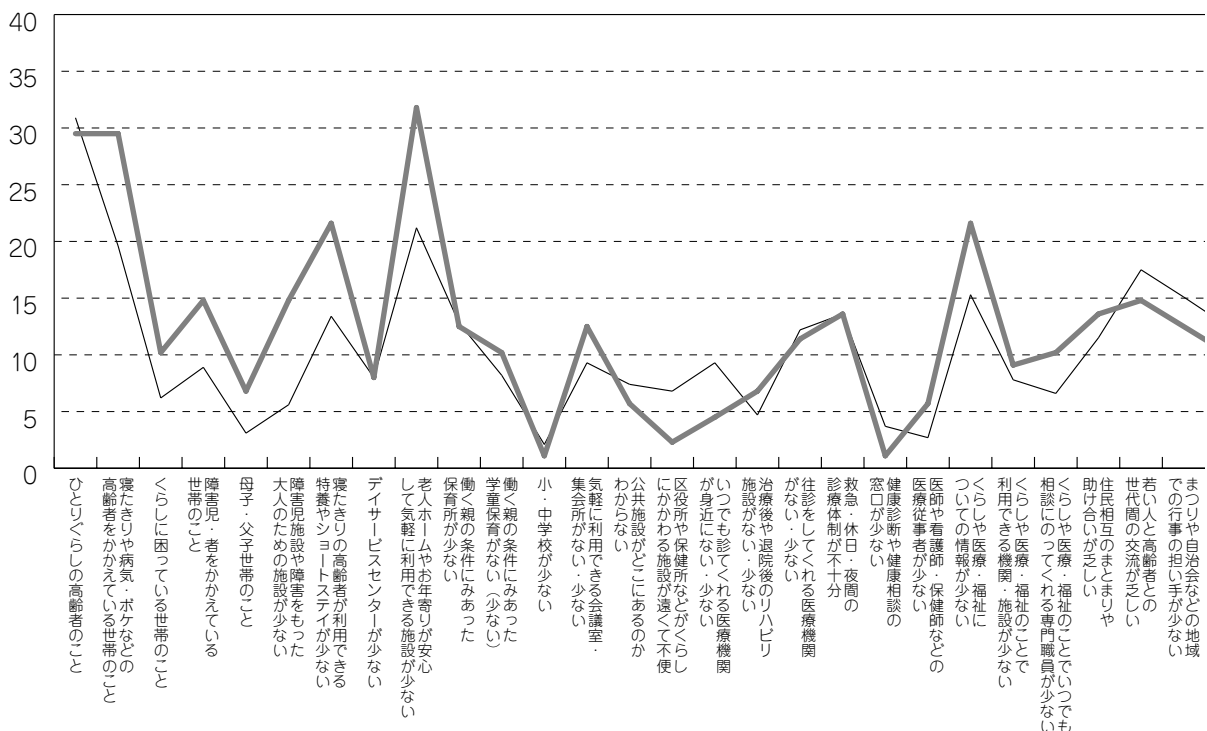
元学区によって地域生活問題の違いが顕著である（図9～14及び表54）。

朱一では、「老人ホームやお年寄りが安心して気軽に利用できる施設が少ない」（31.8%）、「寝たきりや病気・ボケなどの高齢者をかかえている世帯のこと」（29.5%）、「寝たきりの高齢者が利用できる特別養護老人ホームやショートステイが少ない」（21.6%）、「くらしや医療・福祉についての情報が少ない」（21.6%）、「障害児・者をかかえている世帯のこと」（14.8%）、「障害児施設や障害をもった大人のための施設が少ない」（14.8%）が相対的に高い比率となっている。

朱五では、全体の値に近い比率になっているが、その中で「区役所や保健所などくらしにかかわる施設が遠くて不便」（12.7%）が相対的に高い比率になっているのが目につく。

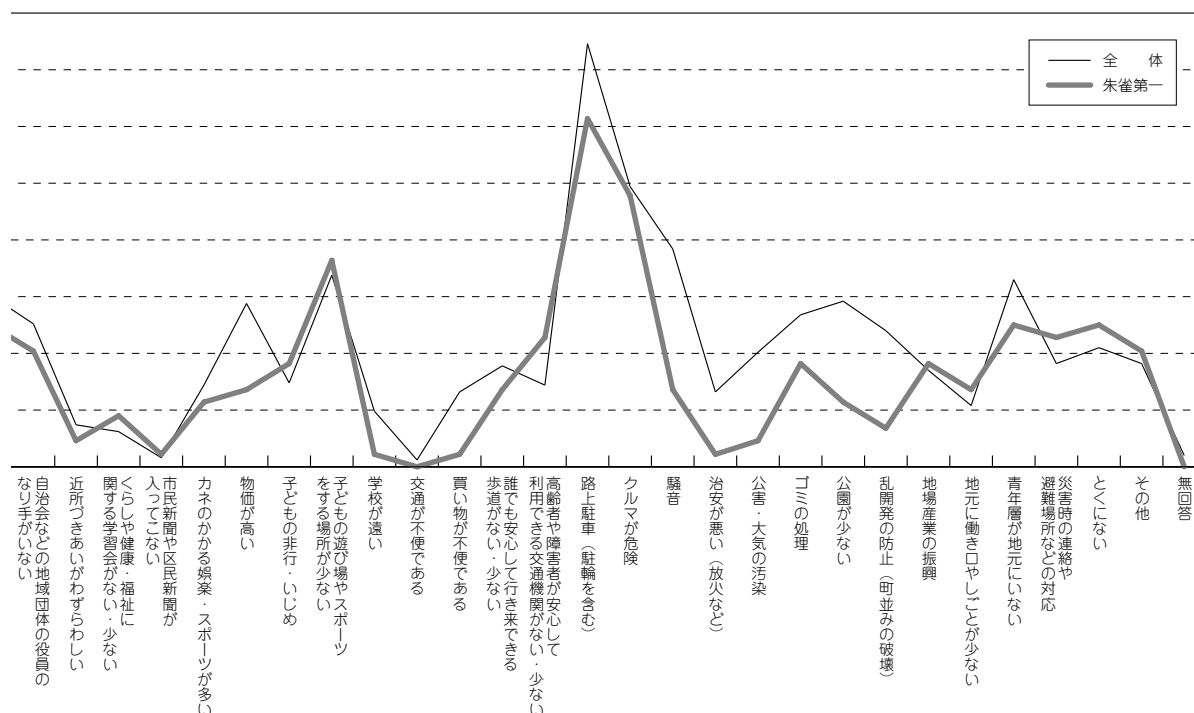
富有では、「自治会など地域団体の役員のなり手がいない」（18.2%）と「働く親の条件にみあった学童保育（学童クラブ）がない・少ない」（12.5%）が相対的に高率となっている。

図9 全体と朱雀第一の比較



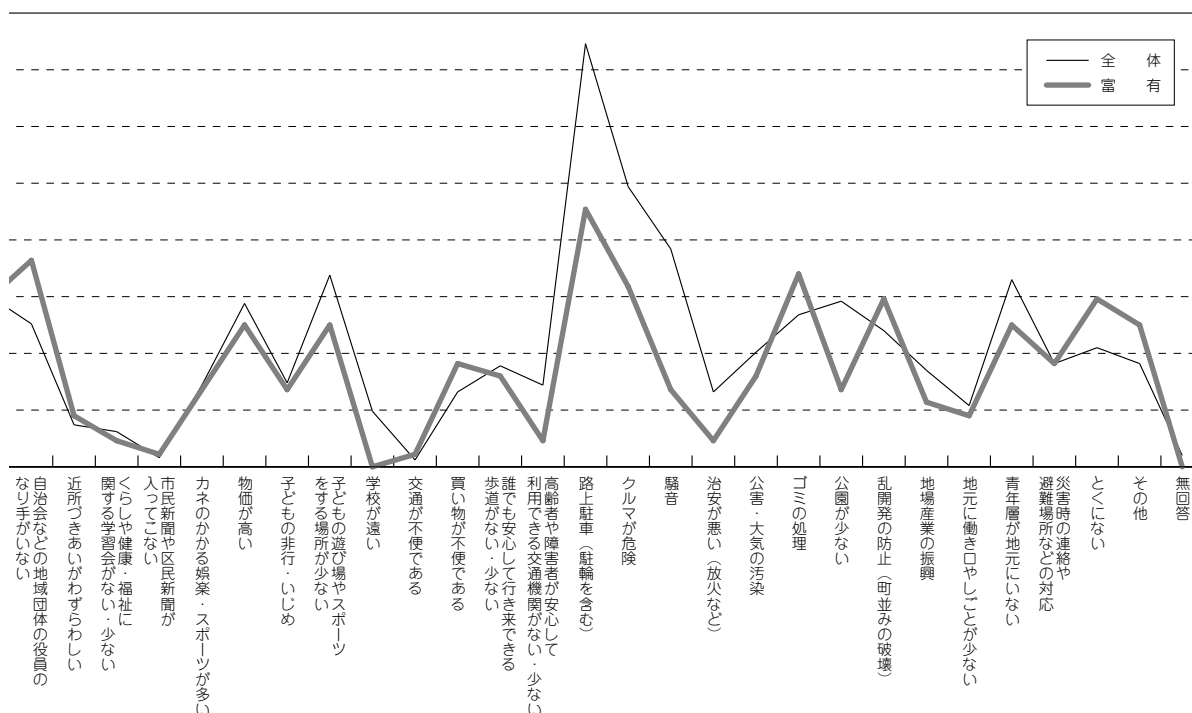
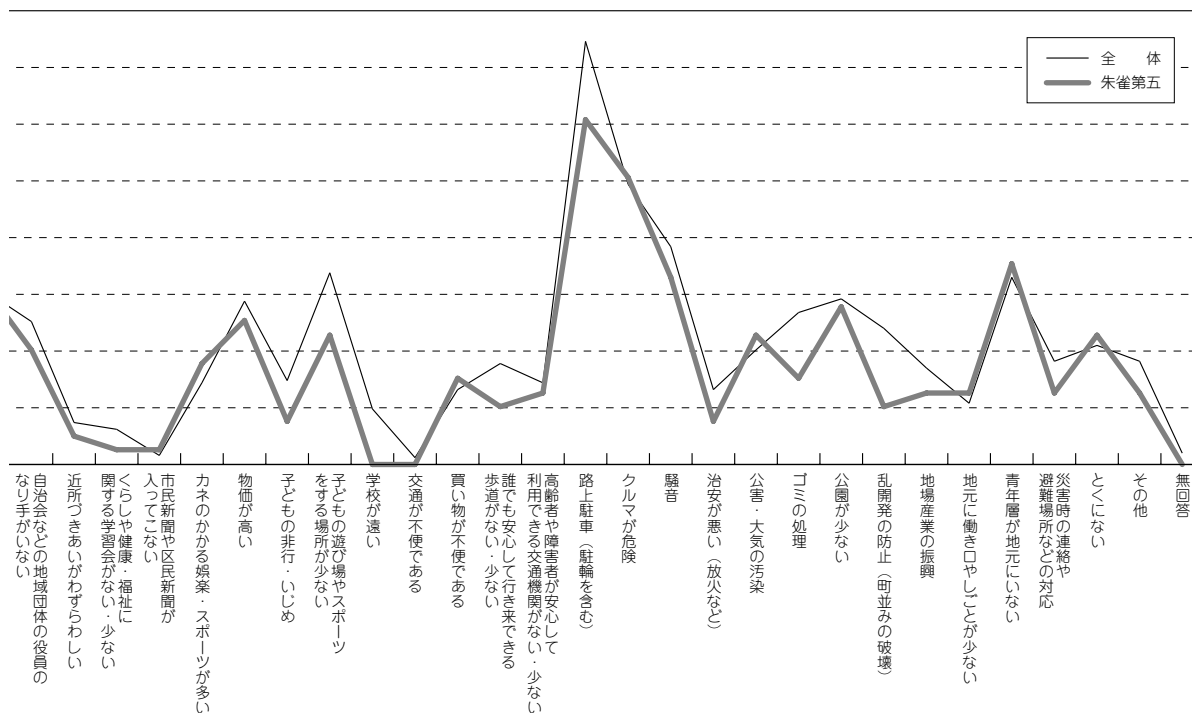
龍池では、全体の値を上回るものが多い。「路上駐車（駐輪を含む）」（48.9%）、「クルマが危険」（39.8%）、「騒音」（33.0%）、「誰でも安心して行き来できる歩道がない・少ない」（21.6%）、「公害・大気の汚染」（18.2%）、「高齢者や障害者が安心して利用できる交通機関がない・少ない」（12.5%）といった車・交通にかかわる問題の指摘が高率となっている。「乱開発の防止（町並みの破壊）」（23.9%）は他地域と比べて最も高率である。「ひとりぐらし高齢者のこと」（39.8%）、「寝たきりや病気・ボケなど的高齢者がかかえている世帯のこと」（26.1%）も高率である。「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」（26.1%）、「公園が少ない」（35.2%）、「働く親の条件にみあった保育所（園）が少ない」（18.2%）、「学校が遠い」（20.5%）等、子どもに関する問題を指摘する比率も高い。「救急・休日・夜間の診療体制が不十分」（25.0%）、「往診をしてくれる医療機関がない・少ない」（20.5%）と医療機関に関する比率も相対的に高い。「気軽に利用できる会議室・集会所がない・少ない」（15.9%）も相対的に高率である。さらに、「地場産業の振興」（20.5%）も相対的に高い比率となっている

教業では、「ひとりぐらし高齢者のこと」（37.7%）と「青年層が地元が少ない」（23.4%）「まつりや自治会などの地域での行事の担い手が少ない」（20.8%）といった項目の比率が相対的に高くなっている。





に関する問題の比率が高くなっている。「老人ホームやお年寄りが安心して利用できる施設が少ない」(26.2%)も相対的に高率。「子どもの遊び場やスポーツをする場所が少ない」(23.1%)も相対的に高率。「気軽に利用できる会議室・集会所がない・少ない」



(15.4%) も相対的に高率。「いつでも診てくれる医療機関が身近にない・少ない」(21.5%)、「往診をしてくれる医療機関がない・少ない」(21.5%) も相対的に高率。「住民相互のまとまりや助け合いが乏しい」(20.0%) も相対的に高率となっている。

図12 全体と龍池の比較

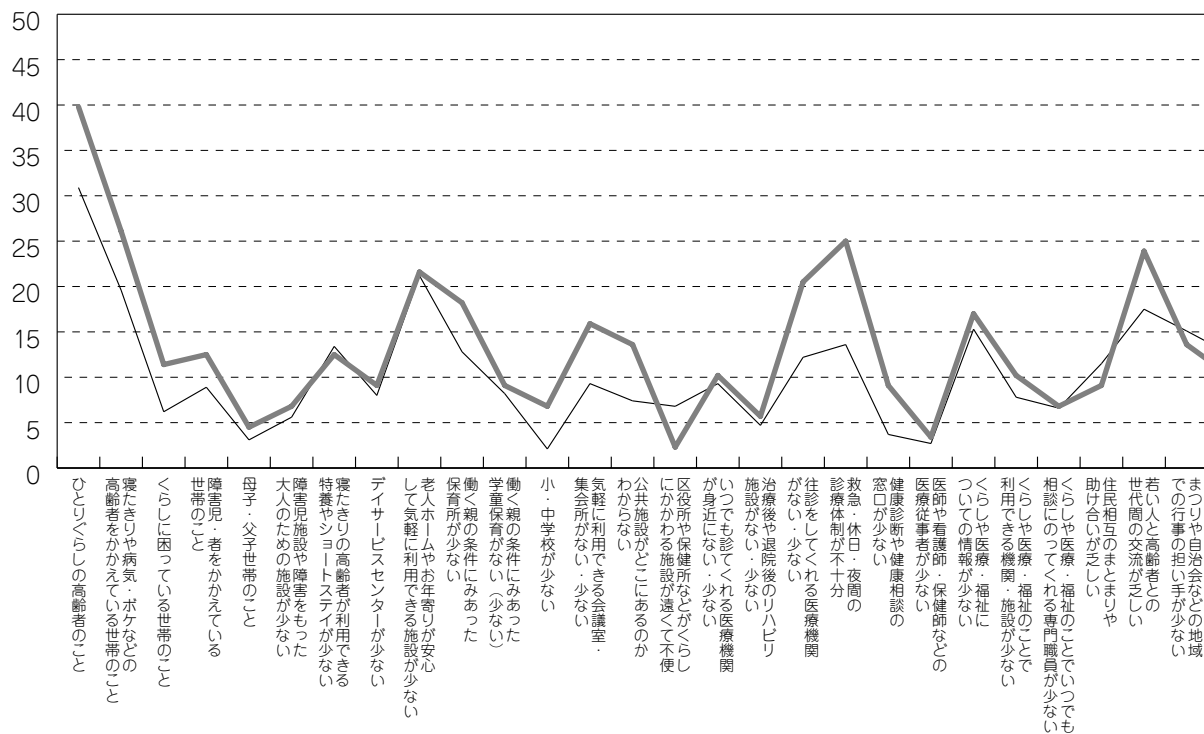
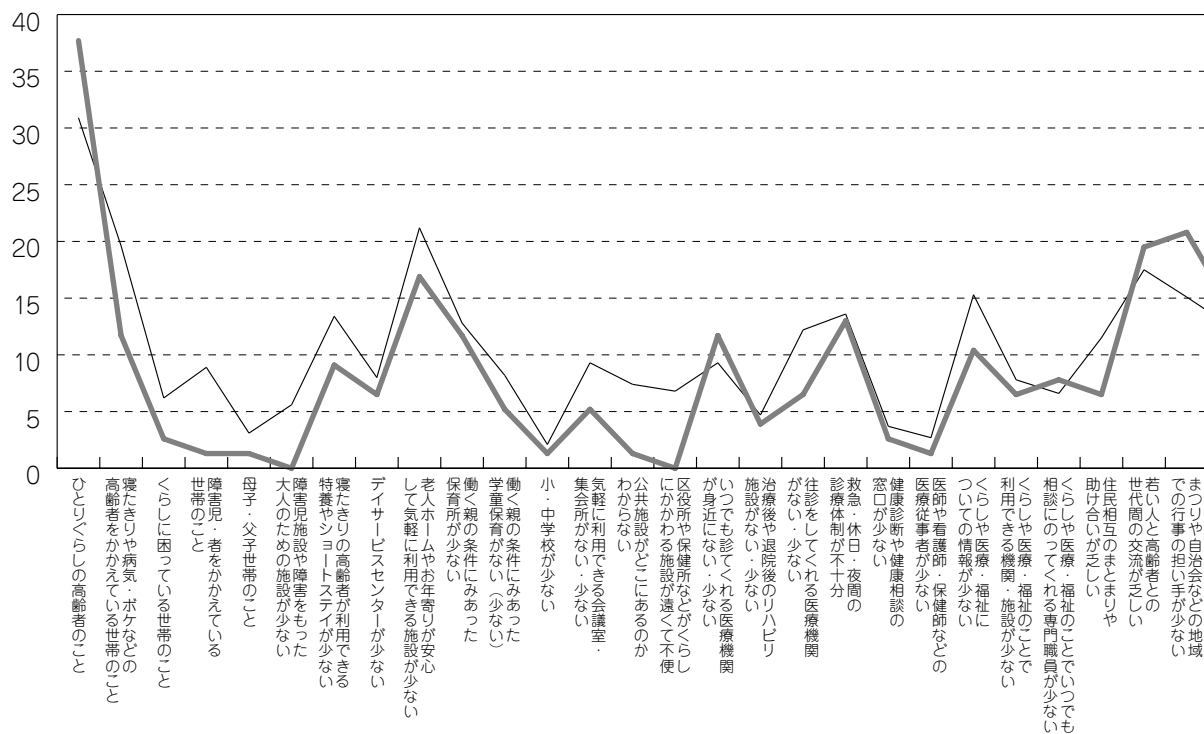
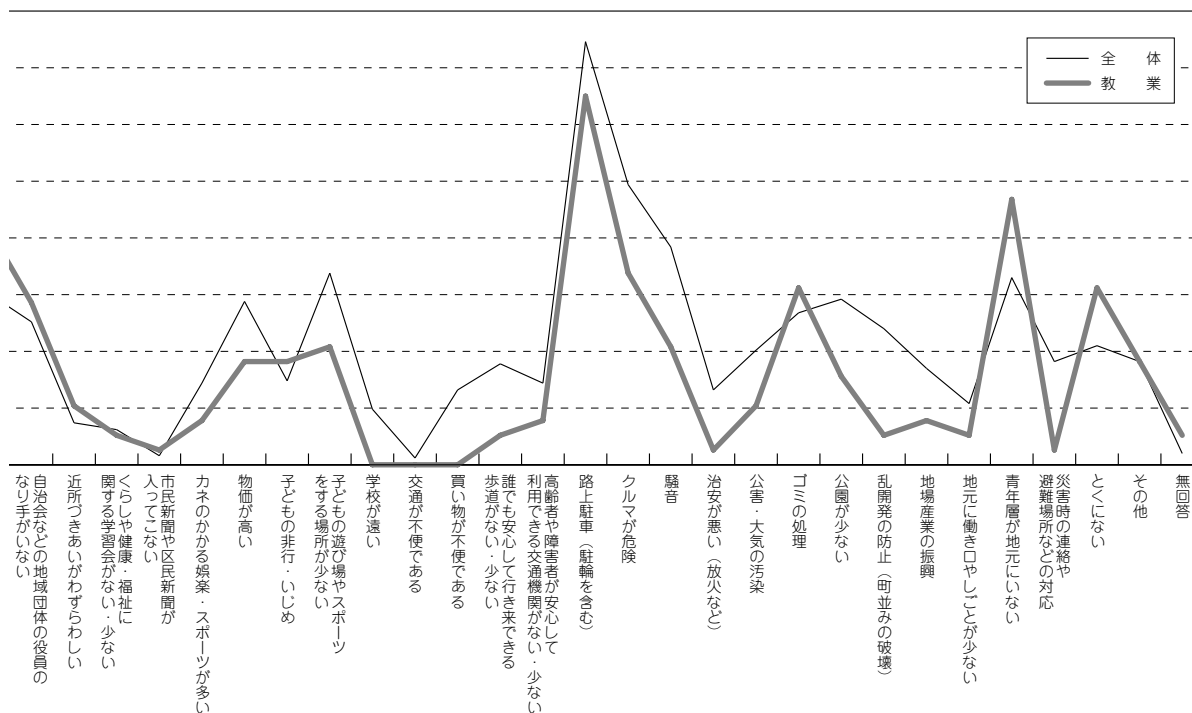
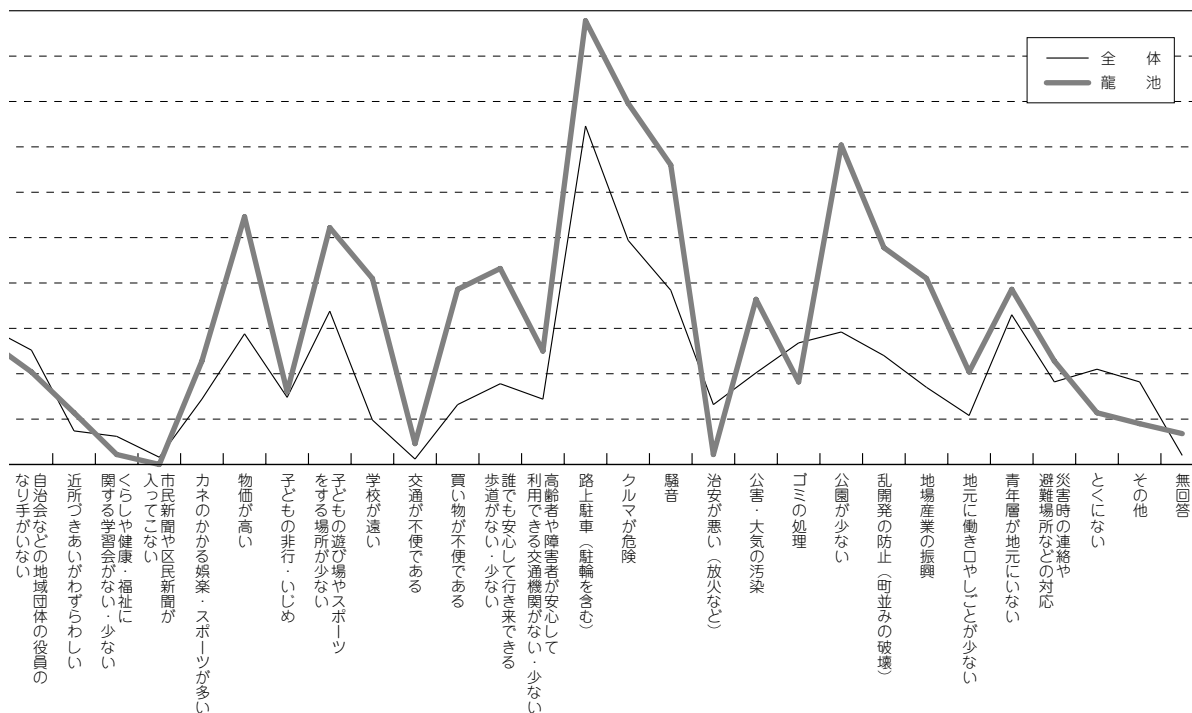


図13 全体と教業の比較





全体を通していえることは、堀川通りより東の社会福祉施設の整備が遅れている地域で、しかもマンションの建設によって世帯が増加している地域でとくに地域生活問題が深刻化しているということである。



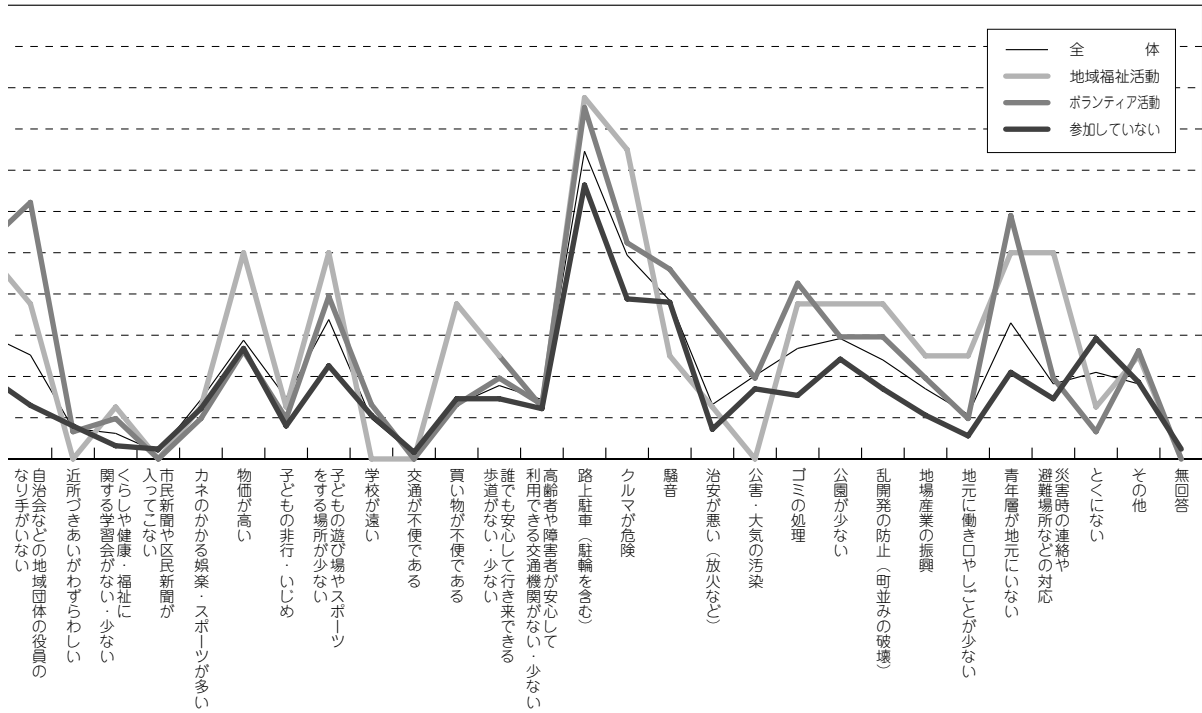






中身や社会福祉施設の整備についての課題等を指摘する比率が高くなっている。

くらしや健康に関わる具体的な地域活動を取り組んでいく中で、くらしや地域に目が向き、課題意識も高まっていく。そして、このエネルギーが地域生活問題を解決することに繋がっていくといえよう。その意味で、くらしや健康に関わる地域活動の推進・活性化が地域生活問題解決の糸口といえる。



世帯 若い 世代 の人 と高 齢者 との 交流 が乏 しい	自治 会な どの 地域 団体 の役 員の ない 手 が少 ない	近所 づき あい がわ ずら わし い	学 習 会 が な い・ 少 な い	市 民 新 聞 や 区 民 新 聞 が 入 っ て こ な い	カ ネ の か か る 娯 楽 ・ ス ポ ー ツ が 多 い	物 価 が 高 い	子 ど も の 遊 び 場 や ス ポ ー ツ を す る 場 所 が 少 な い	学 校 が 遠 い	交 通 が 不 便 で あ る	買 い 物 が 不 便 で あ る	誰 で も 安 心 し て 行 き 来 で き る 歩 道 が な い・ 少 な い	高 齢 者 や 障 害 者 が 安 心 し て 利 用 で き る 交 通 機 関 が な い・ 少 な い	ク ル マ が 危 険	騒 音	治 安 が 悪 い (放 火 な ど)	公 害 ・ 大 気 の 汚 染	ゴ ミ の 処 理	公 園 が 少 な い	乱 開 発 の 防 止 (田 並 み の 破 壊)	地 場 産 業 の 振 興	地 元 に 働 き 口 や し ご と が 少 な い	青 年 層 が 地 元 に い な い	災 害 時 の 連 絡 や 避 難 場 所 な ど の 対 応	と く に な い	そ の 他	無 回 答			
85	73	61	18	15	4	35	70	36	82	24	3	32	43	35	181	120	93	32	49	65	71	58	41	26	80	44	51	44	5
17.5	15.1	12.6	3.7	3.1	0.8	7.2	14.4	7.4	16.9	4.9	0.6	6.6	8.9	7.2	37.3	24.7	19.2	6.6	10.1	13.4	14.6	12.0	8.5	5.4	16.5	9.1	10.5	9.1	1.0
5	5	6	2	2	-	-	5	6	-	-	-	3	3	2	13	15	8	3	4	3	5	5	3	3	6	-	2	3	1
13.9	13.9	16.7	2.8	5.6	-	-	5.6	13.9	16.7	-	-	8.3	8.3	5.6	36.1	41.7	22.2	8.3	11.1	8.3	13.9	13.9	8.3	6.7	13.9	5.6	8.3	8.3	2.8
7	12	7	2	4	1	8	13	7	13	4	-	3	4	7	26	12	11	8	8	15	11	10	9	5	10	8	8	2	-
11.5	19.7	11.5	3.3	6.6	1.6	13.1	21.3	11.5	21.3	6.6	-	4	6.6	11.5	42.6	19.7	18.0	13.1	13.1	24.6	18.0	16.4	14.8	8.2	16.4	13.1	13.1	3.3	-
3	5	4	2	1	-	4	3	4	5	-	-	-	4	-	8	7	1	1	1	3	3	-	-	1	3	1	-	-	-
15.8	26.3	21.1	10.5	5.3	-	21.1	15.8	21.1	26.3	-	-	-	21.1	-	42.1	36.8	5.3	5.3	5.3	15.8	15.8	-	-	5.3	15.8	5.3	-	-	-
9	5	4	2	1	-	4	5	13	3	1	-	6	6	16	14	10	-	9	9	7	9	6	5	11	6	2	6	6	1
22.0	12.2	9.8	2.4	-	-	9.8	14.6	12.2	31.7	7.3	2.4	2.4	14.6	39.0	34.1	24.4	-	22.0	17.1	22.0	22.0	14.6	12.2	26.8	17.1	4.9	14.6	2.4	-
2	4	3	-	1	-	1	4	1	4	-	-	3	2	1	7	6	2	1	-	3	3	3	2	2	4	4	1	2	-
12.5	25.0	18.8	-	6.3	-	6.3	25.0	6.3	25.0	-	-	18.8	12.5	6.3	43.8	37.5	12.5	6.3	-	18.8	18.8	18.8	12.5	12.5	25.0	25.0	6.3	12.5	-
21	16	19	2	3	-	3	8	3	12	4	-	4	6	4	26	16	14	10	6	13	9	9	6	3	18	6	2	8	-
34.4	26.2	31.1	3.3	4.9	-	4.9	13.1	4.9	19.7	6.6	-	6.6	9.8	6.6	42.6	26.2	23.0	16.4	9.8	21.3	14.8	14.8	9.8	4.9	29.5	9.8	3.3	13.1	-
3	1	2	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	3	2	-	-	-	2	1	1	1	-	-	2	-	-	-	-
75.0	25.0	50.0	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	75.0	50.0	-	-	-	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-
35	25	16	10	4	3	15	33	10	28	13	2	18	18	15	82	48	47	9	21	19	30	21	13	7	26	18	36	23	3
14.2	10.1	6.5	4.0	1.6	1.2	6.1	13.4	4.0	11.3	5.3	0.8	7.3	7.3	6.1	33.2	19.4	19.0	3.6	8.5	7.7	12.1	8.5	5.3	2.8	10.5	7.3	14.6	9.3	1.2

# Ⅵ 子どもの問題

## 1 子どものいる世帯

今回の調査結果によると（表56）、中学生以下の子どもが「いる」世帯は20.4%であった。階層別にみると、ホワイトカラー層とブルーカラー層において中学生以下の子どもが「いる」世帯が50.9%・56.0%と高率となっている。

図16 子どものいる世帯の世帯構成

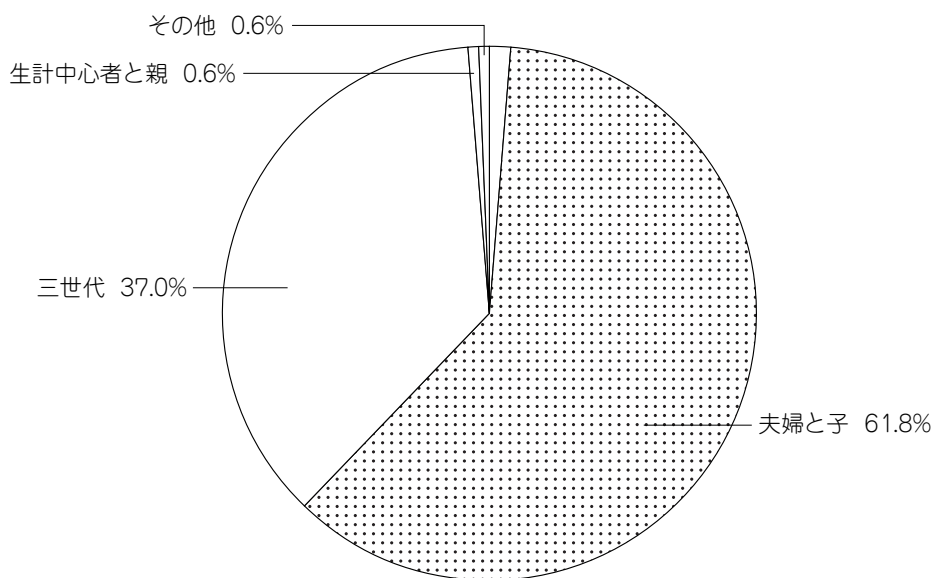


表56 階層別にみた中学生以下の有無

	合 計	問1ホ 中学生以下の子ども			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	386 79.6	99 20.4	-	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	40 85.1	7 14.9	-
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	26 49.1	27 50.9	-
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	11 44.0	14 56.0	-
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	42 79.2	11 20.8	-
	自 営 業 者 層	164 100.0	130 79.3	34 20.7	-
	無 業 者 層	143 100.0	137 95.8	6 4.2	-

中学生以下の子どもの「いる」世帯の世帯構成についてみると（図16）、61.8%が「夫婦と子」といった核家族である。「三世帯」世帯は37.0%である。

住まいの形態別にみると（表57）、「分譲のマンション」で中学生以下の子どもが「いる」世帯の比率が58.8%と高率となっている。近年建築されたマンション等で子どものいる世帯が増えている。

地域別にみると（表58）、中学生以下の子どもが「いる」世帯は、龍池で29.5%と相対的に高率となっている。

**表57 住まいの形態別にみた中学生以下の有無**

	合 計	問1ホ 中学生以下の子ども			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	386 79.6	99 20.4	- -	
住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 100.0	275 79.9	69 20.1	- -
	分譲のマンション	17 100.0	7 41.2	10 58.8	- -
	棟続きの持ち家	22 100.0	20 90.9	2 9.1	- -
	公営・公団の賃貸住宅	- -	- -	- -	- -
	民間借家	53 100.0	46 86.8	7 13.2	- -
	賃貸マンション・アパート	31 100.0	27 87.1	4 12.9	- -
	社宅・寮	8 100.0	5 62.5	3 37.5	- -
	同居	2 100.0	2 100.0	- -	- -
	その他	8 100.0	4 50.0	4 50.0	- -

**表58 地域別にみた中学生以下の有無**

	合 計	問1ホ 中学生以下の子ども			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	386 79.6	99 20.4	- -	
地 域	朱雀第一	88 100.0	71 80.7	17 19.3	- -
	朱雀第五	79 100.0	63 79.7	16 20.3	- -
	富 有	88 100.0	76 86.4	12 13.6	- -
	龍 池	88 100.0	62 70.5	26 29.5	- -
	教 業	77 100.0	63 81.8	14 18.2	- -
	立 誠	65 100.0	51 78.5	14 21.5	- -

## 2 子どもの年齢

中学生以下の子どもの年齢構成は（表59）、「3歳未満」が14.7%、「3～5歳」が25.6%、「小学1～3年生」が21.8%、「小学4～6年生」が17.3%、「中学生」が20.5%であった。

階層別にみると、ホワイトカラー層とブルーカラー層で「3歳未満」が20.5%・25.0%と相対的に高率となっている。自営業者層と無業者層では「中学生」が25.5%・44.4%と相対的に高率となっている。

世帯構成別にみると（表60）、「夫婦と子」世帯で就学前が高率となっている。「三世代」世帯では小学高学年及び中学生が高率となっている。

地域別にみると（表61）、朱一と朱五では「3歳未満」が相対的に高率となっている。富有では、小学低学年が相対的に高率となっている。龍池と教業では「3～5歳」が相対的に高率となっている。立誠では、小学高学年と中学生が相対的に高率となっている。

表59 階層別にみた子どもの年齢

	合 計	子どもの年齢区分						
		3 歳 未 満	3 ～ 5 歳	小 学 1 ～ 3 年 生	小 学 4 ～ 6 年 生	中 学 生	無 回 答	
全 体	156 100.0	23 14.7	40 25.6	34 21.8	27 17.3	32 20.5	- -	
階 層	経 営 者 層	12 100.0	- -	5 41.7	4 33.3	2 16.7	1 8.3	- -
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	44 100.0	9 20.5	15 34.1	6 13.6	7 15.9	7 15.9	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	24 100.0	6 25.0	5 20.8	6 25.0	4 16.7	3 12.5	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	16 100.0	2 12.5	4 25.0	4 25.0	2 12.5	4 25.0	- -
	自 営 業 者 層	51 100.0	6 11.8	9 17.6	13 25.5	10 19.6	13 25.5	- -
	無 業 者 層	9 100.0	- -	2 22.2	1 11.1	2 22.2	4 44.4	- -



表60 世帯構成別にみた子どもの年齢

	上段：実数 下段：横%	合 計	子どもの年齢区分					無 回 答
			3 歳 未 満	3 ～ 5 歳	小 学 1 ～ 3 年 生	小 学 4 ～ 6 年 生	中 学 生	
全	体	156 100.0	23 14.7	40 25.6	34 21.8	27 17.3	32 20.5	- -
世 帯 構 成	単 身	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	夫 婦 の み	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	夫 婦 と 子	95 100.0	21 22.1	27 28.4	19 20.0	13 13.7	15 15.8	- -
	夫 婦 と 親	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	三 世 代	57 100.0	2 3.5	9 15.8	15 26.3	14 24.6	17 29.8	- -
	生 計 中 心 者 と 親	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	そ の 他	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

表61 地域別にみた子どもの年齢

	上段：実数 下段：横%	合 計	子どもの年齢区分					無 回 答
			3 歳 未 満	3 ～ 5 歳	小 学 1 ～ 3 年 生	小 学 4 ～ 6 年 生	中 学 生	
全	体	156 100.0	23 14.7	40 25.6	34 21.8	27 17.3	32 20.5	- -
地 域	朱 雀 第 一	29 100.0	6 20.7	7 24.1	6 20.7	5 17.2	5 17.2	- -
	朱 雀 第 五	24 100.0	8 33.3	4 16.7	4 16.7	3 12.5	5 20.8	- -
	富 有	21 100.0	2 9.5	4 19.0	7 33.3	3 14.3	5 23.8	- -
	龍 池	40 100.0	3 7.5	15 37.5	7 17.5	8 20.0	7 17.5	- -
	教 業	20 100.0	2 10.0	7 35.0	5 25.0	3 15.0	3 15.0	- -
	立 誠	22 100.0	2 9.1	3 13.6	5 22.7	5 22.7	7 31.8	- -

### 3 子どもの昼間の様子

「お子さんは、昼間、主に誰がみておられますか」との問に対する回答は、以下の通りである。

年齢構成別にみると（表62）、「3歳未満」の場合は、「親」が91.3%と圧倒的である。「保育所（園）」は8.7%であった。「3～5歳」の場合は、「親」（77.5%）の比率が高いものの、「保育所（園）」も25.0%の比率であった。

「小学1～3年生」の場合は、やはり「親」（79.4%）の比率が高い。「学童保育」は8.8%止まりである。「子どもだけである」が8.8%の比率となっており、気に掛かる点である。「小学4～6年生」の場合は、「祖父母」の比率が40.7%と他の年齢層に比べて高い。「子どもだけである」の比率が増え、11.1%存在している。

「中学生」の場合は、「親」の比率が59.4%と相対的に低くなり、「子どもだけである」の比率が15.6%と相対的に高い。

階層別にみると（表63）、不安定雇用者層において「親」の比率が62.5%と相対的に低く、「子どもだけである」とする比率が18.8%と相対的に高くなっているといった特徴がみられる。

地域別にみると（表64）、朱一で「学童保育」（10.3%）が、教業で「保育所（園）」（20.0%）が相対的に高くなっている。保育所・学童保育はすべて堀川通りより西に施設整備がされており、その周辺地域で利用者が多くなっている。

表62 子どもの年齢別にみた昼間の様子

	合	問1へ 昼間の様子													
		親	祖 父 母	親 せ き	近 所 の 人	友 人 ・ 知 人	保 育 所 （ 園 ）	昼 間 里 親	無 認 可 保 育 所	職 場 保 育 所	産 休 ・ 育 休 中	学 童 保 育	子 ど も だ け で い る	そ の 他	無 回 答
全 体	156	119 76.3	46 29.5	-	-	-	12 7.7	-	-	-	-	4 2.6	11 7.1	5 3.2	-
子 ど も の 年 齢 区 分	3 歳 未 満	23 91.3	4 17.4	-	-	-	2 8.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	3 ～ 5 歳	40 77.5	9 22.5	-	-	-	10 25.0	-	-	-	-	1 2.5	-	-	-
	小 学 1 ～ 3 年 生	34 79.4	10 29.4	-	-	-	-	-	-	-	-	3 8.8	3 8.8	2 5.9	-
	小 学 4 ～ 6 年 生	27 77.8	11 40.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 11.1	-	-
	中 学 生	32 59.4	12 37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5 15.6	3 9.4	-

表63 階層別にみた子どもの昼間の様子

	合 計	問1へ 昼間の様子													
		親	祖 父 母	親 せ き	近 所 の 人	友 人 ・ 知 人	保 育 所 (園)	昼 間 里 親	無 認 可 保 育 所	職 場 保 育 所	産 休 ・ 育 休 中	学 童 保 育	子 ど も だ け で い る	そ の 他	無 回 答
全 体	156	119 76.3	46 29.5	-	-	-	12 7.7	-	-	-	-	4 2.6	11 7.1	5 3.2	-
階	経 営 者 層	12 66.7	8 50.0	-	-	-	2 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	ホワイトカラー層	44 75.0	33 22.7	-	-	-	3 6.8	-	-	-	-	1 2.3	5 11.4	2 4.5	-
	ブルーカラー層	24 75.0	18 25.0	-	-	-	3 12.5	-	-	-	-	1 4.2	2 8.3	1 4.2	-
層	不 安 定 雇 用 者 層	16 62.5	10 18.8	-	-	-	1 6.3	-	-	-	-	2 12.5	3 18.8	-	-
	自 営 業 者 層	51 88.2	45 31.4	-	-	-	3 5.9	-	-	-	-	-	1 2.0	2 3.9	-
	無 業 者 層	9 55.6	5 55.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表64 地域別にみた子どもの昼間の様子

	合 計	問1へ 昼間の様子													
		親	祖 父 母	親 せ き	近 所 の 人	友 人 ・ 知 人	保 育 所 (園)	昼 間 里 親	無 認 可 保 育 所	職 場 保 育 所	産 休 ・ 育 休 中	学 童 保 育	子 ど も だ け で い る	そ の 他	無 回 答
全 体	156	119 76.3	46 29.5	-	-	-	12 7.7	-	-	-	-	4 2.6	11 7.1	5 3.2	-
地 域	朱 雀 第 一	29 58.6	17 27.6	-	-	-	2 6.9	-	-	-	-	3 10.3	1 3.4	2 6.9	-
	朱 雀 第 五	24 79.2	19 29.2	-	-	-	2 8.3	-	-	-	-	-	1 4.2	-	-
	富 有	21 81.0	17 42.9	-	-	-	1 4.8	-	-	-	-	-	3 14.3	1 4.8	-
	龍 池	40 90.0	36 15.0	-	-	-	2 5.0	-	-	-	-	-	2 5.0	-	-
	教 業	20 60.0	12 35.0	-	-	-	4 20.0	-	-	-	-	1 5.0	3 15.0	-	-
	立 誠	22 81.8	18 40.9	-	-	-	1 4.5	-	-	-	-	-	1 4.5	2 9.1	-

## 4 幼稚園やおけいごととの状況

つぎに、幼稚園やおけいごととの状況についてみてみよう（表65）。

「3歳未満」の場合は、幼稚園やおけいごとには「通っていない」（95.7%）との回答がほとんどである。「3～5歳」になると、「通っている」比率が65.0%と増える。具体的な内訳としては、「幼稚園」が76.9%と大半であるが、「けいごとや習い事」「スポーツクラブ」がともに38.5%の比率となっている。「学習塾」が15.4%、「通信教育」が7.7%の比率となっている。

小学生以上は7～8割が「通っている」といった実態になっているが、内訳はつぎの通りである。「小学1～3年生」の場合は、「けいごとや習い事」が60.0%、「学習塾」が48.0%となっている。「小学4～6年生」の場合は、「スポーツクラブ」が最も高く54.5%、ついで「けいごとや習い事」が50.0%、「学習塾」が45.5%となっている。

「中学生」の場合は、「学習塾」が最も高く79.2%となっている。全中学生のうち59.4%が、「学習塾」に通っているといった実態になっている。

階層別にみると（表66）、経営者層とホワイトカラー層において「幼稚園」に通う比率が33.3%・28.6%と相対的に高くなっている。

表65 子どもの年齢別にみた幼稚園やおけいごととの状況

	合 計	問1ト 幼稚園やおけいごとの状況 (内訳 [%は内数])								
		通 っ て い な い	通 っ て い る	幼 稚 園	や け い ご と や 習 い 事	学 習 塾	ス ポ ー ツ ク ラ ブ	通 信 教 育	そ の 他	無 回 答
全 体	156 100.0	58 37.2	98 62.8	21 21.4	48 49.0	45 45.9	32 32.7	6 6.1	5 5.1	- -
子 ど も の 年 齢 区 分	3 歳 未 満	23 100.0	22 95.7	1 4.3	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	3 ～ 5 歳	40 100.0	14 35.0	26 65.0	20 76.9	10 38.5	4 15.4	10 38.5	2 7.7	- -
	小 学 1 ～ 3 年 生	34 100.0	9 26.5	25 73.5	1 4.0	15 60.0	12 48.0	8 32.0	1 4.0	2 8.0
	小 学 4 ～ 6 年 生	27 100.0	5 18.5	22 81.5	- -	11 50.0	10 45.5	12 54.5	2 9.1	1 4.5
	中 学 生	32 100.0	8 25.0	24 75.0	- -	11 45.8	19 79.2	2 8.3	1 4.2	2 8.3

表66 階層別にみた幼稚園やおけいごとの状況

上段：実数 下段：横%		合 計	問1ト 幼稚園やおけいごの状況								無 回 答
			通 っ て い な い	通 っ て い る	(内訳 [%は内数])						
					幼 稚 園	や け い ご と	学 習 塾	ス ポ ー ツ ク ラ ブ	通 信 教 育	そ の 他	
全 体		156 100.0	58 37.2	98 62.8	21 21.4	48 49.0	45 45.9	32 32.7	6 6.1	5 5.1	- -
階 層	経 営 者 層	12 100.0	3 25.0	9 75.0	3 33.3	4 44.4	4 44.4	6 66.7	1 11.1	- -	- -
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	44 100.0	16 36.4	28 63.6	8 28.6	12 42.9	14 50.0	9 32.1	2 7.1	- -	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	24 100.0	15 62.5	9 37.5	1 11.1	5 55.6	4 44.4	2 22.2	3 33.3	1 11.1	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	16 100.0	4 25.0	12 75.0	2 16.7	3 25.0	5 41.7	1 8.3	- -	2 16.7	- -
	自 営 業 者 層	51 100.0	19 37.3	32 62.7	5 15.6	19 59.4	15 46.9	11 34.4	- -	2 6.3	- -
	無 業 者 層	9 100.0	1 11.1	8 88.9	2 25.0	5 62.5	3 37.5	3 37.5	- -	- -	- -

## 5 家での過ごし方

「ふだん家にいる時、お子さんはどのように過ごしていますか」との問に対する回答は、以下の通りである（表67）。

「3歳未満」の場合は、「家の中で遊んでいることが多い」という比率が最も高く56.5%となっているが、他の年齢層と比較すると「家の外で遊んでいることが多い」（30.4%）と「異年齢の友達と一緒にいることが多い」（13.0%）が相対的に高くなっている。小中学生において外遊びや異年齢集団がなくなっていることの反映といえる。なお、「3歳未満」で「テレビをみたりゲームをしていることが多い」が26.1%占めていることは気掛かりな点といえる。

「3～5歳」の場合は、「家の中で遊んでいることが多い」が72.5%、「テレビをみたりゲームをしていることが多い」が60.0%となっており、気に掛かる点である。また、「一人であることが多い」が10.0%存在しており、子ども集団の保障が求められる。

「小学1～3年生」の場合は、「きょうだいと一緒にいることが多い」（70.6%）と「同年齢の友達と一緒にいることが多い」（58.8%）といった比率が高いが、「異年齢の友達と一緒にいることが多い」は5.9%しかなく、現代の特徴といえる。「テレビをみたりゲームをしていることが多い」は他の年齢層と比較して一番高く61.8%を占めている。「家の中で遊んでいることが多い」も58.8%と高率である。

「小学4～6年生」の場合は、小学低学年と同様に「異年齢の友達と一緒にいることが多い」は3.7%と非常に低い。「テレビをみたりゲームをしていることが多い」（51.9%）、「家の中で遊んでいることが多い」（44.4%）といった比率が高いのが目につく。

「中学生」の場合は、「異年齢の友達と一緒にいることが多い」は皆無であり、「一人であることが多い」が21.9%とかなりの比率になっている。「テレビをみたりゲームをしていることが多い」も43.8%占めている。

表67 子どもの年齢別にみた家での過ごし方

		合 計	問1 家での過ごし方									
			こ と 人 が 多 い	こ と よ が 多 い	こ と 年 齢 に 多 い	こ と 異 年 齢 に 多 い	こ と 家 の 外 で 遊 ん で い る こ と が 多 い	こ と 家 の 中 で 遊 ん で い る こ と が 多 い	こ と テ レ ビ や ゲ ー ム を し て い る こ と が 多 い	こ と 読 書 を し て い る こ と が 多 い	こ と 絵 本 を み て い る こ と が 多 い	そ の 他
全	体	156	19 12.2	78 50.0	63 40.4	10 6.4	37 23.7	82 52.6	79 50.6	45 28.8	13 8.3	- -
子 ど も の 年 齢 区 分	3 歳 未 満	23	1 4.3	7 30.4	3 13.0	3 13.0	7 30.4	13 56.5	6 26.1	5 21.7	6 26.1	- -
	3 ~ 5 歳	40	4 10.0	23 57.5	11 27.5	4 10.0	10 25.0	29 72.5	24 60.0	17 42.5	2 5.0	- -
	小 学 1 ~ 3 年 生	34	3 8.8	24 70.6	20 58.8	2 5.9	10 29.4	20 58.8	21 61.8	11 32.4	1 2.9	- -
	小 学 4 ~ 6 年 生	27	4 14.8	10 37.0	14 51.9	1 3.7	6 22.2	12 44.4	14 51.9	5 18.5	4 14.8	- -
	中 学 生	32	7 21.9	14 43.8	15 46.9	- -	4 12.5	8 25.0	14 43.8	7 21.9	- -	- -

## 6 子育て上の不安や悩み

「子育てをされていて不安や悩みはありますか」との問に対して、「ある」との回答は60.3%と半数を超えていた（表68）。年齢構成別にみると、「3歳未満」と「中学生」で「ある」の比率が65.2%・71.9%と高率となっている。具体的な内訳は、以下の通りである（図17）。

「3歳未満」の場合は、「食に関すること」が40.0%、「遊び集団が乏しい」「外出時の保育」「子どもの世話で疲れる」がともに33.3%、「子育てのアドバイスが欲しい」が20.0%と高い比率になっている。

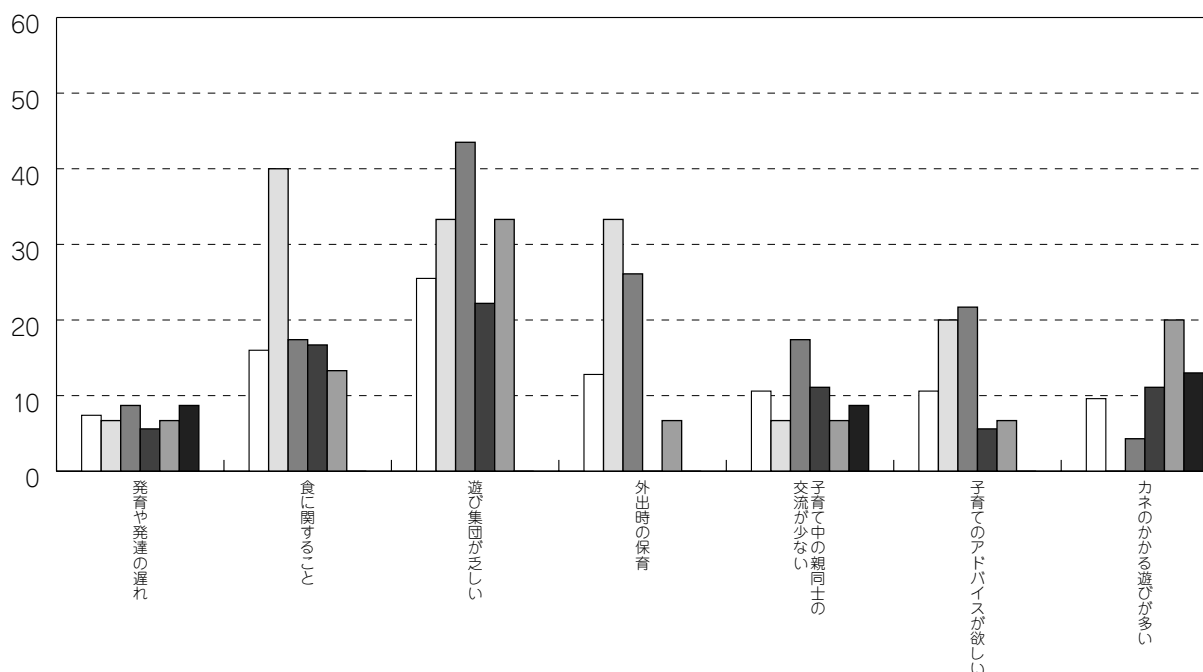
「3～5歳」の場合は、3歳未満と類似している面が多いが、「遊び集団が乏しい」が43.5%、「外出時の保育」「子どもの世話で疲れる」「子どもの通学・通園」がともに26.1%、「子育てのアドバイスが欲しい」が21.7%、「子育て中の親同士の交流が少ない」が17.4%と高い比率になっている。

「小学1～3年生」場合は、「学業成績」が44.4%、「金銭的な負担」が38.9%、「非行・いじめ」が22.2%と高い比率になっている。全体値を下回っているものの、「遊び集団が乏しい」との比率も22.2%で高いといえる。

「小学4～6年生」の場合は、「金銭的な負担」が60.0%、「学業成績」が46.7%、「遊び集団が乏しい」が33.3%、「子どもの通学・通園」が26.7%、「カネのかかる遊びが多い」が20.0%と高い比率になっている。

「中学生」の場合は、「学業成績」が56.5%、「金銭的な負担」が52.2%と高い比率に

図17 子どもの年齢構成別に見た子育て上の不安や悩み



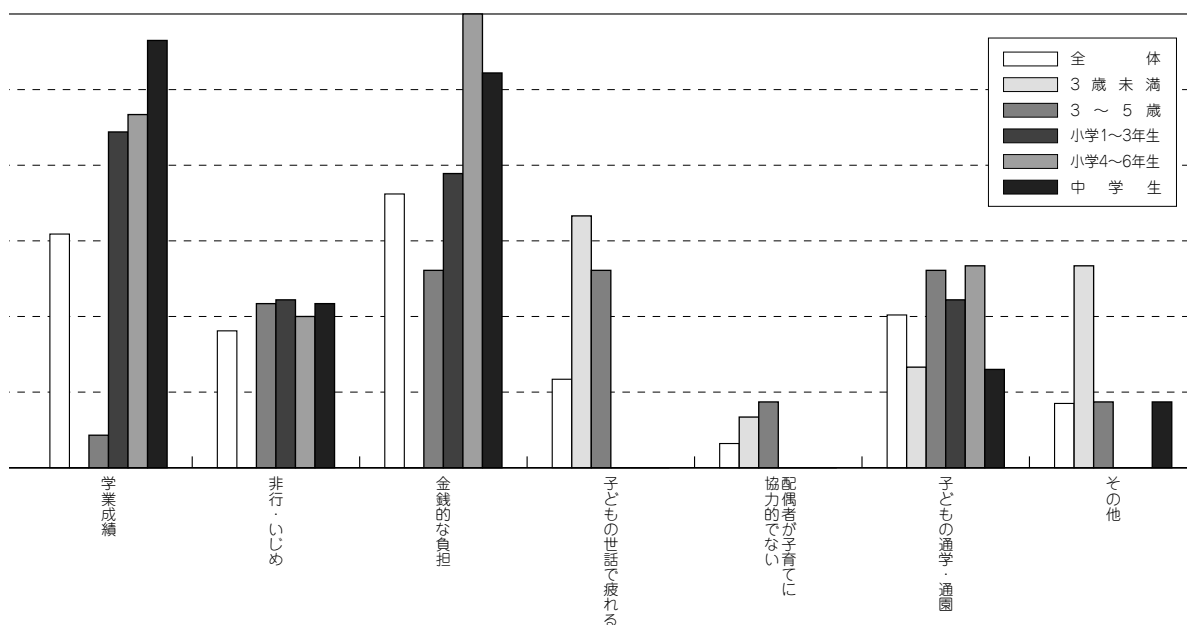


なっている。小学校の高学年と中学生で「金銭的な負担」の比率が高いが、前述したとおり「学習塾」等に通っていることが一因であろう。

階層別にみると（表69）、ホワイトカラー層とブルーカラー層において不安や悩みが「ある」とする比率が68.2%・75.0%と高くなっている。具体的な内訳は、ホワイトカラー層では「学業成績」（40.0%）や「遊び集団が乏しい」（30.0%）が、不安定雇用者層では「金銭的な負担」（50.0%）「子育てのアドバイスがほしい」（33.3%）「子育て中の親同士の交流が少ない」（25.0%）等が相対的に高くなっているのが特徴的である。

表68 子どもの年齢別みた子育て上の不安や悩み

		合 計	問1リ 子育て上の不安や悩み (内訳 [%は内数])														無 回 答		
			な い	あ る	内訳 [%は内数]														
					発 育 や 発 達 の 遅 れ	食 に 関 する こ と	遊 び 集 団 が 乏 しい	外 出 時 の 保 育	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 ない	子 育 て の ア ド バ イ ス が 欲 しい	遊 び の か か る カ ネ の 多 さ	学 業 成 績	非 行 ・ い じ め	金 銭 的 な 負 担	子 育 て に 疲 れ る こ と	配 偶 者 が 子 育 て に 協 力 的 で な い		子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 ない	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 ない
全	体	156	62	94	7	15	24	12	10	10	9	29	17	34	11	3	19	8	-
		100.0	39.7	60.3	7.4	16.0	25.5	12.8	10.6	10.6	9.6	30.9	18.1	36.2	11.7	3.2	20.2	8.5	-
子 ど も の 年 齢 区 分	3 歳 未 満	23	8	15	1	6	5	5	1	3	-	-	-	-	5	1	2	4	-
		100.0	34.8	65.2	6.7	40.0	33.3	33.3	6.7	20.0	-	-	-	-	33.3	6.7	13.3	26.7	-
	3 ~ 5 歳	40	17	23	2	4	10	6	4	5	1	1	5	6	6	2	6	2	-
		100.0	42.5	57.5	8.7	17.4	43.5	26.1	17.4	21.7	4.3	4.3	21.7	26.1	26.1	8.7	26.1	8.7	-
	小学 1 ~ 3 年生	34	16	18	1	3	4	-	2	1	2	8	4	7	-	-	4	-	-
	100.0	47.1	52.9	5.6	16.7	22.2	-	11.1	5.6	11.1	44.4	22.2	38.9	-	-	22.2	-	-	
小学 4 ~ 6 年生	27	12	15	1	2	5	1	1	1	3	7	3	9	-	-	4	-	-	
	100.0	44.4	55.6	6.7	13.3	33.3	6.7	6.7	6.7	20.0	46.7	20.0	60.0	-	-	26.7	-	-	
中 学 生	32	9	23	2	-	-	-	2	-	3	13	5	12	-	-	3	2	-	
	100.0	28.1	71.9	8.7	-	-	-	8.7	-	13.0	56.5	21.7	52.2	-	-	13.0	8.7	-	



世帯構成別にみると（表70）、「夫婦と子」世帯において、「食に関すること」（24.6%）「外出時の保育」（18.0%）「子育てのアドバイスが欲しい」（14.8%）が相対的に高い比率となっている。それに対して「三世帯」世帯では、それらの指摘はほとんど無い。家族員の少ない核家族において子育て上の不安や悩みが深刻といえる。

表69 階層別にみた子育て上の不安や悩み

	合	問1リ 子育て上の不安や悩み															無 回 答	
		計	な い	あ る	(内訳 [%は内数])													そ の 他
					発 育 や 発 達 の 遅 れ	食 に 関 す る こ と	遊 び の 場 が 乏 しい	外 出 時 の 保 育	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 な い	子 育 て の ア ド バ イ ス が 欲 し い	遊 び の 場 が 多 い	カ ネ の か か る	学 業 成 績	非 行 ・ い じ め	金 銭 的 な 負 担	子 ど も の 世 話 が 疲 れ る		
全 体	156 100.0	62 39.7	94 60.3	7 7.4	15 16.0	24 25.5	12 12.8	10 10.6	10 10.6	9 9.6	29 30.9	17 18.1	34 36.2	11 11.7	3 3.2	19 20.2	8 8.5	-
階 層	経 営 者 層	12 100.0	5 41.7	7 58.3	-	-	4 57.1	1 14.3	-	2 28.6	-	5 71.4	3 42.9	5 71.4	-	-	2 28.6	-
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	44 100.0	14 31.8	30 68.2	3 10.0	5 16.7	9 30.0	5 16.7	3 10.0	2 6.7	2 6.7	12 40.0	7 23.3	10 33.3	8 26.7	3 10.0	8 26.7	3 10.0
	ブ ル ー カ ラ ー 層	24 100.0	11 45.8	13 54.2	-	3 23.1	2 15.4	1 7.7	-	-	2 15.4	-	2 15.4	3 23.1	2 15.4	-	3 23.1	3 23.1
	不 安 定 雇 用 者 層	16 100.0	4 25.0	12 75.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3	3 25.0	4 33.3	1 8.3	3 25.0	2 16.7	6 50.0	-	-	1 8.3	2 16.7
	自 営 業 者 層	51 100.0	21 41.2	30 58.8	1 3.3	4 13.3	7 23.3	4 13.3	4 13.3	2 6.7	4 13.3	9 30.0	3 10.0	10 33.3	3 3.3	-	5 16.7	-
	無 業 者 層	9 100.0	7 77.8	2 22.2	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表70 世帯構成別にみた子育て上の不安や悩み

	合	問1リ 子育て上の不安や悩み															無 回 答	
		計	な い	あ る	(内訳 [%は内数])													そ の 他
					発 育 や 発 達 の 遅 れ	食 に 関 す る こ と	遊 び の 場 が 乏 しい	外 出 時 の 保 育	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 な い	子 育 て の ア ド バ イ ス が 欲 し い	遊 び の 場 が 多 い	カ ネ の か か 	学 業 成 績	非 行 ・ い じ め	金 銭 的 な 負 担	子 ど も の 世 話 が 疲 れ る		
全 体	156 100.0	62 39.7	94 60.3	7 7.4	15 16.0	24 25.5	12 12.8	10 10.6	10 10.6	9 9.6	29 30.9	17 18.1	34 36.2	11 11.7	3 3.2	19 20.2	8 8.5	-
世 帯 構 成	単 身	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫 婦 の み	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-
	夫 婦 と 子	95 100.0	34 35.8	61 64.2	5 8.2	15 24.6	16 26.2	11 18.0	6 9.8	9 14.8	5 8.2	19 31.1	14 23.0	22 36.1	11 18.0	3 4.9	13 21.3	5 8.2
	夫 婦 と 親	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三 世 代	57 100.0	27 47.4	30 52.6	2 6.7	-	8 26.7	1 3.3	3 10.0	-	4 13.3	10 33.3	2 6.7	12 40.0	-	-	5 16.7	1 3.3
	生 計 中 心 者 と 親	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-
そ の 他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

近所づきあいの程度別にみると（表71）、「ほとんどつきあっていない」といった世帯で不安や悩みが「ある」とする比率が71.4%と高くなっている。具体的な内訳としては、「ほとんどつきあっていない」世帯では、「子育てのアドバイスが欲しい」（40.0%）「子育て中の親同士の交流が少ない」（20.0%）といった項目の比率が高くなっている。

地域別にみると（表72）、龍池で不安や悩みが「ある」とする比率が77.5%と高いといった特徴がみられる。そして具体的な内訳としては、龍池では「子育て中の親同士の交流が少ない」「子育てのアドバイスが欲しい」といった比率がそれぞれ19.4%と相対的に高くなっている。

表71 近所づきあいの程度別にみた子育て上の不安や悩み

	合	問1リ 子育て上の不安や悩み															無 回 答	
		計	な い	あ る	(内訳 [%は内数])													
					発 育 や 発 達 の 遅 れ	食 に 関 す る こ と	遊 び 集 団 が 乏 しい	外 出 時 の 保 育	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 な い	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 な い	子 育 て の ア ド バ イ ス が 欲 し い	子 育 て の ア ド バ イ ス が 欲 し い	遊 び の か か る	カ ネ の か か る	学 業 成 績	非 行 ・ い じ め		金 銭 的 な 負 担
全 体	156 100.0	62 39.7	94 60.3	7 7.4	15 16.0	24 25.5	12 12.8	10 10.6	10 10.6	9 9.6	29 30.9	17 18.1	34 36.2	11 11.7	3 3.2	19 20.2	8 8.5	-
近所づきあ い類型	ほとんどつきあっていない	7 100.0	2 28.6	5 71.4	-	-	-	-	1 20.0	2 40.0	-	4 80.0	4 60.0	3	-	-	-	-
	あいさつをする程度	50 100.0	19 38.0	31 62.0	2 6.5	5 16.1	7 22.6	3 9.7	4 12.9	3 9.7	1 3.2	11 35.5	5 16.1	9 29.0	5 16.1	-	5 16.1	6 19.4
	荷物をあずかったり みやげをわける	30 100.0	13 43.3	17 56.7	3 17.6	3 17.6	2 11.8	2 11.8	1 5.9	3 17.6	4 23.5	3 17.6	3 17.6	8 47.1	2 11.8	-	2 11.8	1 5.9
	家に入り込んだ つきあいや助け合い	69 100.0	28 40.6	41 59.4	2 4.9	7 17.1	15 36.6	7 17.1	4 9.8	2 4.9	4 9.8	11 26.8	5 12.2	14 34.1	4 9.8	3 7.3	12 29.3	1 2.4

表72 地域別にみた子育て上の不安や悩み

	合	問1リ 子育て上の不安や悩み															無 回 答	
		計	な い	あ る	(内訳 [%は内数])													
					発 育 や 発 達 の 遅 れ	食 に 関 す る こ と	遊 び 集 団 が 乏 しい	外 出 時 の 保 育	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 な い	子 育 て 中 の 親 同 士 の 交 流 が 少 な い	子 育 て の ア ド バ イ ス が 欲 し い	子 育 て の ア ド バ イ ス が 欲 し い	遊 び の か か る	カ ネ の か か る	学 業 成 績	非 行 ・ い じ め		金 銭 的 な 負 担
全 体	156 100.0	62 39.7	94 60.3	7 7.4	15 16.0	24 25.5	12 12.8	10 10.6	10 10.6	9 9.6	29 30.9	17 18.1	34 36.2	11 11.7	3 3.2	19 20.2	8 8.5	-
地 域	朱 雀 第 一	29 100.0	15 51.7	14 48.3	1 7.1	9 64.3	3 21.4	4 28.6	-	1 7.1	2 14.3	3 21.4	5 35.7	3 21.4	2 14.3	-	3 21.4	1 7.1
	朱 雀 第 五	24 100.0	10 41.7	14 58.3	-	2 14.3	3 21.4	1 7.1	-	1 7.1	2 14.3	4 28.6	2 14.3	1 7.1	3 21.4	-	3 21.4	3 21.4
	富 有	21 100.0	9 42.9	12 57.1	1 8.3	-	2 16.7	-	-	1 8.3	-	1 8.3	-	9 75.0	-	-	-	1 8.3
	龍 池	40 100.0	9 22.5	31 77.5	3 9.7	3 9.7	11 35.5	5 16.1	6 19.4	6 19.4	1 3.2	13 41.9	8 25.8	11 35.5	3 9.7	3 9.7	6 19.4	3 9.7
	教 業	20 100.0	8 40.0	12 60.0	1 8.3	1 8.3	5 41.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	-	4 33.3	1 8.3	6 50.0	3 25.0	-	4 33.3	-
	立 誠	22 100.0	11 50.0	11 50.0	1 9.1	-	-	-	3 27.3	-	4 36.4	4 36.4	1 9.1	4 36.4	-	-	3 27.3	-

## Ⅵ 高齢者・障害者の問題

### 1 高齢者のいる世帯

今回の調査結果によると、65歳以上の高齢者の「いる」世帯は56.1%であった。高齢者の実態を把握する際、一般的には人口に基づく高齢化率でとらえることが多い。高齢化率は中京区では19.5%（1995年国勢調査）で、2割程度ということになるが、高齢者のいる世帯の比率はその数字を大幅に上回っている（1995年国勢調査だと33%）。高齢者

表73 階層別にみた高齢者のいる世帯

	合 計	問1ハ 65歳以上の高齢者			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	209 43.1	272 56.1	4 0.8	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	27 57.4	20 42.6	- -
	ホワイトカラー層	53 100.0	33 62.3	18 34.0	2 3.8
	ブルーカラー層	25 100.0	18 72.0	7 28.0	- -
	不安定雇用者層	53 100.0	34 64.2	19 35.8	- -
	自 営 業 者 層	164 100.0	74 45.1	88 53.7	2 1.2
	無 業 者 層	143 100.0	23 16.1	120 83.9	- -

表74 住まいの形態別にみた高齢者のいる世帯

	合 計	問1ハ 65歳以上の高齢者			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	209 43.1	272 56.1	4 0.8	
問 13 住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 100.0	136 39.5	205 59.6	3 0.9
	分譲のマンション	17 100.0	14 82.4	2 11.8	1 5.9
	棟続きの持ち家	22 100.0	7 31.8	15 68.2	- -
	公営・公団の賃貸住宅	- -	- -	- -	- -
	民 間 借 家	53 100.0	19 35.8	34 64.2	- -
	賃貸マンション・アパート	31 100.0	25 80.6	6 19.4	- -
	社 宅 ・ 寮	8 100.0	6 75.0	2 25.0	- -
	同 居	2 100.0	- -	2 100.0	- -
	そ の 他	8 100.0	2 25.0	6 75.0	- -

の問題は、世帯単位でとらえることが大切である。

階層別にみると（表73）、やはり無業者層において高齢者の「いる」世帯が83.9%と高くなっている。

住まいの形態別にみると（表74）、「棟続きの持ち家」（68.2%）「民間借家」（64.2%）で高齢者の「いる」世帯の比率が高くなっている。それに対して、「分譲マンション」（11.8%）「賃貸マンション・アパート」（19.4%）ではその比率は低くなっている。

地域別にみると（表75）、立誠で高齢者の「いる」世帯の比率が78.5%と高くなっているといった特徴がみられる。

高齢者のいる世帯の世帯構成についてみると（図18）、「夫婦のみ」世帯が最も高率で25.4%、「単身」世帯が22.4%、両者を併せて高齢者のみからなる世帯が47.8%と約半数である。「三世代」世帯は22.8%となっている。

図18 高齢者のいる世帯の世帯構成

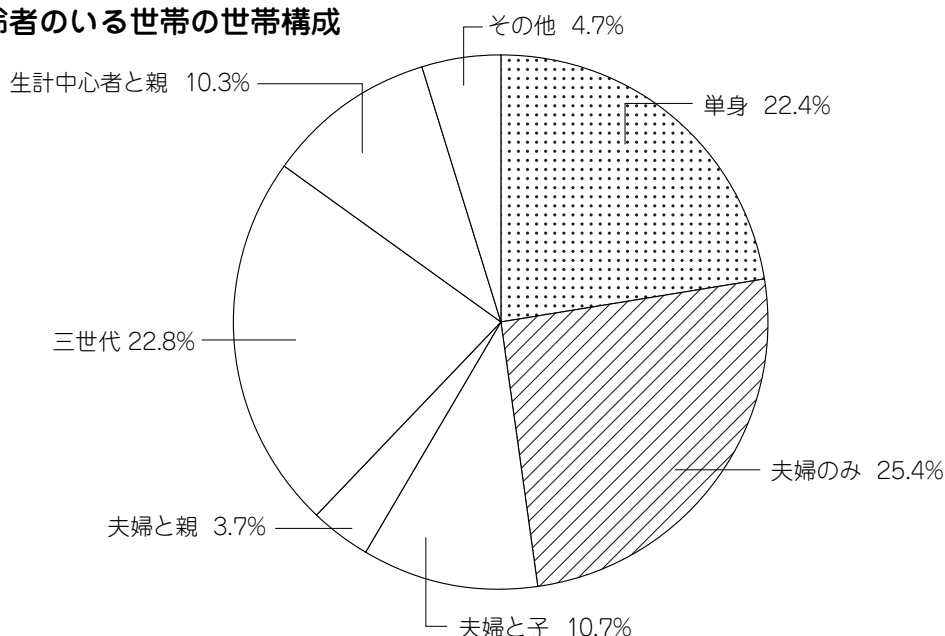


表75 地域別にみた高齢者のいる世帯

	合 計	問1ハ 65歳以上の高齢者			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	209 43.1	272 56.1	4 0.8	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	39 44.3	48 54.5	1 1.1
	朱 雀 第 五	79 100.0	41 51.9	36 45.6	2 2.5
	富 有	88 100.0	39 44.3	49 55.7	-
	龍 池	88 100.0	40 45.5	47 53.4	1 1.1
	教 業	77 100.0	36 46.8	41 53.2	-
	立 誠	65 100.0	14 21.5	51 78.5	-

高齢者のいる世帯において、くらしや医療の面での困りごとについてみると、76.5%が困りごとが「ある」と回答している（表76）。その具体的内容を比率の高いものから順に挙げると、①生計中心者の病気・事故（33.2%）、②老後のこと（31.3%）、③税金が高い（25.0%）、④医療費が高い（24.0%）、⑤家族の病気・事故（19.7%）、⑥収入が不足（19.2%）、⑦貯金ができない（18.8%）、⑧物価が高い（17.3%）、⑨住まいのこと（13.0%）、⑩自由な時間や休日が少ない（11.5%）となっている。

表76 世帯構成別にみた高齢者のいる世帯における生活問題

65歳以上の高齢者が「いる」世帯  上段：実数 下段：横%		合 計	問11 くらしや医療の面の困りごと (内訳 [%は内数])															
			ない	あ る													失業 や事業 の不振	労働 時間 が長い
					病生 気計 中心 者事 故の	家 族の 病 気・ 事 故	者 が 近 く に な る 医	医 療 費 が 高 い	入 院 費 用 が か か る	障 害 (児 者 の 介 護	病 人 や 高 齢 者 の リ ハ ビ リ	高 齢 者 ・ 障 害 者 の 訓 練	退 院 後 の 療 養	通 院 が 困 難	高 齢 者 の こ と に な る	居 間 ひ と り に な る		
全	体	272 100.0	64 23.5	208 76.5	69 33.2	41 19.7	22 10.6	50 24.0	9 4.3	16 7.7	8 3.8	2 1.0	7 3.4	14 6.7	6 2.9	18 8.7	16 7.7	
世 帯 構 成	単 身	61 100.0	14 23.0	47 77.0	14 29.8	1 2.1	5 10.6	8 17.0	1 2.1	- -	1 2.1	- -	3 6.4	4 8.5	- -	- -	- -	
	夫 婦 の み	69 100.0	15 21.7	54 78.3	21 38.9	14 25.9	7 13.0	14 25.9	3 5.6	3 5.6	2 3.7	- -	1 1.9	3 5.6	- -	4 7.4	3 5.6	
	夫 婦 と 子	29 100.0	6 20.7	23 79.3	9 39.1	3 13.0	5 21.7	5 21.7	2 8.7	1 4.3	- -	- -	- -	1 4.3	2 8.7	3 13.0	5 21.7	
	夫 婦 と 親	10 100.0	3 30.0	7 70.0	4 57.1	4 57.1	1 14.3	3 42.9	- -	2 28.6	1 14.3	1 14.3	- -	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6
	三 世 代	62 100.0	15 24.2	47 75.8	14 29.8	13 27.7	1 2.1	10 21.3	1 2.1	7 14.9	3 6.4	1 2.1	1 2.1	2 4.3	1 2.1	7 14.9	5 10.6	
	生 計 中 心 者 と 親	28 100.0	8 28.6	20 71.4	5 25.0	5 25.0	1 5.0	8 40.0	1 5.0	2 10.0	- -	- -	1 5.0	3 15.0	2 10.0	3 15.0	- -	
	そ の 他	13 100.0	3 23.1	10 76.9	2 20.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	- -	1 10.0	- -	- -	- -	1 10.0



## 2 昼間独居高齢者のいる世帯

今回の調査では、昼間一人になる高齢者（昼間独居高齢者）がいるかないかについても尋ねた。その結果、昼間独居高齢者となる世帯は28.7%存在していた（表77）。今回の調査結果によると独居高齢者世帯は12.6%存在しているが、昼間に限定した場合は、その2倍強の独居高齢者が存在していることに注目する必要がある。

地域別にみると（表78）、昼間独居高齢者のいる世帯は富有と立誠で37.5%・33.8%と高くなっているといった特徴がみられる。

表77 階層別にみた昼間独居の高齢者の有無

	合 計	問1 二 昼間独居の高齢者			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	334 68.9	139 28.7	12 2.5	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	42 89.4	4 8.5	1 2.1
	ホワイトカラー層	53 100.0	42 79.2	7 13.2	4 7.5
	ブルーカラー層	25 100.0	22 88.0	2 8.0	1 4.0
	不安定雇用者層	53 100.0	38 71.7	14 26.4	1 1.9
	自 営 業 者 層	164 100.0	127 77.4	34 20.7	3 1.8
	無 業 者 層	143 100.0	63 44.1	78 54.5	2 1.4

表78 地域別にみた昼間独居の高齢者の有無

	合 計	問1 二 昼間独居の高齢者			
		い な い	い る	無 回 答	
全 体	485 100.0	334 68.9	139 28.7	12 2.5	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	63 71.6	22 25.0	3 3.4
	朱 雀 第 五	79 100.0	58 73.4	17 21.5	4 5.1
	富 有	88 100.0	54 61.4	33 37.5	1 1.1
	龍 池	88 100.0	60 68.2	25 28.4	3 3.4
	教 業	77 100.0	57 74.0	20 26.0	- -
	立 誠	65 100.0	42 64.6	22 33.8	1 1.5



### 3 要介護者のいる世帯

「お宅には一緒にくらしているご家族の中で、高齢や寝たきり、病気・障害などのために介護を要する人がいますか」との問に対する回答として、「在宅でいる」が40世帯(8.2%)、「病院に入院している」が5世帯(1.0%)、「施設に入所している」が3世帯(0.6%)、合計して48世帯、9.9%の世帯で要介護者がいるといった実態であった(表79)。

在宅にいる要介護者の世帯数は、「三世代」世帯が35.0%と最も高率である。ついで

表79 階層別にみた要介護者の有無

	上段：実数 下段：横%	合 計	問5 要介護者の有無				
			い な い	在 宅 で い る	し 病 院 に 入 る 院	し 施 設 に 入 る 所	無 回 答
全 体	485 100.0	427 88.0	40 8.2	5 1.0	3 0.6	10 2.1	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	43 91.5	3 6.4	- -	1 2.1	- -
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	46 86.8	5 9.4	1 1.9	- -	1 1.9
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	21 84.0	3 12.0	- -	1 4.0	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	46 86.8	4 7.5	- -	- -	3 5.7
	自 営 業 者 層	164 100.0	151 92.1	10 6.1	1 0.6	1 0.6	1 0.6
	無 業 者 層	143 100.0	120 83.9	15 10.5	3 2.1	- -	5 3.5

表80 地域別にみた要介護の有無

	上段：実数 下段：横%	合 計	問5 要介護者の有無				
			い な い	在 宅 で い る	し 病 院 に 入 る 院	し 施 設 に 入 る 所	無 回 答
全 体	485 100.0	427 88.0	40 8.2	5 1.0	3 0.6	10 2.1	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	77 87.5	7 8.0	1 1.1	1 1.1	2 2.3
	朱 雀 第 五	79 100.0	73 92.4	2 2.5	1 1.3	- -	3 3.8
	富 有	88 100.0	76 86.4	6 6.8	2 2.3	1 1.1	3 3.4
	龍 池	88 100.0	80 90.9	6 6.8	- -	1 1.1	1 1.1
	教 業	77 100.0	64 83.1	12 15.6	1 1.3	- -	- -
	立 誠	65 100.0	57 87.7	7 10.8	- -	- -	1 1.5

「単身」世帯が17.5%、「夫婦のみ」「夫婦と子」「生計中心者と親」世帯がそれぞれ12.5%となっている。家族員の多い三世帯世帯でないこと、要介護者を抱えきれないことを示しているといえよう。ただ、家族機能が脆弱な単身世帯で2割弱存在していることには注視しなければならない実態であるといえる。

地域別にみると（表80）、教業で「在宅でいる」比率が15.6%と他地域に比べて高くなっているといった特徴がみられる。

#### 4 要介護者の続柄

要介護者の続柄を生計中心者からみると（表81）、「在宅でいる」場合は、「生計中心者」本人と「母親」が37.5%と最も高率で、それらについて「父親」12.5%、「子ども」7.5%、「きょうだい」5.0%となっている。

「病院に入院している」場合も（表82）、やはり「生計中心者」本人が40.0%と最も高率で、ついで「配偶者」「母親」「きょうだい」が20.0%となっている。

「施設に入所している」場合は（表83）、「父親」「きょうだい」「その他」が33.3%ずつとなっている。

表81 階層別にみた在宅の要介護者の続柄

	合 計	問5 在宅の要介護者								
		生 計 中 心 者	配 偶 者	母 親	父 親	子 ど も	き ょう だ い	そ の 他	無 回 答	
全 体	40	15 37.5	- -	15 37.5	5 12.5	3 7.5	2 5.0	1 2.5	- -	
階 層	経 営 者 層	3 33.3	1 -	2 66.7	- -	- -	- -	- -	- -	
	ホワイトカラー層	5 -	- -	2 40.0	2 40.0	1 20.0	- -	- -	- -	
	ブルーカラー層	3 -	- -	2 66.7	- -	1 33.3	1 33.3	- -	- -	
	不安定雇用者層	4 -	- -	3 75.0	- -	1 25.0	- -	- -	- -	
	自 営 業 者 層	10	1 10.0	- -	4 40.0	3 30.0	- -	1 10.0	1 10.0	- -
	無 業 者 層	15	13 86.7	- -	2 13.3	- -	- -	- -	- -	- -

表82 階層別にみた病院に入院している要介護者の続柄

	合 計	問5 病院に入院している要介護者							
		生 計 中 心 者	配 偶 者	母 親	父 親	子 ど も	き よ う だ い	そ の 他	無 回 答
全 体	5	2 40.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -	- -
階 層	経 営 者 層	-	-	-	-	-	-	-	-
	ホワイトカラー層	1	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	ブルーカラー層	-	-	-	-	-	-	-	-
	不安定雇用者層	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 営 業 者 層	1	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	無 業 者 層	3	2 66.7	-	-	-	-	1 33.3	-

表83 階層別にみた施設に入所している要介護者の続柄

	合 計	問5 施設に入所している要介護者							
		生 計 中 心 者	配 偶 者	母 親	父 親	子 ど も	き よ う だ い	そ の 他	無 回 答
全 体	3	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-
階 層	経 営 者 層	1	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	ホワイトカラー層	-	-	-	-	-	-	-	-
	ブルーカラー層	1	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	不安定雇用者層	-	-	-	-	-	-	-	-
	自 営 業 者 層	1	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	無 業 者 層	-	-	-	-	-	-	-	-

## 5 介護をしている人

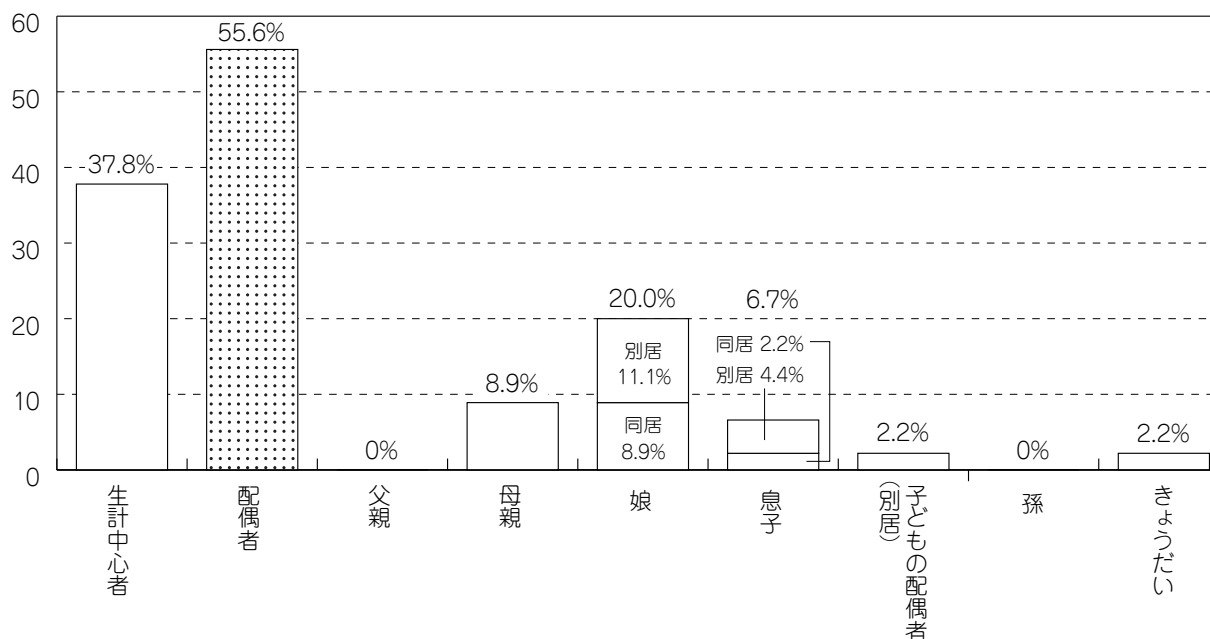
介護をしている人（在宅にいる場合と病院に入院している場合をあわせた世帯数が母数）は、図19及び表84に示した通りである。

「配偶者」が55.6%と最も高率で、ついで「生計中心者」が37.8%、「ホームヘルパー」が22.2%、「看護師」が15.6%、「別居の娘」が11.1%、「母親」が8.9%、「同居の娘」が8.9%となっている。

表84 階層別にみた介護している人

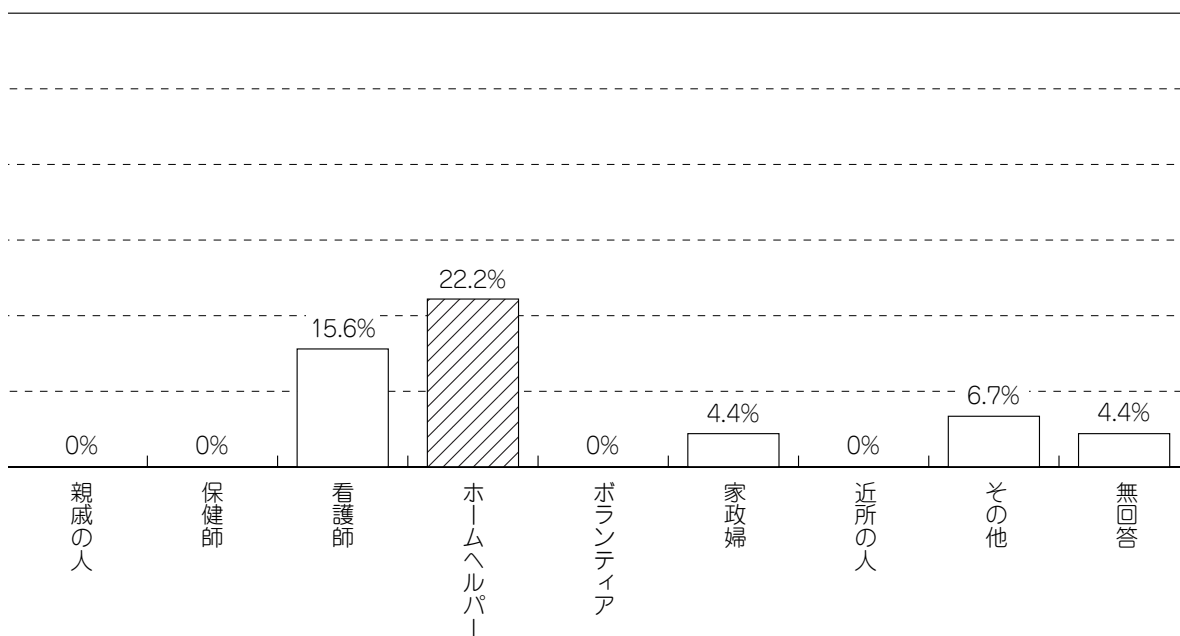
	合 計	問6イ 介護をしている人									
		生計 中心 者	配 偶 者	父 親	母 親	娘	息		子	同 居	別 居
							同 居	別 居			
全 体	45	17 37.8	25 55.6	- -	4 8.9	9 20.0	4 8.9	5 11.1	3 6.7	1 2.2	2 4.4
階 層	経 営 者 層	3 33.3	2 66.7	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	6 83.3	3 50.0	- -	1 16.7	2 33.3	2 33.3	- -	1 16.7	1 16.7	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	3 66.7	2 66.7	- -	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	4 50.0	1 25.0	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -
	自 営 業 者 層	11 36.4	9 81.8	- -	1 9.1	2 18.2	- -	2 18.2	1 9.1	- -	1 9.1
	無 業 者 層	18 16.7	8 44.4	- -	- -	2 11.1	- -	2 11.1	1 5.6	- -	1 5.6

図19 介護をしている人



生計中心者もしくは母親を配偶者（子どもの配偶者）が介護しているパターンが最も多い。ホームヘルパーの利用もかなり広がってきているとはいえ、2割強の比率では決して十分な利用率とはいえない。ホームヘルパーの利用を妨げている要因を分析していくことが求められている。

子どもの配偶者	同居		孫	きょうだい	親戚の人	保健師	看護師	ホームヘルパー	ボランティア	家政婦	近所の人	その他	無回答
	同居	別居											
1	-	1	-	1	-	-	7	10	-	2	-	3	2
2.2	-	2.2	-	2.2	-	-	15.6	22.2	-	4.4	-	6.7	4.4
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	33.3	50.0	-	-	-	-	16.7
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	27.3	18.2	-	-	-	-	-
1	-	1	-	-	-	-	2	4	-	2	-	3	1
5.6	-	5.6	-	-	-	-	11.1	22.2	-	11.1	-	16.7	5.6



世帯構成別にみると（表85）、ホームヘルパーの利用率は「単身」世帯（42.9%）、「夫婦のみ」世帯（28.6%）、「夫婦と親」世帯（50.0%）で相対的に高率になっている。家族員の少ない世帯で利用率が高いが、これらの利用率も決して十分なものになっていない。

表85 世帯構成別にみた介護している人

	上段：実数 下段：横%	合 計	問6イ 介護をしている人									
			生計 中心 者	配 偶 者	父 親	母 親	娘	息		子	息	
								同 居	別 居		同 居	別 居
全 体		45	17 37.8	25 55.6	-	4 8.9	9 20.0	4 8.9	5 11.1	3 6.7	1 2.2	2 4.4
世帯 構成	単 身	7	1 14.3	-	-	-	2 28.6	-	2 28.6	1 14.3	-	1 14.3
	夫 婦 の み	7	1 14.3	5 71.4	-	-	1 14.3	-	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3
	夫 婦 と 子	5	1 20.0	4 80.0	-	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-
	夫 婦 と 親	2	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	三 世 代	14	6 42.9	12 85.7	-	2 14.3	5 35.7	4 28.6	1 7.1	1 7.1	1 7.1	-
	生 計 中 心 者 と 親	5	5 100.0	-	-	1 20.0	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	5	3 60.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	-	-

表86 階層別にみた主に介護をしている人

	上段：実数 下段：横%	合 計	問6イ 主な介護者									
			生計 中心 者	配 偶 者	父 親	母 親	娘	息		子	息	
								同 居	別 居		同 居	別 居
全 体		45	3 6.7	18 40.0	a	3 6.7	-	-	-	1 2.2	-	-
階 層	経 営 者 層	3	-	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	6	-	-	-	1 16.7	-	-	-	-	-	-
	ブ ル ー カ ラ ー 層	3	-	2 66.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	不 安 定 雇 用 者 層	4	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-
	自 営 業 者 層	11	1 9.1	8 72.7	-	1 9.1	-	-	-	-	-	-
	無 業 者 層	18	-	5 27.8	-	-	-	-	-	1 5.6	-	-

つぎに、主な介護者は誰かという点についてみると（表86）、「配偶者」が40.0%と他を大きく引き離して高い比率になっている。

子どもの配偶者			孫	きょうだい	親戚の人	保健師	看護師	ホームヘルパー	ボランティア	家政婦	近所の人	その他	無回答
	同居	別居											
1	-	1	-	1	-	-	7	10	-	2	-	3	2
2.2	-	2.2	-	2.2	-	-	15.6	22.2	-	4.4	-	6.7	4.4
1	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-
14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	42.9	-	14.3	-	28.6	-
-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	14.3	28.6	-	-	-	-	14.3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	1	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	14.3	21.4	-	7.1	-	-	7.1
-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
-	-	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-
-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-	-	20.0	-

子どもの配偶者			孫	きょうだい	親戚の人	保健師	看護師	ホームヘルパー	ボランティア	家政婦	近所の人	その他	無回答
	同居	別居											
-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	1	-	1	13
-	-	-	-	-	-	-	6.7	8.9	-	2.2	-	2.2	28.9
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	3
-	-	-	-	-	-	-	33.3	16.7	-	-	-	-	50.0
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	9.1
-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	1	7
-	-	-	-	-	-	-	5.6	11.1	-	5.6	-	5.6	38.9

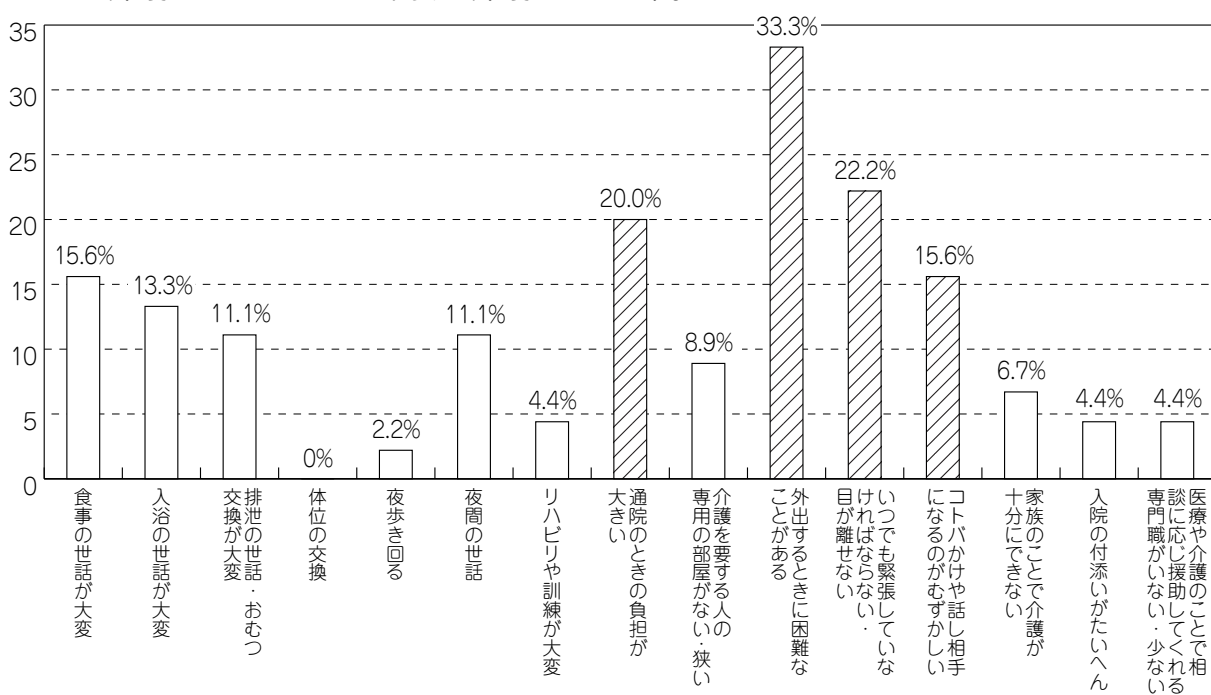
## 6 介護上の困りごと

今回の調査では、「主たる介護者が介護する上で、困っていることや不安に思っていることは何ですか」といった質問を(1)介護のことに関わって、(2)家事や地域での交流について、(3)介護者ご自身のことで、行った。

表87 階層別にみた介護上の困りごとや不安—介護のことに関わって—

	合 計	問6ロ 介護上の困りごとや不安①													
		食 事 の 世 話 が 大 変	入 浴 の 世 話 が 大 変	排 泄 の 世 話 ・ お む つ 交 換 が 大 変	体 位 の 交 換	夜 歩 き 回 る	夜 間 の 世 話	リ ハ ビ リ や 訓 練 が 大 変	負 担 院 が 大 き い	介 護 を 要 す る 人 の 狭 い	介 護 を 要 す る 人 の 困 難 な こ と が あ る	外 出 す る こ と が あ る	い つ で も 緊 張 し て い な い ・ 目 が 離 せ な い	こ ト バ か け や 話 し の 相 手 に な ら な い	医 療 や 介 護 の こ と で 相 談 に 応 じ 援 助 し て く れ る 専 門 職 が い な い ・ 少 な い
全 体	45	7 15.6	6 13.3	5 11.1	-	1 2.2	5 11.1	2 4.4	9 20.0	4 8.9	15 33.3	10 22.2	7 15.6		
階	経 営 者 層	3 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	2 66.7	-	2 66.7	2 66.7	-		
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	6 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	1 16.7	-		
	ブ ル ー カ ラ ー 層	3 33.3	1 33.3	-	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-		
	不 安 定 雇 用 者 層	4 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-	1 25.0	-	-	2 50.0	1 25.0		
層	自 営 業 者 層	11 18.2	2 18.2	1 9.1	3 27.3	-	-	3 27.3	4 36.4	3 27.3	5 45.5	4 36.4	2 18.2		
	無 業 者 層	18 5.6	1 5.6	2 11.1	1 5.6	-	-	-	1 5.6	1 5.6	5 27.8	1 5.6	4 22.2		

図20 介護上の困りごとや不安—介護のことに関わって—

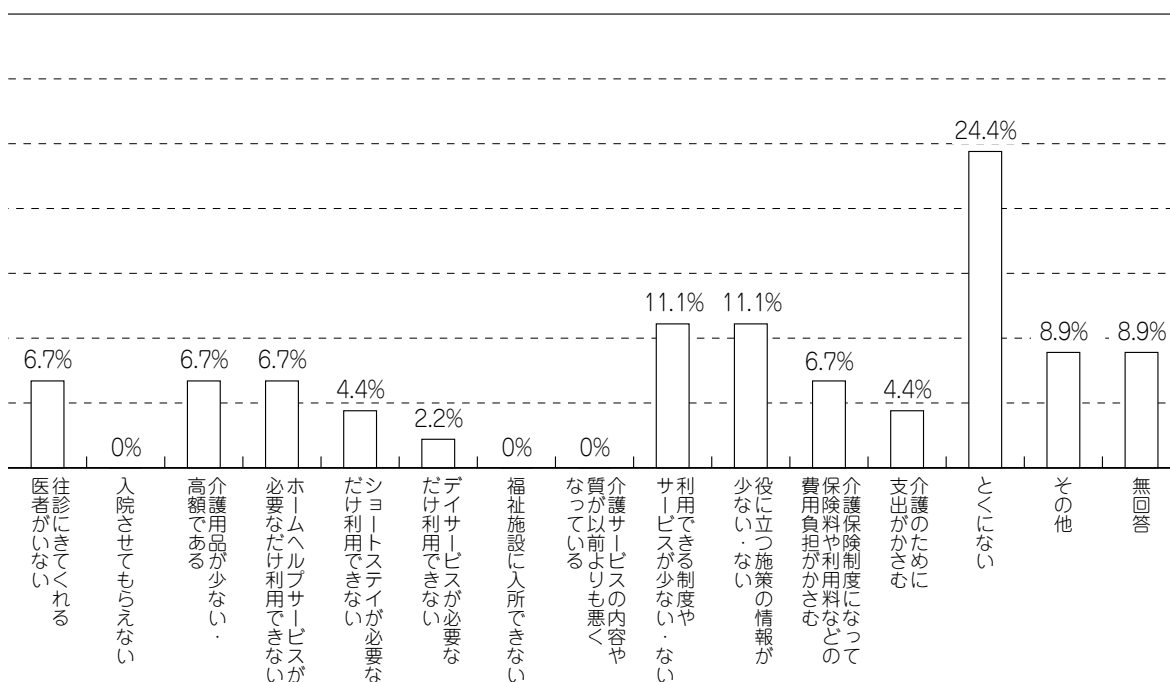




### (1)介護のことに関わって

介護のことに関わっての困りごとの主なものを比率の高いものから順に挙げると、以下の通りである（図20及び表87）。①外出するときに困難なことがある（33.3%）、②いつでも緊張していなければならない・目が離せな（22.2%）、③通院のときの負担が大きい（20.0%）、④食事の世話が大変（15.6%）、④コトバかけや話し相手になるのがむずかしい（15.6%）、⑥入浴の世話が大変（13.3%）、⑦排泄の世話・おむつ交換が大変（11.1%）、⑦夜間の世話（11.1%）、⑦利用できる制度やサービスが少ない・ない（11.1%）、⑦役に立つ施策の情報が少ない・ない（11.1%）。

家族のことで介護が十分にできない	入院の付添いがたいへん	医療や介護のことで相談にのり支援がいない・少ない	往診にきてくれる医者がいない	入院させてもらえない	介護用品が少なく・高額である	利用できないだけ	ホームヘルプサービスが必要ない	ショートステイが利用できるだけ	往診にきてくれる医者がいない	入院させてもらえない	介護用品が少なく・高額である	利用できる制度やサービスが少ない・ない	役に立つ施策の情報が少ない・ない	介護保険制度になって保険料や利用料などの費用負担がかさむ	介護のために支出がかさむ	とくにない	その他	無回答
3 6.7	2 4.4	2 4.4	3 6.7	-	3 6.7	3 6.7	2 4.4	1 2.2	-	-	-	5 11.1	5 11.1	3 6.7	2 4.4	11 24.4	4 8.9	4 8.9
1 33.3	-	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	-	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-
-	-	1 9.1	2 18.2	-	2 18.2	-	-	-	-	-	-	1 9.1	1 9.1	-	1 9.1	3 27.3	2 18.2	-
2 11.1	2 11.1	-	1 5.6	-	-	1 5.6	1 5.6	-	-	-	-	1 5.6	-	-	-	4 22.2	-	3 16.7



食事・入浴・排泄の世話が三大介護といわれたりするが、それらも上位に位置しているが、それ以上に外出や通院のこと、目が離せない、話し相手等の困難さが指摘されている。介護保険給付のメニューにない、外出支援や話し相手の要求がかなり強く出されているといえよう。また、これらの介護はボランティア活動としてもある程度は対応できる面があり、ボランティア活動の対象として検討していくことも必要といえよう。

## (2)家事や地域での交流について

家事や地域での交流についての困りごとの主なものを比率の高いものから順に挙げると、以下の通りである（図21及び表88）。①家事や家族の世話がおろそかになる（13.3%）、②家庭内での対話が乏しい（8.9%）、②家族がくつろぐ時間がない（8.9%）、②親戚や近所との関係で気をつかう（8.9%）、⑤買い物に行けない（6.7%）、⑤家族の協力が少ない（6.7%）、⑤グチャや悩みを聞いてくれる人がいない（6.7%）、⑤集会や地域活動に参加できない（6.7%）。

表88 階層別にみた介護上の困りごとや不安—家事や地域での交流について—

	合 計	問6 □ 家事や地域での交流について										
		い 買 け い な 物 い に	が お ろ そ か に な る 家 事 や 家 族 の 世 話	少 家 族 の 協 力 が い な い	対 話 が 乏 しい 家 庭 内 で の	時 間 が く つ ろ ぐ な い 家 族 が く つ ろ ぐ な い	グ チャ や 悩 み を 聞 い て く れ る 人 が い な い	関 係 で 気 を つ か う 親 戚 や 近 所 と の	に 集 会 や 地 域 活 動 に 参 加 で き な い	と く に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	45	3 6.7	6 13.3	3 6.7	4 8.9	4 8.9	3 6.7	4 8.9	3 6.7	22 48.9	3 6.7	6 13.3
階	経 営 者 層	3 -	1 33.3	1 33.3	- -	1 33.3	- -	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -
	ホワイトカラー層	6 -	2 33.3	- -	1 16.7	- -	1 16.7	1 16.7	- -	3 50.0	- -	1 16.7
	ブルーカラー層	3 -	- -	- -	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	2 66.7	- -	- -
	不安定雇用者層	4 -	1 25.0	- -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	3 75.0	- -	- -
層	自 営 業 者 層	11 9.1	2 18.2	2 18.2	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	- -	6 54.5	- -	- -
	無 業 者 層	18 11.1	- -	- -	1 5.6	- -	- -	1 5.6	2 11.1	8 44.4	2 11.1	5 27.8

### (3)介護者自身のこと

介護者自身のことでの困りごとの主なものを比率の高いものから順に挙げると、以下の通りである（図22及び表89）。①体力がなくなった（31.1%）、②自分の健康のことが気になっている（28.9%）、③首すじや肩がこる（26.7%）、③いつまで体がもつか気になっている（26.7%）、③介護者が病気になったり倒れたときのことが気がかり（26.7%）、⑥背中や腰が痛い・だるい（24.4%）、⑥イライラしやすい（24.4%）。

図21 介護上の困りごとや不安—家事や地域での交流について—

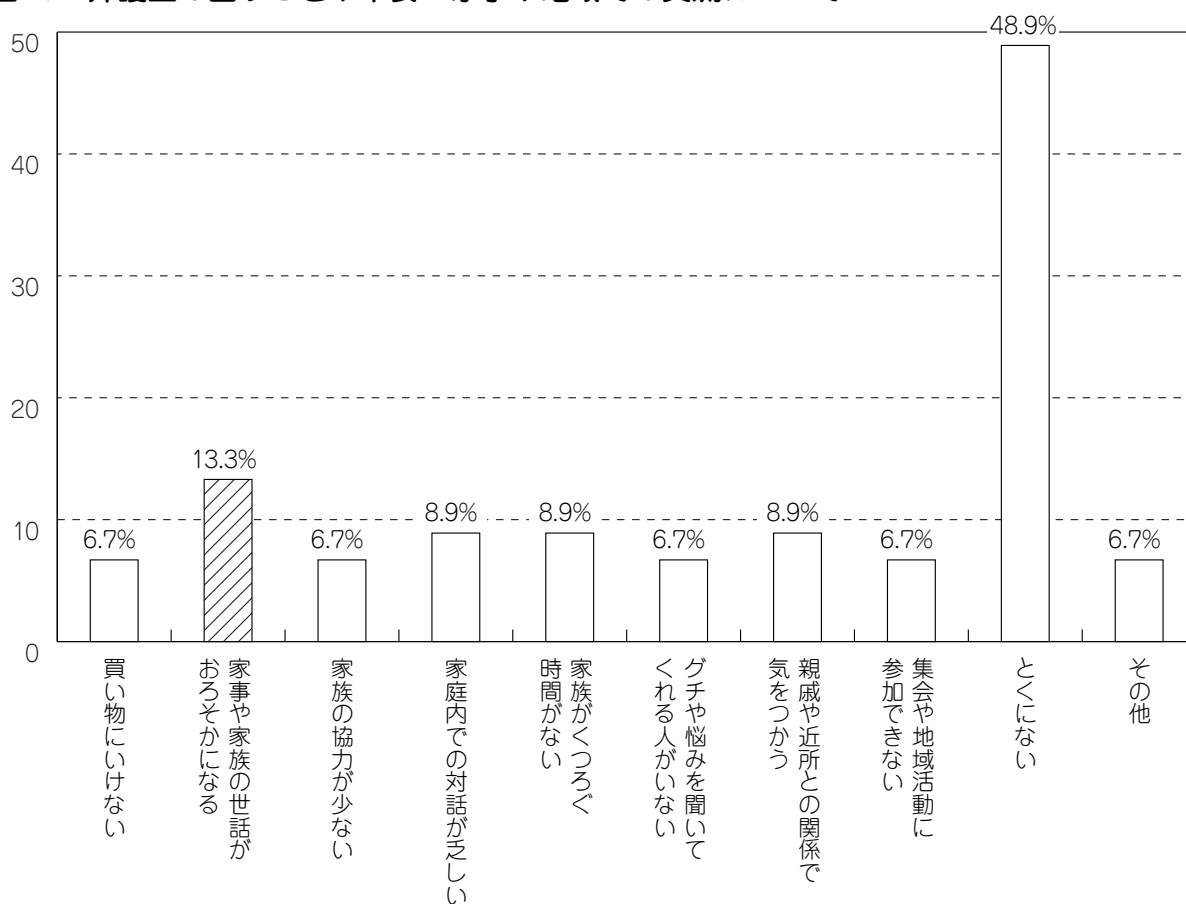
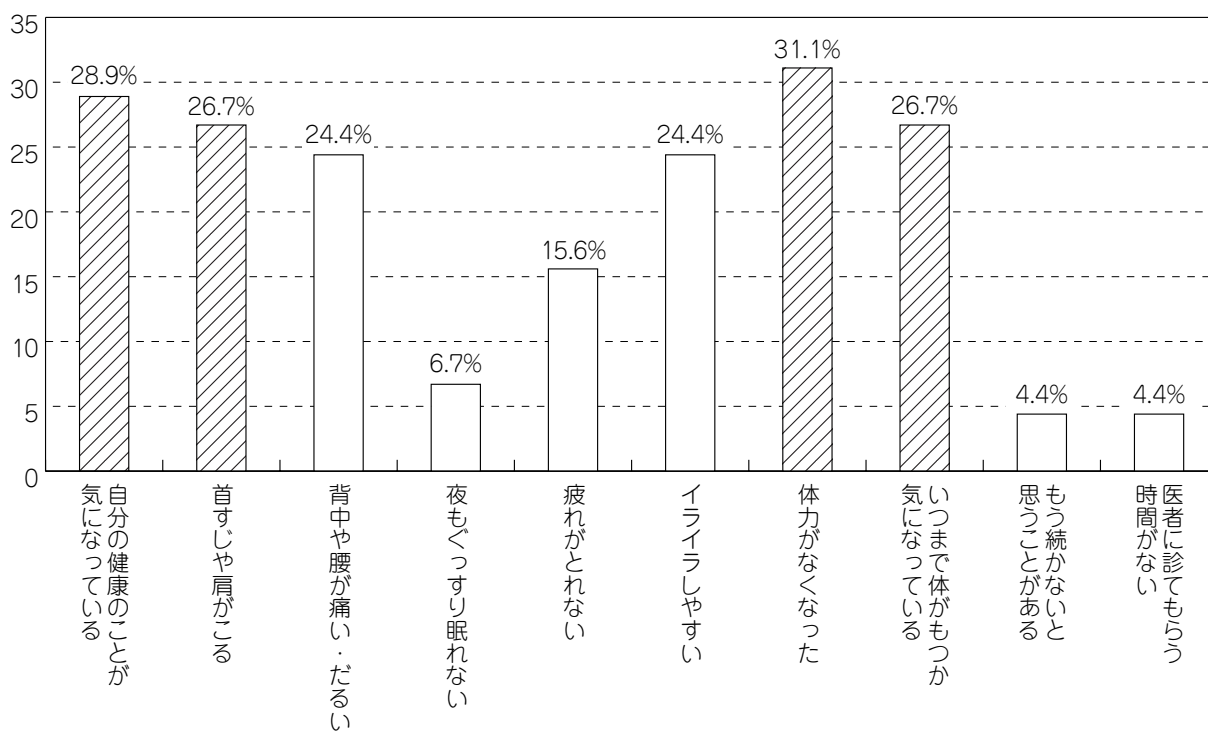


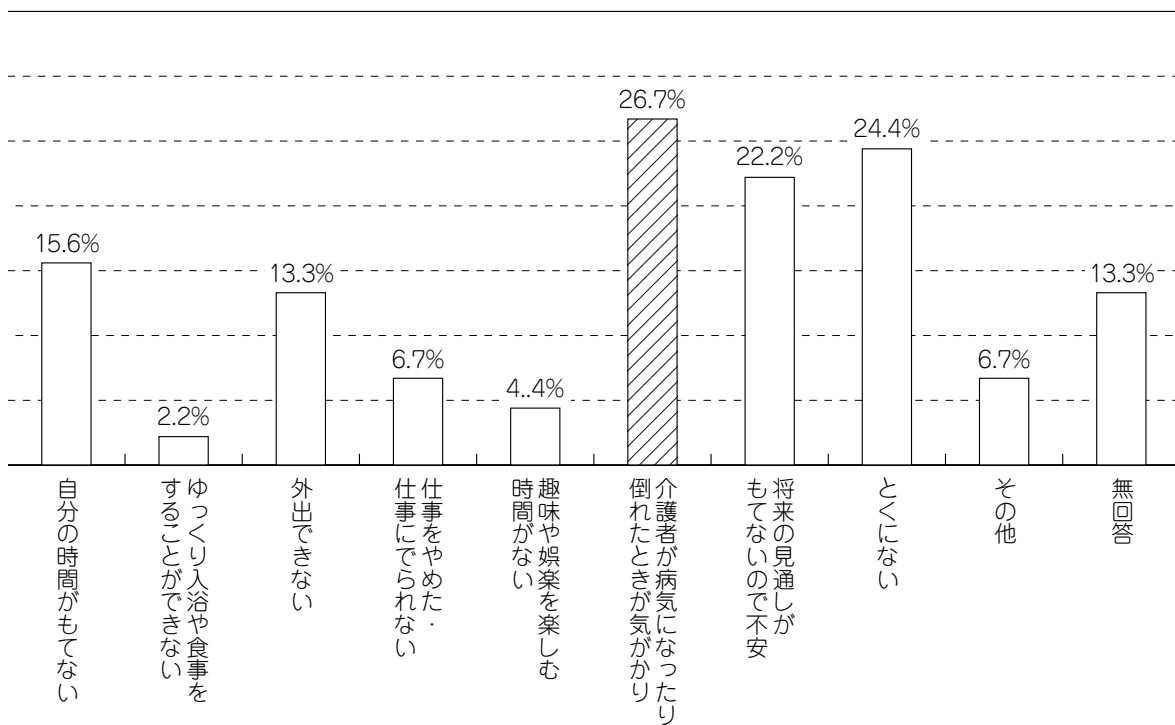
表89 階層別にみた介護上の困りごとや不安－介護者自身のこと－

	合 計	問6□ 介護者自身のこと								
		自分の健康のことが 気になっている	首すじや肩がこる	背 中 や 腰 が 痛 い ・ だ る い	眠 夜 も ぐ っ す り 眠 れ な い	疲 れ が と れ な い	イ ラ イ ラ し や す い	体 力 が な く な っ た	か い つ ま で 体 が も つ か な い	か い つ ま で 体 が も つ か な い
全 体	45	13 28.9	12 26.7	11 24.4	3 6.7	7 15.6	11 24.4	14 31.1	12 26.7	
階 層	経 営 者 層	3 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	
	ホ ウ イ ト カ ラ ー 層	6 50.0	3 33.3	2 33.3	3 50.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	2 33.3	
	ブ ル ー カ ラ ー 層	3 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	1 33.3	2 66.7	
	不 安 定 雇 用 者 層	4 -	- -	- -	1 25.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	
	自 営 業 者 層	11 45.5	5 45.5	5 45.5	4 36.4	1 9.1	4 36.4	4 36.4	5 45.5	
	無 業 者 層	18 11.1	2 11.1	3 16.7	2 11.1	- -	- -	2 11.1	3 16.7	
									4 22.2	

図22 介護上の困りごとや不安－介護者自身のこと－



もう続かないと思 うことがある	医者に診て もらう時間がない	自分の時間 がもてない	ゆっくり入浴や 食事をすることが できない	外出できない	仕事をやめた・ 仕事にでられない	趣味や娯楽を 楽しむ時間がない	介護者が病気に なったり倒れた ときが気がかり	将来の見通しが もてないので不安	とくにない	その他	無 回 答
2 4.4	2 4.4	7 15.6	1 2.2	6 13.3	3 6.7	2 4.4	12 26.7	10 22.2	11 24.4	3 6.7	6 13.3
-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-	-	-
1 16.7	-	2 33.3	-	2 33.3	1 16.7	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7
-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-
-	-	2 50.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0	-	2 50.0	-	-
1 9.1	1 9.1	2 18.2	-	1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2	2 18.2	3 27.3	2 18.2	-
-	-	-	-	1 5.6	1 5.6	-	5 27.8	5 27.8	5 27.8	-	5 27.8



## Ⅷ ボランティア活動の状況

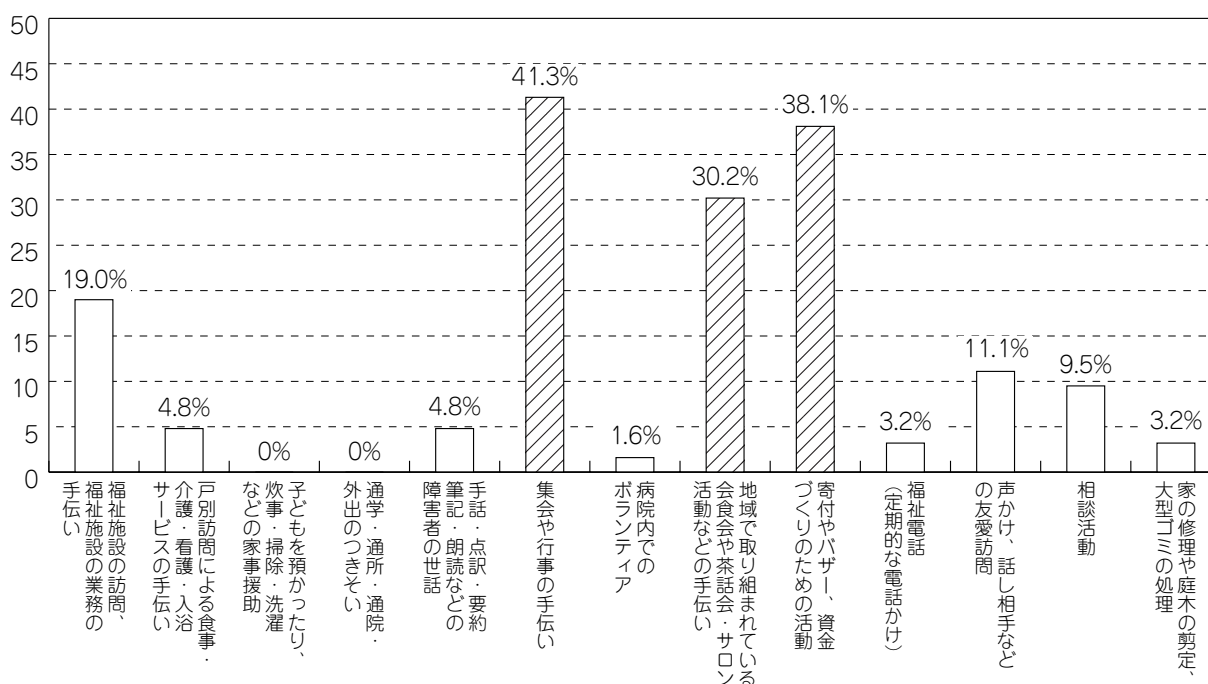
### 1 ボランティア活動の内容

今回の調査結果によると、全世帯の13.0%でボランティア活動をしているとの回答で

表90 階層別にみたボランティア活動の内容

	合 計	問18 イ 参加しているボランティア活動													
		福祉施設の業務の手伝い	福祉施設の訪問、福祉サービスの手伝い	戸別訪問による食事・介護・看護・入浴	炊事・掃除・洗濯などの家事援助	子どもを預かったり、炊事・掃除・洗濯などの家事援助	外出のつきそい	通学・通所・通院・外出のつきそい	朗読などの障害者の世話	手話・点訳・要約筆記・朗読などの障害者の世話	集会や行事の手伝い	病院内でのボランティア	地域で取り組まれている会食や茶話会・サロン活動などの手伝い	寄付やバザー、資金づくりのための活動	福祉電話（定期的な電話かけ）
全 体	63	12 19.0	3 4.8	-	-	-	-	3 4.8	26 41.3	1 1.6	19 30.2	24 38.1	2 3.2	7 11.1	
階 層	経 営 者 層	8	-	-	-	-	-	-	3 37.5	-	2 25.0	5 62.5	-	1 12.5	
	ホワイトカラー層	8	2 25.0	1 12.5	-	-	-	-	2 25.0	-	-	1 12.5	-	-	
	ブルーカラー層	2	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	2 100.0	-	1 50.0	
	不安定雇用者層	7	1 14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3
	自 営 業 者 層	24	4 16.7	1 4.2	-	-	-	2 8.3	12 50.0	1 4.2	7 29.2	8 33.3	-	1 4.2	
	無 業 者 層	14	4 28.6	1 7.1	-	-	-	1 7.1	8 57.1	-	9 64.3	7 50.0	2 14.3	3 21.4	

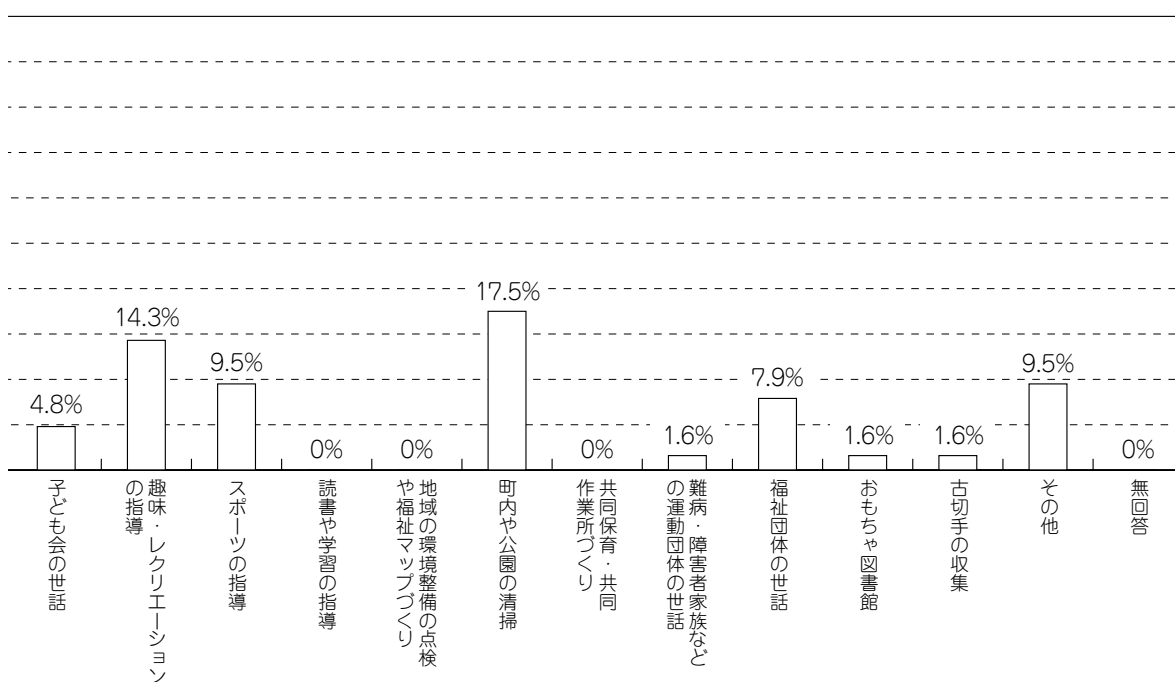
図23 ボランティア活動の内容



あったが、具体的にはどのような活動をしているかについてみてみよう。比率の高いものから順に挙げると以下の通りである（図23及び表90）。

- ①集会や行事の手伝い .....41.3%
- ②寄付やバザー・資金づくりのための活動 .....38.1%
- ③地域で取り組まれている会食会や茶話会・サロン活動などの手伝い .....30.2%

相談活動	家の修理や庭木の剪定、大型ゴミの処理	子ども会の世話	趣味・レクリエーションの指導	スポーツの指導	読書や学習の指導	地域の環境整備の点検や福祉マップづくり	町内や公園の清掃	共同保育・共同作業所づくり	難病・障害者家族などの運動団体の世話	福祉団体の世話	おもちゃ図書館	古切手の収集	その他	無回答
6 9.5	2 3.2	3 4.8	9 14.3	6 9.5	- -	- -	11 17.5	- -	1 1.6	5 7.9	1 1.6	1 1.6	6 9.5	- -
- -	- -	1 12.5	1 12.5	3 37.5	- -	- -	1 12.5	- -	- -	2 25.0	1 12.5	- -	- -	- -
2 25.0	1 12.5	- -	1 12.5	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	- -
- -	- -	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
- -	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -	2 28.6	- -
- -	1 4.2	- -	4 16.7	- -	- -	- -	5 20.8	- -	- -	1 4.2	- -	- -	3 12.5	- -
4 28.6	- -	1 7.1	2 14.3	- -	- -	- -	4 28.6	- -	- -	1 7.1	- -	1 7.1	- -	- -



- ④福祉施設の訪問、福祉施設の業務の手伝い …………… 19.0%
- ⑤町内や公園の清掃 …………… 17.5%
- ⑥趣味・レクリエーションの指導 …………… 14.3%
- ⑦相談活動 …………… 9.5%
- ⑧スポーツの指導 …………… 9.5%

近年の傾向であるが、身近な地域でのボランティア活動が広がってきている。

地域別にみると（表91）、ボランティア活動への参加率が最も高い立誠では、「集会や行事の手伝い」（57.1%）、「寄付やバザー・資金づくりのための活動」（57.1%）、「町内や公園の清掃」（50.0%）が高率である。朱一では、「福祉施設の訪問、福祉施設の業務の手伝い」（50.0%）、「地域で取り組まれている会食会や茶話会・サロン活動などの手伝い」（50.0%）が高率になっている。このように地域によって活動内容が異なる。

## 2 ボランティア活動に参加している人

ボランティア活動に参加している人についてみると（表92）、「生計中心者」（61.9%）と「配偶者」（52.4%）の比率が高くなっている。それらから大きく離れて、「親」（9.5%）、「息子・娘」（7.9%）となっている。

階層別にみると、経営者層と自営業層では「生計中心者」が75.0%、70.8%と高率となっている。ホワイトカラー層では「親」が50.0%と相対的に高い。それらに対して、

表91 地域別にみたボランティア活動の内容

	合 計	問18イ 参加しているボランティア活動																							
		福祉施設の業務の手伝い	福祉施設の訪問、福祉施設の業務の手伝い	個別訪問による入浴	戸別訪問による入浴	家事の掃除・洗濯	炊事・掃除・洗濯	子どもを預かったり、外でのつきそい	通学・通所・通院・外出のつきそい	朗読などの障害者の世話	手話・点訳・要約筆記・朗読などの障害者の世話	集会や行事の手伝い	病院内でのボランティア	ボランティア	地域で取り組まれている会食会や茶話会・サロン活動などの手伝い	寄付やバザー、資金づくりのための活動	（定期的な電話かけ）	福祉施設への電話	声かけ、話し相手などの友愛訪問						
全 体	63	12	3	-	-	-	-	3	26	1	19	24	2	7	19.0	4.8	-	-	4.8	41.3	1.6	30.2	38.1	3.2	11.1
地 域	朱 雀 第 一	8	4	1	-	-	-	-	3	-	4	4	1	1	50.0	12.5	-	-	-	37.5	-	50.0	50.0	12.5	12.5
	朱 雀 第 五	4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-
	富 有	18	1	-	-	-	-	1	8	-	6	6	-	2	5.6	-	-	-	5.6	44.4	-	33.3	33.3	-	11.1
	龍 池	8	2	1	-	-	-	1	3	-	3	3	1	2	25.0	12.5	-	-	12.5	37.5	-	37.5	37.5	12.5	25.0
	教 業	11	1	-	-	-	-	1	4	-	2	2	-	1	9.1	-	-	-	9.1	36.4	-	18.2	18.2	-	9.1
	立 誠	14	3	1	-	-	-	-	8	1	3	8	-	1	21.4	7.1	-	-	-	57.1	7.1	21.4	57.1	-	7.1



ホワイトカラー層・ブルーカラー層・不安定雇用者層といった雇用労働者層の生計中心者の比率は相対的に低くなっている。

表92 階層別にみたボランティア活動に参加している人

	上段：実数 下段：横%	合 計	問18口 参加している人						無 回 答
			生 計 中 心 者	配 偶 者	親	息 子 ・ 娘	祖 父 ・ 祖 母	そ の 他	
全 体		63	39 61.9	33 52.4	6 9.5	5 7.9	1 1.6	-	-
階 層	経 営 者 層	8	6 75.0	5 62.5	-	1 12.5	-	-	-
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	8	4 50.0	3 37.5	4 50.0	-	-	-	-
	ブ ル ー カ ラ ー 層	2	1 50.0	2 100.0	-	-	-	-	-
	不 安 定 雇 用 者 層	7	4 57.1	5 71.4	-	1 14.3	-	-	-
	自 営 業 者 層	24	17 70.8	12 50.0	1 4.2	2 8.3	1 4.2	-	-
	無 業 者 層	14	7 50.0	6 42.9	1 7.1	1 7.1	-	-	-

相 談 活 動	家 の 修 理 や 庭 木 の 剪 定 大 型 ご み の 処 理	子 ど も 会 の 世 話	シ ョ ン の 指 導	趣 味 ・ レ ク リ エ ー の 指 導	ス ポ ー ツ の 指 導	読 書 や 学 習 の 指 導	地 域 の 環 境 整 備 の 点 検 や 福 祉 マ ッ プ づ く り	町 内 や 公 園 の 清 掃	作 業 所 づ く り 共 同	難 病 障 害 者 家 族 な ど の 運 動 団 体 の 世 話	福 祉 団 体 の 世 話	お も ち ゃ 図 書 館	古 切 手 の 収 集	そ の 他	無 回 答
6 9.5	2 3.2	3 4.8	9 14.3	6 9.5	-	-	11 17.5	-	1 1.6	5 7.9	1 1.6	1 1.6	6 9.5	-	
1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	2 25.0	-	-	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 50.0	
1 5.6	-	-	3 16.7	1 5.6	-	-	1 5.6	-	-	1 5.6	1 5.6	-	3 16.7	-	
1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	-	-	1 12.5	-	-	-	-	-	-	-	
-	1 9.1	-	4 36.4	2 18.2	-	-	1 9.1	-	-	2 18.2	-	-	-	-	
3 21.4	-	-	-	1 7.1	-	-	7 50.0	-	-	1 7.1	-	1 7.1	1 7.1	-	

### 3 ボランティア活動に参加してよかったこと

「ボランティア活動に参加してよかったと思うことは何ですか」との問に対する回答は、以下の通りである（図24及び表93）。

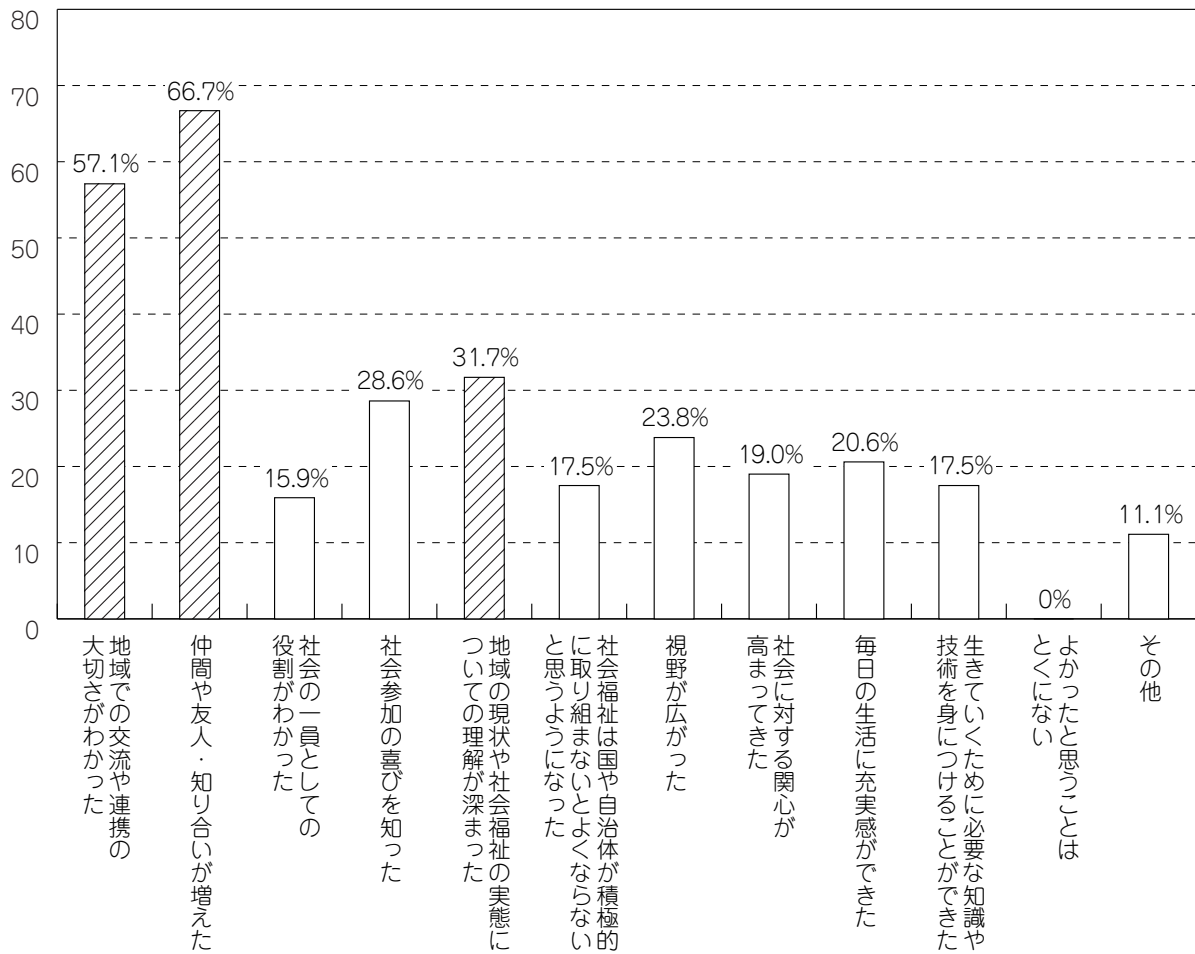
- ①仲間や友人・知り合いが増えた ……………66.7%
- ②地域での交流や連帯の大切さがわかった ……………57.1%
- ③地域の現状や社会福祉の実態についての理解が深まった ……………31.7%
- ④社会参加の喜びを知った ……………28.6%
- ⑤視野が広がった ……………23.8%
- ⑥毎日の生活に充実感ができた ……………20.6%
- ⑦社会に対する関心が高まってきた ……………19.0%
- ⑧社会福祉は国や自治体が積極的に取り組まないとよくな  
らないと思うようになった ……………17.5%
- ⑧生きていくために必要な知識や技術を身につけることができた ……………17.5%

これらの回答の中に、ボランティア活動の意義と役割を見いだすことができる。ボランティア活動を通して人と人とのつながりが形成されると同時にそのことの大切さを感じ取ったり、社会福祉をはじめとした社会に対する視野が広がっている。また、個人的な充実感もずいぶん得ることができている。このようなボランティア活動の進展は、誰もが安心して暮らしていけるまちづくりを進めていく上で重要な役割を果たしているといえる。

表93 階層別にみたボランティア活動に参加してよかったこと

	合 計	問18口 参加してよかったこと					
		さや地 が連域 わ携で かのの っ大交 た切流	が知仲 増りや え合友 たい・	わし社 かて会 のの っ役一 たがと	喜社 び会 を参 知加 ったの	理態社地 解に会域 がにつ福の 深いい社現 まったの状 たのや	
全 体	63	36 57.1	42 66.7	10 15.9	18 28.6	20 31.7	
階 層	経 営 者 層	8 100.0	5 62.5	2 25.0	3 37.5	4 50.0	
	ホワイトカラー層	8 37.5	3 37.5	6 75.0	1 12.5	- -	
	ブルーカラー層	2 50.0	1 50.0	2 100.0	- -	1 50.0	
	不安定雇用者層	7 42.9	3 42.9	5 71.4	- -	1 14.3	2 28.6
	自 営 業 者 層	24 54.2	13 54.2	15 62.5	6 25.0	10 41.7	9 37.5
	無 業 者 層	14 57.1	8 57.1	9 64.3	2 14.3	3 21.4	4 28.6

図24 ボランティア活動に参加してよかったこと



社会福祉は国や自治体が積極的に取り組まないとよくなるらないと思うようになった	視野が広がった	社会に対する関心が高まった	毎日の生活に充実感ができた	生きていくために必要な知識や技術を身につけることができた	よかったとは思いません	その他	無回答
11	15	12	13	11	-	7	1
17.5	23.8	19.0	20.6	17.5	-	11.1	1.6
2	2	1	2	-	-	-	-
25.0	25.0	12.5	25.0	-	-	-	-
-	-	-	2	-	-	3	1
-	-	-	25.0	-	-	37.5	12.5
1	-	-	1	-	-	-	-
50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
1	2	1	2	1	-	2	-
14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	-	28.6	-
3	4	5	4	5	-	-	-
12.5	16.7	20.8	16.7	20.8	-	-	-
4	7	5	2	5	-	2	-
28.6	50.0	35.7	14.3	35.7	-	14.3	-

## 4 ボランティア活動の中で日頃感じていること

「ボランティア活動のなかで日頃感じていることや困っていること、悩んでいることは何ですか」との問に対する回答は、以下の通りである(図25及び表94)。

- ①若い人の参加が少ない ……………46.0%
- ②実際に活動している人が少ない ……………31.7%
- ③ボランティアの取り組みだけではどうすることもできない問題が多い ……………15.9%
- ④ボランティアを必要としている人や家族の理解を得ることがむずかしい ……………14.3%
- ④ボランティアグループの世話をしてくれる人やリーダーが不足 ……………14.3%
- ⑥活動に参加した人が長続きしない ……………12.7%
- ⑦活動しているグループ内の人間関係がむずかしい ……………11.1%
- ⑦いつまで身体がもつか健康のことが心配 ……………11.1%

図25 ボランティア活動の中で日頃感じていること

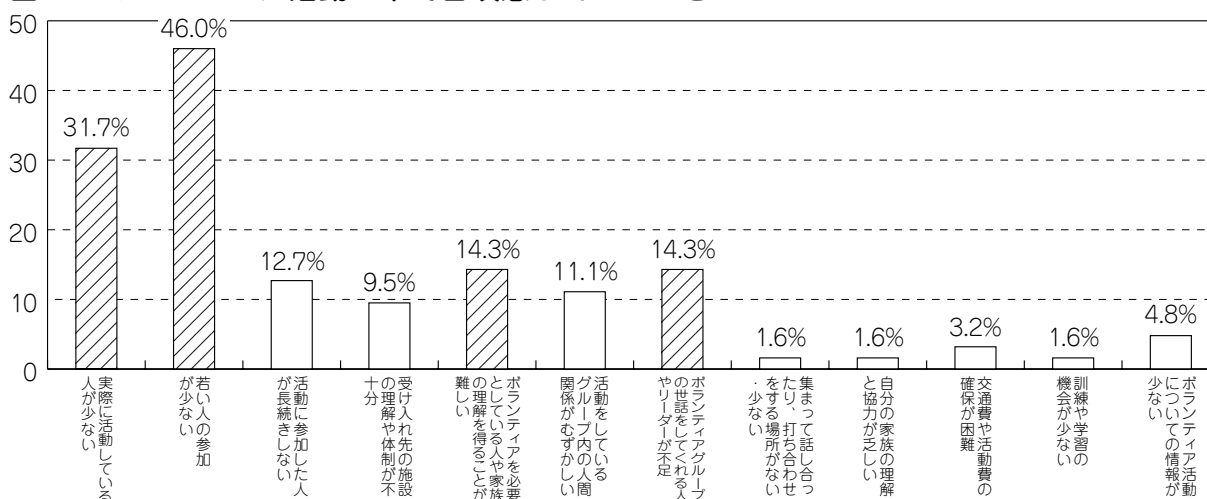
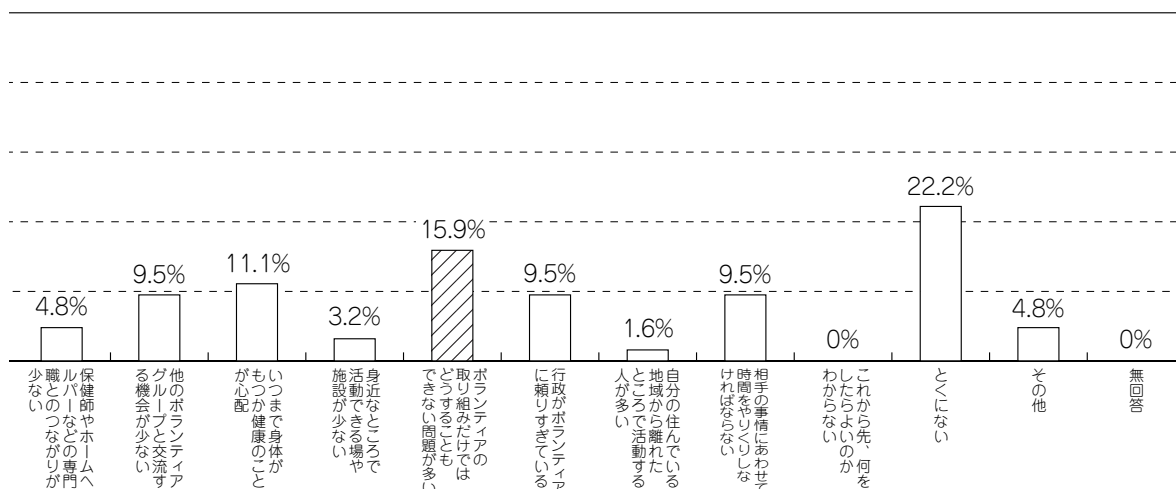


表94 階層別にみたボランティア活動の中で日頃感じていること

	合 計	問18ニ 活動で感じていること											
		実際に活動している人が少ない	若い人の参加が少ない	活動に参加した人が長続きしない	施設が不十分	受け入れ先の理解や	ボランティアを必要としている人や家族の理解を得ることが難しい	ボランティアグループ内の人間関係がむずかしい	活動をしている人やリーダーが不足	ボランティアグループの世話をしてくれる人やリーダーが不足	交通費や活動費の確保が困難	訓練や学習の機会が少ない	自分の家族の理解と協力が乏しい
全 体	63	20 31.7	29 46.0	8 12.7	6 9.5	9 14.3	7 11.1	9 14.3	1 1.6	1 1.6			
階 層	営 業 者 層	8 50.0	4 50.0	5 62.5	2 25.0	1 12.5	3 37.5	-	2 25.0	-	-	-	-
	ホワイター層	8	1 12.5	2 25.0	-	1 12.5	-	1 12.5	-	-	-	-	-
	ブルーカラー層	2	-	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
	不安定雇用者層	7	2 28.6	-	-	-	-	-	2 28.6	-	1 14.3	-	-
	自営業者層	24	8 33.3	12 50.0	3 12.5	3 12.5	4 16.7	2 8.3	3 12.5	-	-	-	-
	無業者層	14	5 35.7	8 57.1	3 21.4	-	2 14.3	2 14.3	3 21.4	-	-	-	1 7.1

これらの回答の中から、ボランティア活動の課題を見いだすことができる。上位に挙がっているのは、ボランティア活動への参加者（とくに若者）が少ないということである。ボランティア講座の開催などをして、地域におけるボランティアの必要性を住民に訴えていくことが必要である。若者を想定した時間帯（夜や土日）での講座開催が求められている。

つぎに比率の高いのが、ボランティア活動のみでは地域やくらしの問題は解決し得ないとの指摘である。それらの問題意識をヨコにつなげながら地域の課題として整理していくことが求められている。そのためには、4番目に指摘されているボランティアグループの世話をしてくれる人の確保が不可欠であり、社会福祉協議会の職員がその要求に応じていくことが必要である。社会福祉協議会の職員が、ボランティア活動をしている人たちの悩みを受け止め、問題解決の方向性をともに探っていくことが大切であるといえよう。



交通費や活動費の確保が困難	訓練や学習の機会が少ない	活動情報が少ない	ボランティアのつながりが少ない	保健師やホームヘルパーなどの専門職とのつながりが少ない	他のボランティアグループと交流する機会が少ない	いつまで健康のこと	もつが健康のこと	身近なところで活動できる場や施設が少ない	ボランティアの取り組みだけではどうすることもできない問題が多い	行政がボランティアに頼りすぎている	自分の住んでいる地域から離れたところで活動する人が多い	相手の事情にあわせて時間をやりくりしなければならぬ	これから先、何をしたらよいかかわからない	とくにない	その他	無回答
2	1	3	3	6	7	2	10	6	1	6	1	6	-	14	3	-
3.2	1.6	4.8	4.8	9.5	11.1	3.2	15.9	9.5	1.6	9.5	1.6	9.5	-	22.2	4.8	-
-	-	-	1	2	2	-	2	-	2	2	-	-	-	2	-	-
-	-	-	12.5	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-
-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	2	1	-
-	-	-	-	-	-	-	12.5	-	12.5	12.5	-	-	-	25.0	12.5	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
1	-	1	1	2	-	1	-	-	-	-	50.0	-	-	-	1	-
14.3	-	14.3	14.3	28.6	-	14.3	-	-	-	-	-	1	-	3	1	-
-	1	2	-	-	2	-	4	1	1	1	-	5	-	6	-	-
-	4.2	8.3	-	-	-	8.3	-	16.7	4.2	4.2	-	20.8	-	25.0	-	-
1	-	-	1	2	3	1	3	2	2	2	-	-	-	1	1	-
7.1	-	-	7.1	14.3	21.4	7.1	21.4	14.3	14.3	14.3	-	-	-	7.1	7.1	-

## Ⅸ 活動拠点の整備状況

「日頃、身近な地域で集まったり話し合ったりする場所はどこですか」との問に対する回答は、以下の通りであった（表95）。

「集まりに参加していないので利用していない」が33.2%も存在している。

集まりをしている場合は、「自治会館」が26.0%と最も高率になっている。公共施設と

表95 地域別にみた身近な地域で集まったり話し合ったりする場所

上段：実数 下段：横%	合 計	問19イ 集まったり話し合う場所						
		自治 会 館	セ老 ン人 夕福  社	こども みらい 館	ウイ ン グ ス 京 都	ア ス ニ ー	ラ ボ ー ル 京 都	
全 体	485	126 26.0	4 0.8	13 2.7	11 2.3	15 3.1	6 1.2	
地 域	朱 雀 第 一	88 28.4	25 2.3	3 3.4	3 3.4	6 6.8	2 2.3	
	朱 雀 第 五	79 34.2	27 1.3	3 3.8	1 1.3	1 1.3	4 5.1	
	富 有	88 59.1	52 -	2 2.3	1 1.1	2 2.3	- -	
	龍 池	88 1.1	1 1.1	5 5.7	4 4.5	3 3.4	- -	
	教 業	77 27.3	21 -	- -	- -	2 2.6	3 3.9	- -
	立 誠	65 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

表96 地域別にみた自治会館の評価

上段：実数 下段：横%	合 計	問19ロ 自治会館の評価						
		ど こ に あ る か で 回 答 で き な い	遠 く て 不 便	め 利 用 手 続 き が う が	帯 利 用 で き る 時 間 が 合 わ な い	利 集 会 所 の 料 が 高 い	限 利 用 目 的 が あ ら な い	な 駐 い 車 場 狭 い
全 体	485	91 18.8	2 0.4	8 1.6	4 0.8	4 0.8	8 1.6	11 2.3
地 域	朱 雀 第 一	88 39.8	35 -	1 1.1	2 2.3	2 2.3	2 2.3	3 3.4
	朱 雀 第 五	79 22.8	18 2.5	4 5.1	2 2.5	1 1.3	3 3.8	4 5.1
	富 有	88 12.5	11 -	3 3.4	- -	1 1.1	- -	4 4.5
	龍 池	88 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	教 業	77 35.1	27 -	- -	- -	- -	3 3.9	- -
	立 誠	65 -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

しては、それについて「小学校」が10.1%となっている。公共施設の不備を反映していると思われるが、「個人の家」が18.1%存在している。

地域別にみると、龍池と立誠では「自治会館」が整備されていない故に「自治会館」の指摘は当然のこと低い。また、中京区地域福祉センター、こどもみらい館、ウイングス京都、アスニー、ラポール京都などの施設は、周辺地域の利用がやはり高くなっている。どの地域に住んでいても、身近なところで集まって話し合いができるような集会所の整備が求められている。

小 学 校	中 学 校	保 育 所 児 童 館	社 会 福 祉 施 設	中 京 区 地 域 福 祉 セ ン タ ー	個 人 の 家	ろ 身 近 な と こ ろ	集 ま り に 参 加 し て い な い	そ の 他	無 回 答
49	14	10	11	31	88	21	161	80	8
10.1	2.9	2.1	2.3	6.4	18.1	4.3	33.2	16.5	1.6
12	1	4	1	5	9	3	37	6	-
13.6	1.1	4.5	1.1	5.7	10.2	3.4	42.0	6.8	-
1	4	2	2	2	16	2	21	5	3
1.3	5.1	2.5	2.5	2.5	20.3	2.5	26.6	6.3	3.8
11	1	-	-	3	21	-	24	7	-
12.5	1.1	-	-	3.4	23.9	-	27.3	8.0	-
8	5	1	4	2	20	10	28	32	4
9.1	5.7	1.1	4.5	2.3	22.7	11.4	31.8	36.4	4.5
8	2	1	4	18	11	1	25	9	1
10.4	2.6	1.3	5.2	23.4	14.3	1.3	32.5	11.7	1.3
9	1	2	-	1	11	5	26	21	-
13.8	1.5	3.1	-	1.5	16.9	7.7	40.0	32.3	-

相 談 し た り 活 動 の 世 話 を し て く れ る 管 理 者 担 当 者 が い な い	管 理 者 担 当 者 の 対 応 が 悪 い	部 屋 数 が 少 ない ・ せ ま い	ト イ レ が 利 用 し に く い	車 で 利 用 で き な い	階 段 が し ん と い	イ ス 座 り が で き な い ( 和 室 し か な い )	と く に な い	そ の 他	利 用 し た こ と が な い の で わ か ら な い	自 治 会 館 が な い	無 回 答
1	1	10	8	20	21	6	127	7	46	153	11
0.2	0.2	2.1	1.6	4.1	4.3	1.2	26.2	1.4	9.5	31.5	2.3
-	-	2	3	3	5	3	29	1	13	-	-
-	-	2.3	3.4	3.4	5.7	3.4	33.0	1.1	14.8	-	-
-	-	2	-	1	3	2	32	5	8	-	5
-	-	2.5	-	1.3	3.8	2.5	40.5	6.3	10.1	-	6.3
1	1	2	2	15	12	-	33	-	21	-	2
1.1	1.1	2.3	2.3	17.0	13.6	-	37.5	-	23.9	-	2.3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
-	-	4	3	1	1	1	33	1	4	-	4
-	-	5.2	3.9	1.3	1.3	1.3	42.9	1.3	5.2	-	5.2
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

住民にとって身近な集会所である自治会館について、「不便に感じることはありませんか」と尋ねた（表96）。「自治会館がない」が31.5%、「どこにあるのかわからないので回答できない」が18.8%あったので、不便さの指摘は総じて低率になっているが、比率の高いものから挙げると以下の通りである。

- ①階段がしんどい ……………4.3%（実数21）
- ②車イスが利用できない ……………4.1%（実数20）
- ③駐車場がない・狭い ……………2.3%（実数11）
- ④部屋数が少ない・せまい ……………2.1%（実数10）

表97 地域活動類型別にみた自治会館の評価

	合 計	問19□ 自治会館の評価						
		でわど 回から 答に で可 ない の か	遠 く て 不 便	め 利 用 手 続 き が	帯 利 用 で 可 る 時 間 が 合 わ な い	利 集 会 所 の 料 が 高 い	限 利 用 目 的 的 が	な 駐 い 車 場 狭 い が
全 体	485	91 18.8	2 0.4	8 1.6	4 0.8	4 0.8	8 1.6	11 2.3
地 域 活 動 類 型	自治会のみ	36 13.9	5 2.8	1 -	- -	- -	- -	1 2.8
	行政協力型	61 8.2	5 1.6	1 1.6	1 1.6	- -	- -	3 4.9
	子ども会・スポーツクラブ	19 15.8	3 -	- 5.3	1 -	- 5.3	2 10.5	- -
	くらしにかかわる自主的活動	41 17.1	7 -	- 4.9	2 4.9	- -	2 4.9	2 4.9
	地域福祉活動	16	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	ボランティア活動	61 3.3	2 -	- 4.9	3 4.9	3 4.9	2 3.3	3 4.9
	くらしや健康に関わる自主的学習会	4 25.0	1 -	- 25.0	1 -	- -	1 25.0	- 25.0
	参加していない	247 27.5	68 -	- -	- -	- -	- 0.4	1 0.4



- ⑤利用手続きがめんどう …………… 1.6% (実数 8)
- ⑤利用目的が限られている …………… 1.6% (実数 8)
- ⑤トイレが利用しにくい …………… 1.6% (実数 8)

自治会館が地域活動の拠点になっていく上には、多くの改善点があるといえる。

地域活動類型別にみると(表97)、地域福祉活動やボランティア活動をしている層では、自治会館の改善点の指摘率が高い。そのなかで、「階段がしんどい」や「車イスが利用できない」といった項目の指摘は2割近い比率となっている。

相談したり活動の世話をしてくれる管理者担当者がいない	管理者・担当者の対応が悪い	部屋数が少ない・せまい	トイレが利用しにくい	車イスで利用できない	階段がしんどい	イス座りができない(和室しかない)	とくにない	その他	利用したことがない	自治会館がない	無回答
1 0.2	1 0.2	10 2.1	8 1.6	20 4.1	21 4.3	6 1.2	127 26.2	7 1.4	46 9.5	153 31.5	11 2.3
-	-	1 2.8	-	2 5.6	2 5.6	-	16 44.4	-	-	8 22.2	1 2.8
-	-	1 1.6	-	1 1.6	2 3.3	1 1.6	24 39.3	1 1.6	1 1.6	21 34.4	1 1.6
-	-	-	1 5.3	-	-	1 5.3	9 47.4	-	1 5.3	3 15.8	-
-	-	3 7.3	1 2.4	2 4.9	2 4.9	1 2.4	14 34.1	2 4.9	5 12.2	8 19.5	-
1 6.3	1 6.3	1 6.3	-	2 12.5	3 18.8	-	6 37.5	-	1 6.3	6 37.5	-
-	-	2 3.3	4 6.6	9 14.8	6 9.8	1 1.6	16 26.2	1 1.6	5 8.2	22 36.1	-
-	-	1 25.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-
-	-	1 0.4	1 0.4	1 0.4	5 2.0	1 0.4	42 17.0	3 1.2	33 13.4	85 34.4	9 3.6

## X 施設の周知・利用状況及びかかりつけ医

社会福祉施設や保健・医療施設は利用施設のみの役割に留まらず、地域住民の地域活動の拠点にもなり得る。それら施設がどの程度知られているのだろうか。今回の調査結果

表98 階層別にみた施設の周知状況

	合 計	問20 知っている機関・施設																				
		老 人 ホ ム ム 護	特 別 養 護	老 人 保 健 施 設	老 人 福 祉 セ ン タ ー	福 祉 セ ン タ ー	中 央 老 人	老 人 い こ い の 家	セ ル シ ン タ ー	支 援 セ ン タ ー	在 宅 介 護	支 援 事 業 所	居 宅 介 護	老 人 セ ン タ ー	ケ ア ハ ウ ス	ス テ ィ ン グ シ ョ ン	訪 問 看 護	デ イ ケ ア セ ン タ ー	サ ー ビ ス	ホ ー ム ヘル プ	入 浴 サ ー ビ ス	サ ー ビ ス
全 体	485	86 17.7	44 9.1	103 21.2	145 29.9	97 20.0	76 15.7	39 8.0	20 4.1	94 19.4	34 7.0	49 10.1	74 15.3	66 13.6	80 16.5	36 7.4	135 27.8					
階 層	経 営 者 層	47 14.9	7 6.4	3 21.3	10 27.7	13 19.1	9 17.0	8 2.1	1 2.1	1 19.1	9 4.3	2 10.6	5 10.6	5 12.8	6 17.0	8 21.0	1 2.1	14 29.8				
	ホワイトカラー層	53 13.2	7 9.4	5 20.8	11 26.4	14 13.2	7 20.8	11 13.2	7 9.4	5 15.1	8 9.4	5 13.2	7 17.0	9 17.0	9 18.9	10 5.7	3 37.7	20 44.0				
	ブルーカラー層	25 16.0	4 12.0	3 24.0	6 32.0	8 32.0	8 28.0	7 -	-	-	6 24.0	1 4.0	1 4.0	4 16.0	-	1 4.0	-	11 44.0				
	不安定雇用者層	53 3.8	2 -	-	10 20.8	11 11.3	6 17.0	9 5.7	3 -	-	5 9.4	1 1.9	3 5.7	5 9.4	5 9.4	5 9.4	4 7.5	9 17.0				
	自営業者層	164 16.5	27 9.1	15 17.7	29 26.8	44 18.9	31 11.0	18 7.3	12 3.0	5 17.7	29 7.3	12 12.2	20 18.3	30 11.6	19 18.3	30 7.3	12 31.1	51 21.0				
	無業者層	143 27.3	39 12.6	18 25.9	37 38.5	55 25.2	36 16.1	23 11.2	16 6.3	9 25.9	37 9.1	13 9.1	13 14.7	21 18.9	27 18.2	26 11.2	16 21.0	30 21.0				

表99 相談相手類型別にみた施設の周知状況

	合 計	問20 知っている機関・施設																				
		老 人 ホ ム ム 護	特 別 養 護	老 人 保 健 施 設	老 人 福 祉 セ ン タ ー	福 祉 セ ン タ ー	中 央 老 人	老 人 い こ い の 家	セ ル シ ン タ ー	支 援 セ ン タ ー	在 宅 介 護	支 援 事 業 所	居 宅 介 護	老 人 セ ン タ ー	ケ ア ハ ウ ス	ス テ ィ ン グ シ ョ ン	訪 問 看 護	デ イ ケ ア セ ン タ ー	サ ー ビ ス	ホ ー ム ヘル プ	入 浴 サ ー ビ ス	サ ー ビ ス
全 体	485	86 17.7	44 9.1	103 21.2	145 29.9	97 20.0	76 15.7	39 8.0	20 4.1	94 19.4	34 7.0	49 10.1	74 15.3	66 13.6	80 16.5	36 7.4	135 27.8					
相 談 相 手 類 型	相談できる人が身近にいない	39 15.4	6 10.3	4 12.8	5 30.8	12 17.9	7 20.5	8 15.4	6 2.6	1 20.5	8 10.3	4 12.8	5 15.4	6 12.8	8 20.5	2 5.1	8 20.5					
	身 内 の み	142 15.5	22 4.9	7 20.4	29 23.2	33 16.9	24 11.3	16 5.6	8 3.5	5 13.4	19 7.0	10 9.9	14 12.7	18 7.7	11 11.3	16 5.6	8 25.4	36 25.4				
	親 せ き を 含 む	18 22.2	4 -	-	5 50.0	9 27.8	5 11.1	2 16.7	3 -	-	2 11.1	-	1 5.6	4 22.2	3 16.7	2 11.1	-	5 27.8				
	第 三 者 を 含 む	180 16.1	29 10.0	18 21.1	38 32.2	58 18.3	33 15.0	27 5.6	10 3.9	7 18.3	33 5.6	10 8.3	15 12.2	22 12.8	23 15.0	27 6.7	12 26.7	48 26.7				
	近 隣 を 含 む	76 25.0	19 10.5	8 27.6	21 30.3	23 27.6	21 21.1	16 9.2	7 6.6	5 28.9	22 9.2	7 11.8	9 19.7	15 19.7	15 19.7	15 13.2	10 35.5	27 35.5				
	公 的 機 関 を 含 む	25 24.0	6 28.0	7 20.0	5 36.0	9 20.0	5 28.0	7 20.0	5 8.0	2 36.0	9 12.0	3 20.0	5 32.0	8 32.0	8 44.0	11 16.0	4 44.0	11 44.0				
	公 的 機 関 の み	5 -	-	-	1 20.0	2 40.0	-	-	-	-	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-				



相談相手の類型別にみると（表99）、相談相手に「近隣を含む」と「公的機関を含む」といった場合、各施設の周知度が高くなっている。地域にある施設は、地域住民からの口コミによって周知度は上がるといえる。

地域別にみると（表100）、身近に存在している施設の周知度は高い。朱五では「中央老人福祉センター」「京都市身体障害者リハビリセンター」、富有と龍池では「こどもみらい館」の周知度がそれぞれ高くなっている。

表100 地域別にみた施設の周知状況

		合 計	問20 知っている機関・施設																
			老人ホーム 特別養護 ホーム	老人保健施設	老人福祉センター	福祉センター 老人	中央老人 福祉センター	老人いこいの家	セルパ ンバー 人材	支援セ ンター 介護	在宅 介護 事業所	居宅 介護 事業所	老人 デイ サービス	ケア ハウス	訪問 看護	デイ ケア センター	ホーム ヘル プ ス	入浴 サー ビス	サ ー ビス 配 食
全	体	485	86 17.7	44 9.1	103 21.2	145 29.9	97 20.0	76 15.7	39 8.0	20 4.1	94 19.4	34 7.0	49 10.1	74 15.3	66 13.6	80 16.5	36 7.4	135 27.8	
地 域	朱 雀 第 一	88	26 29.5	13 14.8	30 34.1	30 34.1	28 31.8	20 22.7	12 13.6	6 6.8	23 26.1	11 12.5	14 15.9	18 20.5	18 20.5	20 22.7	10 11.4	38 43.2	
	朱 雀 第 五	79	14 17.7	6 7.6	13 16.5	49 62.0	22 27.8	13 16.5	4 5.1	2 2.5	14 17.7	1 1.3	3 3.8	12 15.2	9 11.4	7 8.9	5 6.3	23 29.1	
	富 有	88	19 21.6	8 9.1	17 19.3	21 23.9	16 18.2	18 20.5	5 5.7	3 3.4	21 23.9	7 8.0	7 8.0	14 15.9	12 13.6	20 22.7	7 8.0	13 14.8	
	龍 池	88	10 11.4	7 8.0	11 12.5	12 13.6	9 10.2	6 6.8	4 4.5	4 4.5	12 13.6	6 6.8	10 11.4	18 20.5	11 12.5	16 18.2	5 5.7	24 27.3	
	教 業	77	7 9.1	5 6.5	25 32.5	22 28.6	17 22.1	13 16.9	9 11.7	3 3.9	16 20.8	5 6.5	9 11.7	7 9.1	9 11.7	9 11.7	5 6.5	27 35.1	
	立 誠	65	10 15.4	5 7.7	7 10.8	11 16.9	5 7.7	6 9.2	5 7.7	2 3.1	8 12.3	4 6.2	6 9.2	5 7.7	7 10.8	8 12.3	4 6.2	10 15.4	

表101 階層別にみた施設の利用状況

		合 計	問20 利用した機関・施設																
			老人ホーム 特別養護 ホーム	老人保健施設	老人福祉センター	福祉センター 老人	中央老人 福祉センター	老人いこいの家	セルパ ンバー 人材	支援セ ンター 介護	在宅 介護 事業所	居宅 介護 事業所	老人 デイ サービス	ケア ハウス	訪問 看護	デイ ケア センター	ホーム ヘル プ ス	入浴 サー ビス	サ ー ビス 配 食
全	体	485	2 0.4	4 0.8	7 1.4	17 3.5	3 0.6	10 2.1	2 0.4	3 0.6	15 3.1	1 0.2	8 1.6	7 1.4	11 2.3	10 2.1	3 0.6	23 4.7	
階 層	経 営 者 層	47	-	-	1 2.1	2 4.3	-	2 4.3	-	-	-	-	-	1 2.1	1 2.1	1 2.1	-	1 2.1	
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53	-	-	-	1 1.9	-	1 1.9	-	-	1 1.9	-	1 1.9	-	1 1.9	-	-	6 11.3	
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25	-	1 4.0	-	1 4.0	-	-	-	-	2 8.0	1 4.0	-	-	-	-	-	4 16.0	
	不 安 定 雇 用 者 層	53	-	-	2 3.8	2 3.8	-	1 1.9	-	-	1 1.9	-	-	-	-	-	-	2 3.8	
	自 営 業 者 層	164	2 1.2	2 1.2	-	4 2.4	1 0.6	3 1.8	1 0.6	-	5 3.0	-	6 3.7	2 1.2	2 1.2	3 1.8	-	10 6.1	
	無 業 者 層	143	-	1 0.7	4 2.8	7 4.9	2 1.4	3 2.1	1 0.7	3 2.1	6 4.2	-	1 0.7	4 2.8	7 4.9	6 4.2	3 2.1	-	

つぎに施設の利用状況についてみると（表101）、「保健所」の18.4%が最高で、他は5%までの利用状況に留まっている。

児童館	子ども支援センター	子どもみらい館	障害者共同作業所	障害者授産施設	障害者センター	京都市聴覚リハビリセンター	京都市身体障害者福祉会館	壬生身体障害者共同作業所	精神障害者授産施設	精神障害者グループホーム	精神障害者増進センター	京都市こころの福祉事務所	保健所	デイサービス事業	中京区高齢者いきサロン	ふれあいいきサロン	中京区ポランテイアセンター	地域の独居高齢者の茶話会・昼食会	グサビース事業	寝具のクリーンふれあいいきサロン	地域の高齢者子育てサロン	子育てサロン	ものがない	知っている	その他	無回答
91	26	170	45	25	24	85	34	22	6	8	9	217	261	66	84	38	77	77	69	22	48	9	7			
18.8	5.4	35.1	9.3	5.2	4.9	17.5	7.0	4.5	1.2	1.6	1.9	44.7	53.8	13.6	17.3	7.8	15.9	15.9	14.2	4.5	9.9	1.9	1.4			
20	8	27	16	9	10	19	13	7	3	3	2	44	45	18	28	13	12	17	18	6	9	4	-			
22.7	9.1	30.7	18.2	10.2	11.4	21.6	14.8	8.0	3.4	3.4	2.3	50.0	51.1	20.5	31.8	14.8	13.6	19.3	20.5	6.8	10.2	4.5	-			
27	3	11	9	-	2	36	7	1	-	-	1	26	31	-	-	1	6	3	2	-	3	1	2			
34.2	3.8	13.9	11.4	-	2.5	45.6	8.9	1.3	-	-	1.3	32.9	39.2	-	-	1.3	7.6	3.8	2.5	-	3.8	1.3	2.5			
6	1	49	5	4	4	7	4	7	2	1	2	41	46	9	12	5	22	28	24	3	8	2	1			
6.8	1.1	55.7	5.7	4.5	4.5	8.0	4.5	8.0	2.3	1.1	2.3	46.6	52.3	10.2	13.6	5.7	25.0	31.8	27.3	3.4	9.1	2.3	1.1			
17	6	49	10	9	3	8	4	5	1	2	3	37	50	8	7	7	9	8	4	6	16	1	-			
19.3	6.8	55.7	11.4	10.2	3.4	9.1	4.5	5.7	1.1	2.3	3.4	42.0	56.8	9.1	8.0	8.0	10.2	9.1	4.5	6.8	18.2	1.1	-			
18	6	21	2	-	2	6	4	-	-	-	1	41	47	27	32	10	24	17	16	7	4	-	2			
23.4	7.8	27.3	2.6	-	2.6	7.8	5.2	-	-	-	1.3	53.2	61.0	35.1	41.6	13.0	31.2	22.1	20.8	9.1	5.2	-	2.6			
3	2	13	3	3	3	9	2	2	-	2	-	28	42	4	5	2	4	4	5	-	8	1	2			
4.6	3.1	20.0	4.6	4.6	4.6	13.8	3.1	3.1	-	3.1	-	43.1	64.6	6.2	7.7	3.1	6.2	6.2	7.7	-	12.3	1.5	3.1			

児童館	子ども支援センター	子どもみらい館	障害者共同作業所	障害者授産施設	障害者センター	京都市聴覚リハビリセンター	京都市身体障害者福祉会館	壬生身体障害者共同作業所	精神障害者授産施設	精神障害者グループホーム	精神障害者増進センター	京都市こころの福祉事務所	保健所	デイサービス事業	中京区高齢者いきサロン	ふれあいいきサロン	中京区ポランテイアセンター	地域の独居高齢者の茶話会・昼食会	グサビース事業	寝具のクリーンふれあいいきサロン	地域の高齢者子育てサロン	子育てサロン	ものがない	知っている	その他	無回答
18	5	54	3	2	5	4	7	-	-	-	-	65	89	6	10	3	12	10	4	3	-	2	266			
3.7	1.0	11.1	0.6	0.4	1.0	0.8	1.4	-	-	-	-	13.4	18.4	1.2	2.1	0.6	2.5	2.1	0.8	0.6	-	0.4	54.8			
-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	4	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	33		
-	-	4.3	-	-	2.1	-	-	-	-	-	-	6.4	8.5	-	2.1	-	2.1	2.1	2.1	-	-	-	-	70.2		
8	2	17	-	1	2	-	1	-	-	-	-	10	19	1	1	1	-	-	-	-	3	-	-	23		
15.1	3.8	32.1	-	1.9	3.8	-	1.9	-	-	-	-	18.9	35.8	1.9	1.9	1.9	-	-	-	-	5.7	-	-	43.4		
5	1	4	2	1	-	-	1	-	-	-	-	7	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9		
20.0	4.0	16.0	8.0	4.0	-	-	4.0	-	-	-	-	28.0	44.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36.0		
1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	37		
1.9	-	7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.3	7.5	-	1.9	-	1.9	-	-	-	-	-	-	69.8		
3	1	16	1	-	1	2	4	-	-	-	-	19	38	1	3	1	4	1	1	-	-	-	-	91		
1.8	0.6	9.8	0.6	-	0.6	1.2	2.4	-	-	-	-	11.6	23.2	0.6	1.8	0.6	2.4	0.6	0.6	0.6	-	-	-	55.5		
1	1	11	-	-	1	2	1	-	-	-	-	20	13	4	4	1	6	8	2	-	-	-	2	73		
0.7	0.7	7.7	-	-	0.7	1.4	0.7	-	-	-	-	14.0	9.1	2.8	2.8	0.7	4.2	5.6	1.4	-	-	-	1.4	51.0		

地域別にみると（表102）、施設が存在している地域で利用率も高くなっている。朱五で「中央老人福祉センター」、富有・龍池で「こどもみらい館」、教業で「ふれあいいきいきサロン」の利用率が他の地域に比べて高くなっている。

かかりつけの医者について尋ねたところ、「決めている」との回答が77.1%であった（表103）。「決めていない」は22.9%であった。決めていない場合、「その都度適当な医者にかかる」が16.1%だった。

表103 階層別にみたかかりつけ医の状況

	合 計	問12 かかりつけの医者						
		決 め て い る	決 め て い な い	い 適 当 な 医 者 が い な い	な そ の 都 度 適 当 な 医 者 に か か る	そ の 他	無 回 答	
全 体	485 100.0	374 77.1	111 22.9	14 2.9	78 16.1	17 3.5	- -	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	29 61.7	18 38.3	3 6.4	13 27.7	1 2.1	- -
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 100.0	38 71.7	15 28.3	1 1.9	12 22.6	1 1.9	- -
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 100.0	20 80.0	5 20.0	2 8.0	3 12.0	- -	- -
	不 安 定 雇 用 者 層	53 100.0	35 66.0	18 34.0	2 3.8	13 24.5	2 3.8	- -
	自 営 業 者 層	164 100.0	132 80.5	32 19.5	4 2.4	23 14.0	6 3.7	- -
	無 業 者 層	143 100.0	120 83.9	23 16.1	2 1.4	14 9.8	7 4.9	- -

表102 地域別にみた施設の利用状況

	合 計	問20 利用した機関・施設																
		老 人 ホ ム ム 護	老 人 保 健 施 設	老 人 福 祉 セ ン タ ー	中 央 老 人 福 祉 セ ン タ ー	老 人 こ い の 家	セ ル バ ー 人 材	支 援 セ ン タ ー	在 宅 介 護	支 援 事 業 所	居 宅 介 護	老 人 セ ン タ ー	ケ ア ハ ウ ス	訪 問 看 護	デ イ ケ ア セ ン タ ー	サ ー ビ ス	入 浴 サ ー ビ ス	市 制 度 の 配 食
全 体	485	2 0.4	4 0.8	7 1.4	17 3.5	3 0.6	10 2.1	2 0.4	3 0.6	15 3.1	1 0.2	8 1.6	7 1.4	11 2.3	10 2.1	3 0.6	23 4.7	
地 域	朱 雀 第 一	88 1.1	2 2.3	1 1.1	3 3.4	1 1.1	4 4.5	- -	- -	3 3.4	- -	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	- -	6 6.8	
	朱 雀 第 五	79 -	- -	2 2.5	7 8.9	- -	2 2.5	1 1.3	- -	5 6.3	- -	- -	2 2.5	3 3.8	1 1.3	1 1.3	4 5.1	
	富 有	88 1.1	- -	2 2.3	3 3.4	1 1.1	1 1.1	- -	- -	2 2.3	- -	- -	3 3.4	2 2.3	5 5.7	1 1.1	1 1.1	
	龍 池	88 -	- -	- -	1 1.1	- -	- -	- -	2 2.3	- -	1 1.1	3 3.4	1 1.1	1 1.1	2 2.3	- -	4 4.5	
	教 業	77 -	- -	2 2.6	2 2.6	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	4 5.2	- -	3 3.9	- -	4 5.2	1 1.3	1 1.3	5 6.5	
	立 誠	65 -	2 3.1	- -	1 1.5	- -	2 3.1	- -	- -	1 1.5	- -	1 1.5	- -	- -	- -	- -	3 4.6	

児童館	子ども支援センター	こどもみらい館	障害者共同作業所	障害者授産施設	障害センター	京都市聴覚リハビリセンター	京都市身体障害者福祉会館	壬生身体障害者共同作業所	精神障害者授産施設	精神障害者グループホーム	精神障害者増進センター	京都市こころの福祉事務所	福祉事務所	保健所	中京区高齢者ミニデイサービス事業	ふれあいいきサロン	中京区ボランティアセンター	地域の独居高齢者の茶話会・昼食会	寝具のクリーニングサービス事業	寝具のクリーニングサービス事業	ふれあいいきサロン	地域の独居高齢者の茶話会・昼食会	子育てサポート事業	ものがない	知って	その他	無回答
18 3.7	5 1.0	54 11.1	3 0.6	2 0.4	5 1.0	4 0.8	7 1.4	-	-	-	-	65 13.4	89 18.4	6 1.2	10 2.1	3 0.6	12 2.5	10 2.1	4 0.8	3 0.6	-	-	-	-	2 0.4	266 54.8	
5 5.7	2 2.3	8 9.1	1 1.1	1 1.1	2 2.3	-	3 3.4	-	-	-	-	9 10.2	8 9.1	2 2.3	1 1.1	-	1 1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61 69.3
4 5.1	1 1.3	3 3.8	-	-	-	2 2.5	1 1.3	-	-	-	-	9 11.4	11 13.9	-	-	-	2 2.5	1 1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	42 53.2
-	-	16 18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16 18.2	13 14.8	-	1 1.1	-	1 1.1	5 5.7	3 3.4	-	-	-	-	-	-	1 1.1	40 45.5
4 4.5	-	17 19.3	1 1.1	1 1.1	-	1 1.1	1 1.1	-	-	-	-	9 10.2	19 21.6	1 1.1	1 1.1	2 2.3	2 2.3	-	-	-	-	1 1.1	-	-	1 1.1	50 56.8	
5 6.5	2 2.6	7 9.1	1 1.3	-	2 2.6	1 1.3	1 1.3	-	-	-	-	11 14.3	19 24.7	3 3.9	6 7.8	1 1.3	4 5.2	4 5.2	-	-	-	2 2.6	-	-	-	39 50.6	
-	-	3 4.6	-	-	1 1.5	-	1 1.5	-	-	-	-	11 16.9	19 29.2	-	1 1.5	-	2 3.1	-	-	1 1.5	-	-	-	-	-	34 52.3	

## XI 定住意向、中京区の良さ、まちづくりに必要なこと

### 1 定住意向

「現在すんでいる地域に住み続けたいですか」との問に対する回答は（表104）、「ずっと住み続けたい」が76.5%、「できれば早く引っ越したい」が3.3%、「わからない」が17.5%であった。

表104 階層別にみた定住意向

	合 計	問22 定住意向					
		続 け と 住 み たい	引 で き れ ば 早 く 引 越 し た い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	
全 体	485 100.0	371 76.5	16 3.3	85 17.5	11 2.3	2 0.4	
階 層	経 営 者 層	47 100.0	32 68.1	1 2.1	13 27.7	1 2.1	- -
	ホワイトカラー層	53 100.0	35 66.0	1 1.9	16 30.2	1 1.9	- -
	ブルーカラー層	25 100.0	14 56.0	1 4.0	9 36.0	1 4.0	- -
	不安定雇用者層	53 100.0	43 81.1	1 1.9	7 13.2	2 3.8	- -
	自 営 業 者 層	164 100.0	126 76.8	6 3.7	29 17.7	2 1.2	1 0.6
	無 業 者 層	143 100.0	121 84.6	6 4.2	11 7.7	4 2.8	1 0.7

表105 住まいの形態別にみた定住意向

	合 計	問22 定住意向					
		続 け と 住 み たい	引 で き れ ば 早 く 引 越 し た い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	
全 体	485 100.0	371 76.5	16 3.3	85 17.5	11 2.3	2 0.4	
問 13 住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 100.0	279 81.1	5 1.5	51 14.8	8 2.3	1 0.3
	分譲のマンション	17 100.0	6 35.3	- -	11 64.7	- -	- -
	棟続きの持ち家	22 100.0	15 68.2	3 13.6	4 18.2	- -	- -
	公営・公団の賃貸住宅	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	民 間 借 家	53 100.0	45 84.9	1 1.9	7 13.2	- -	- -
	賃貸マンション・アパート	31 100.0	13 41.9	5 16.1	11 35.5	1 3.2	1 3.2
	社 宅 ・ 寮	8 100.0	6 75.0	1 12.5	- -	1 12.5	- -
	同 居	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	そ の 他	8 100.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -



階層別にみると、無業者層では「ずっと住み続けたい」が84.6%と高率になっている。経営者層・ホワイトカラー層・ブルーカラー層では、「わからない」が27.7%、30.2%、36.0%と相対的に高くなっている。

住まいの形態別にみると（表105）、「分譲のマンション」「賃貸マンション・アパート」において、「わからない」といった比率が64.7%、35.5%と高くなっている。

地域別にみると（図26及び表106）、龍池で「わからない」の比率が27.3%と相対的に高い。これは、龍池は「分譲のマンション」世帯が多く、この世帯の意識を反映している。

図26 地域別にみた定住意向

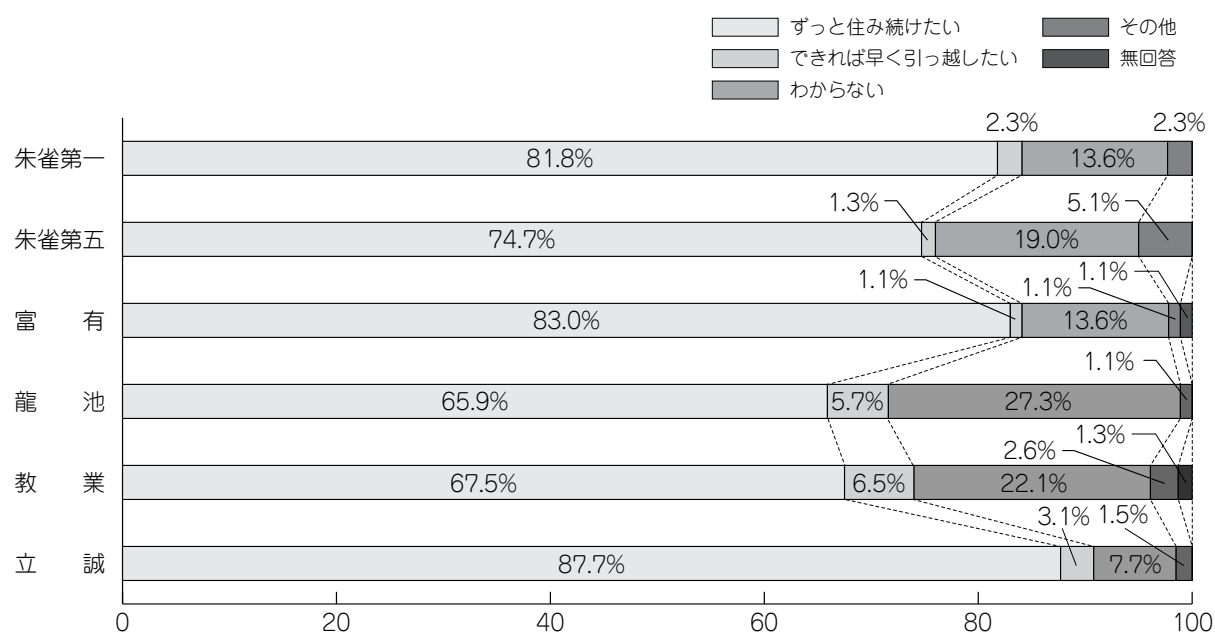


表106 地域別にみた定住意向

	合 計	問22 定住意向					
		続 づ け と 住 み たい	引 だ け り 越 し ば 早 く	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	
上段：実数 下段：横%	計						
全 体	485 100.0	371 76.5	16 3.3	85 17.5	11 2.3	2 0.4	
地 域	朱 雀 第 一	88 100.0	72 81.8	2 2.3	12 13.6	2 2.3	-
	朱 雀 第 五	79 100.0	59 74.7	1 1.3	15 19.0	4 5.1	-
	富 有	88 100.0	73 83.0	1 1.1	12 13.6	1 1.1	1 1.1
	龍 池	88 100.0	58 65.9	5 5.7	24 27.3	1 1.1	-
	教 業	77 100.0	52 67.5	5 6.5	17 22.1	2 2.6	1 1.3
	立 誠	65 100.0	57 87.7	2 3.1	5 7.7	1 1.5	-

## 2 中京区の良さ

「中京区に住んでいて、中京区の良さを感じていることはどのようなことがありますか」との問に対する回答は、以下の通りである（表107）。

- ①日常生活上、便利である ……………74.6%
- ②おまつりや伝統行事が身近に感じる ……………48.0%
- ③繁華街がある、近い ……………42.3%
- ④通勤上便利である ……………40.2%
- ⑤歴史的な建造物、旧跡、神社、仏閣がある ……………8.1%
- ⑥落ち着いた町並みである ……………30.9%
- ⑦隣近所のつきあいがしやすい ……………28.7%
- ⑧子育て・教育環境がよい ……………14.0%

住まいの形態別にみると（表108）、「分譲のマンション」において、「おまつりや伝統行事が身近に感じる」と「通勤上便利である」が82.4%、64.7%と高率になっている。

地域別にみると（図27及び表109）、朱一では「日常生活上、便利である」が87.5%と高率になっている。朱五は、平均値並みである。

富有は、「繁華街がある・近い」（60.2%）・「おまつりや伝統行事が身近に感じる」（59.1%）・「落ち着いた町並みである」（52.3%）・「歴史的な建造物、旧跡、神社、仏閣がある」（44.3%）・「隣近所のつきあいがしやすい」（35.2%）・「子育て・教育環境がよい」（30.7%）が高くなっており、他の地域と比べて総合的に評価が高い。

表107 階層別にみた中京区の良さ

	合 計	問23 中京区の良さ										
		に統 感行 じ事 らが れ身 る近	おま つり や 身 や 伝	ま ち な み で あ る	落 ち 着 い た	仏 物 歴 史 的 な 建 造 物 、 神 社 、 仏 閣 が あ る	便 日 常 生 活 上 、 利 便 で あ る	あ 繁 華 街 、 近 い が	で 通 勤 上 利 便 な る	あ 隣 近 所 の つ き あ い が し や す い	環 境 が よ い 育 て 、 教 育	そ の 他
全 体	485	233 48.0	150 30.9	185 38.1	362 74.6	205 42.3	195 40.2	139 28.7	68 14.0	21 4.3	13 2.7	
階 層	経 営 者 層	47 36.2	17 14.9	7 27.7	13 70.2	33 51.1	24 44.7	21 21.3	10 6.4	3 -	2 4.3	
	ホ ワ イ ト カ ラ ー 層	53 62.3	33 34.0	18 56.6	30 84.9	45 34.0	18 62.3	33 24.5	13 30.2	16 3.8	- -	
	ブ ル ー カ ラ ー 層	25 48.0	12 24.0	6 36.0	9 72.0	18 44.0	11 64.0	16 24.0	6 16.0	4 -	1 4.0	
	不 安 定 雇 用 者 層	53 47.2	25 41.5	22 41.5	22 67.9	36 41.5	22 50.9	27 24.5	13 15.1	8 3.8	1 1.9	
	自 営 業 者 層	164 47.6	78 24.4	40 30.5	50 76.2	125 43.9	72 36.0	59 26.2	43 12.8	21 3.7	4 2.4	
	無 業 者 層	143 47.6	68 39.9	57 42.7	61 73.4	105 40.6	58 27.3	39 37.8	54 11.2	16 7.7	5 3.5	

龍池は、「おまつりや伝統行事が身近に感じる」(67.0%)・「落ち着いた町並みである」(36.4%)が相対的に高率であり、この点の意識を高揚させる地域の取り組みが龍池のまちづくりに求められ視点といえるのではないか。また、「通勤上便利である」(48.9%)・「子育て・教育環境がよい」(21.6%)も相対的に高い。

教業は、「日常生活上、便利である」が84.4%ととくに高率で、あと「歴史的な建造物、旧跡、神社、仏閣がある」(53.2%)・「通勤上、便利である」(46.8%)・「落ち着いた町並みである」(40.3%)が相対的に高くなっている。

立誠は、「日常生活上、便利である」(81.5%)と「繁華街がある、近い」(66.2%)が高率となっている。

表108 住まいの形態別に見た中京区の良さ

	合 計	問23 中京区の良さ														
		に感 じら れる	統 行 事 が 身 近	お まつ り や 伝 統 的 な 建 造 物 が あ る	ま ち な み で あ る	落 ち 着 い た 町 並 み	仏 閣 が あ る	物 歴 史 的 な 建 造 物 が あ る	便 利 で あ る	日 常 生 活 上 、 あ る 、 近 い	繁 華 街 が あ る	通 勤 上 、 便 利 で あ る	あ い が し や す い	隣 近 所 の つ き あ い	環 境 が よ い	子 育 て 、 教 育 環 境 が よ い
全 体	485	233 48.0	150 30.9	185 38.1	362 74.6	205 42.3	195 40.2	139 28.7	68 14.0	21 4.3	13 2.7					
問 13 住 ま い の 形 態	一戸建の持ち家	344 47.1	162 31.1	107 36.6	267 77.6	150 43.6	138 40.1	103 29.9	51 14.8	17 4.9	10 2.9					
	分譲のマンション	17 82.4	14 5.9	1 35.3	10 58.8	5 29.4	11 64.7	- 29.4	5 14.8	- -	- -					
	棟続きの持ち家	22 50.0	11 36.4	8 31.8	19 86.4	10 45.5	5 22.7	8 36.4	3 13.6	1 4.5	- -					
	公営・公団の賃貸住宅	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -				
	民間借家	53 43.4	23 37.7	20 35.8	33 62.3	16 30.2	20 37.7	21 39.6	5 9.4	1 1.9	2 3.8					
	賃貸マンション・アパート	31 35.5	11 32.3	10 51.6	21 67.7	14 45.2	12 38.7	2 6.5	2 6.5	- -	1 3.2					
	社宅・寮	8 75.0	6 37.5	3 100.0	6 75.0	8 100.0	5 62.5	3 37.5	1 12.5	- -	- -					
	同居	2 50.0	1 50.0	1 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- 50.0	1 100.0	2 -	- -				
	その他	8 62.5	5 -	- 12.5	5 62.5	1 12.5	3 37.5	2 25.0	- -	- -	- -					

図27 地域別にみた中京区の良さ

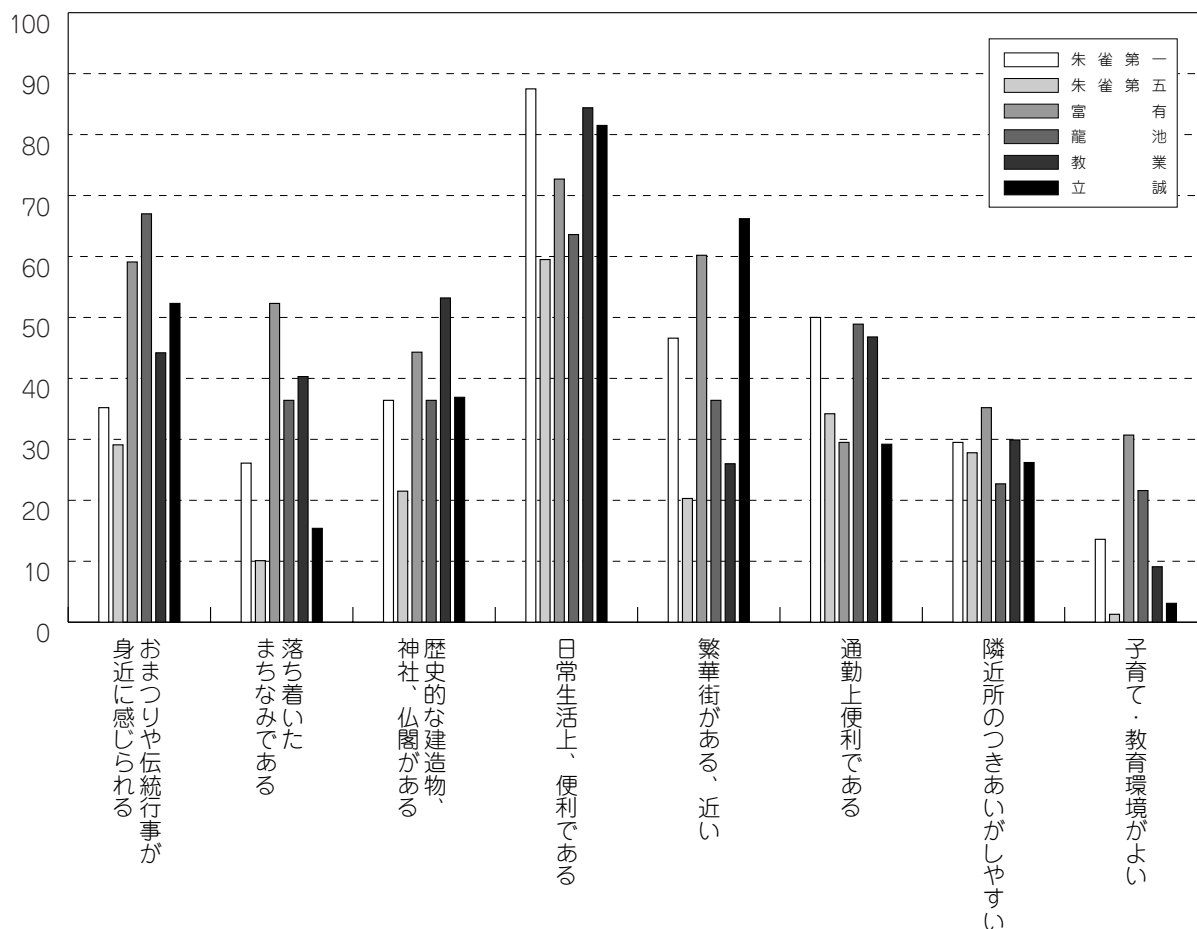


表109 地域別にみた中京区の良さ

		合 計	問23 中京区の良さ															
			に統 行事 が身 近に 感じ られ る	おまつり や伝 統行 事	まちな みで ある	落 ち着 いた まち	仏 閣 が あ る	物 社、 歴 史的 な 建 造	便 利 で あ る	日 常 生 活 上、 近 い	あ る、 繁 華 街 が 近 い	で通 勤 上 便 利 あ る	あ い が し や す い	隣 近 所 の つ き あ い が し や す い	環 境 が よ い	子 育 て・ 教 育 環 境 が よ い	そ の 他	無 回 答
全	体	485	233	150	185	362	205	195	139	68	21	13						
			48.0	30.9	38.1	74.6	42.3	40.2	28.7	14.0	4.3	2.7						
地 域	朱 雀 第 一	88	31	23	32	77	41	44	26	12	7	2						
			35.2	26.1	36.4	87.5	46.6	50.0	29.5	13.6	8.0	2.3						
	朱 雀 第 五	79	23	8	17	47	16	27	22	1	8	7						
			29.1	10.1	21.5	59.5	20.3	34.2	27.8	1.3	10.1	8.9						
	富 有	88	52	46	39	64	53	26	31	27	5	1						
			59.1	52.3	44.3	72.7	60.2	29.5	35.2	30.7	5.7	1.1						
地 域	龍 池	88	59	32	32	56	32	43	20	19	-	2						
			67.0	36.4	36.4	63.6	36.4	48.9	22.7	21.6	-	2.3						
	教 業	77	34	31	41	65	20	36	23	7	-	-						
			44.2	40.3	53.2	84.4	26.0	46.8	29.9	9.1	-	-						
立 誠	65	34	10	24	53	43	19	17	2	1	1							
			52.3	15.4	36.9	81.5	66.2	29.2	26.2	3.1	1.5	1.5						

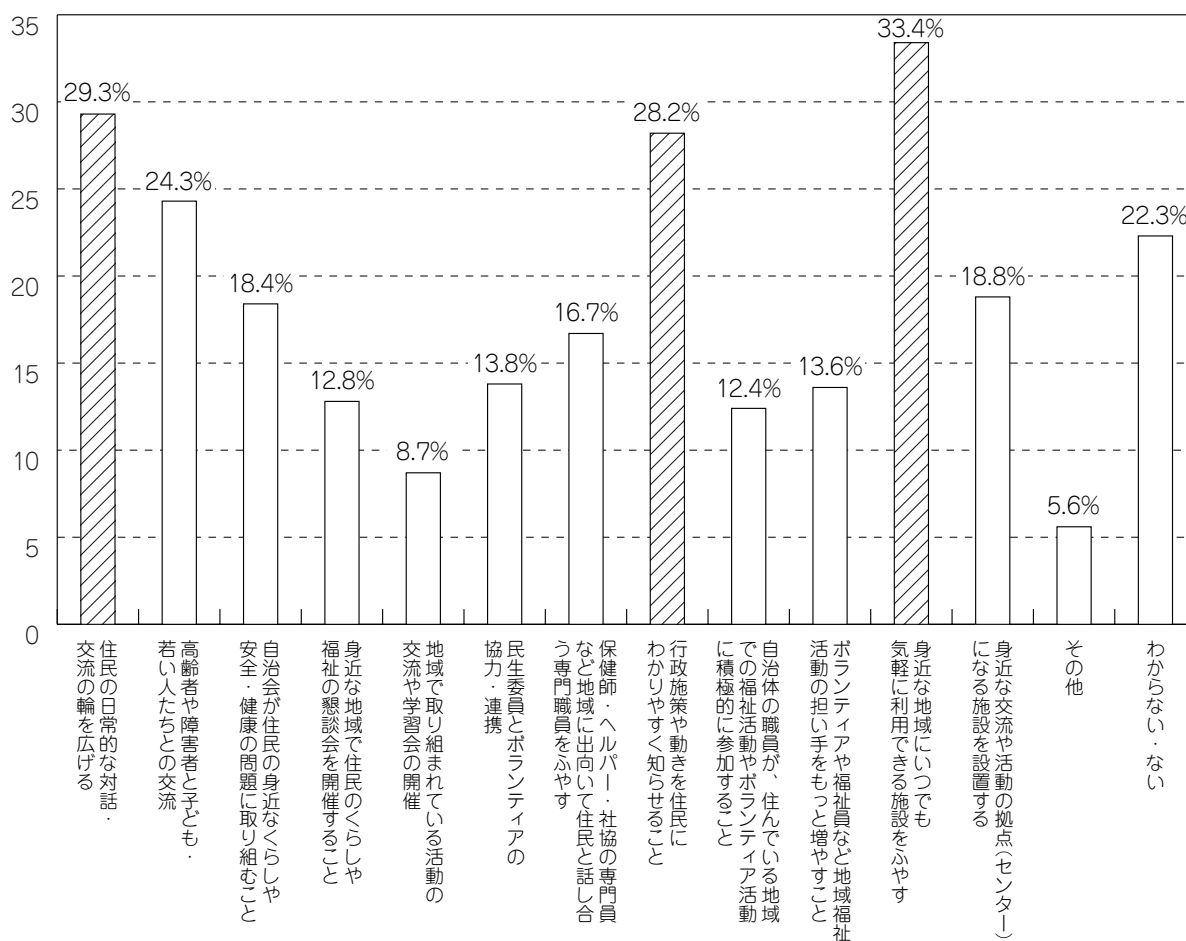
### 3 まちづくりに必要なこと

「お互いに力を合わせて、安心して暮らせるまちづくりをすすめる上で何とかしなければならないと思っていることは何ですか」との問に対する回答は、以下の通りである(図28及び表110)。

①身近な地域にいつでも気軽に利用できる施設をふやす(33.4%)、②住民相互の日常的な対話・交流の輪を広げる(29.3%)、③行政の施策や動きを住民にわかりやすく知らせること(28.2%)、④高齢者や障害者と子ども・若い人たちとの交流(24.3%)、⑤わからない・ない(22.3%)、⑥身近な交流や活動の拠点(センター)になる施設を設置する(18.8%)、⑦自治会が住民の身近なくらしや安全・健康の問題に取り組むこと(18.4%)、⑧保健師、訪問看護師、ホームヘルパー、ボランティアコーディネーターや社協の専門員など地域に出向いて住民と話し合う専門職員をふやす(16.7%)。

ここに指摘されている内容について、各地域で条件整備をしていくことと具体的な活動を展開していくことが求められている。

図28 まちづくりに必要なこと



地域別にみると（表111）、龍池ではすべての項目の指摘が高くなっている。とくに「身近な地域にいつでも気軽に利用できる施設をふやす」（51.1%）と「住民相互の日常的な対話・交流の輪を広げる」（42.0%）といった項目の比率が高い。

表110 階層別にみたまちづくりに必要なこと

	合 計	問24 まちづくりに必要なこと							
		住民の日常的な対話・交流の輪を広げる	高齢者や障害者子ども・若い人たちの交流	自治会が住民の身近な問題に取り組むこと	くらしや福祉の懇談会を開催すること	身近な地域で住民の身寄りや安全健康	学習会の開催	地域で取り組まれている活動の交流や	民生委員とボランティアの協力・連携
全体	485	142 29.3	118 24.3	89 18.4	62 12.8	42 8.7	67 13.8	81 16.7	
階層	経営者層	47	14 29.8	12 25.5	8 17.0	4 8.5	5 10.6	6 12.8	9 19.1
	ホワイトカラー層	53	17 32.1	21 39.6	10 18.9	4 7.5	2 3.8	4 7.5	7 13.2
	ブルーカラー層	25	8 32.0	7 28.0	6 24.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0
	不安定雇用者層	53	13 24.5	16 30.2	6 11.3	11 20.8	7 13.2	8 15.1	9 17.0
	自営業者層	164	52 31.7	29 17.7	31 18.9	23 14.0	12 7.3	21 12.8	26 15.9
	無業者層	143	38 26.6	33 23.1	28 19.6	16 11.2	14 9.8	26 18.2	28 19.6

表111 地域別にみたまちづくりに必要なこと

	合 計	問24 まちづくりに必要なこと							
		住民の日常的な対話・交流の輪を広げる	高齢者や障害者子ども・若い人たちの交流	自治会が住民の身近な問題に取り組むこと	くらしや福祉の懇談会を開催すること	身近な地域で住民の身寄りや安全健康	学習会の開催	地域で取り組まれている活動の交流や	民生委員とボランティアの協力・連携
全体	485	142 29.3	118 24.3	89 18.4	62 12.8	42 8.7	67 13.8	81 16.7	
地域	朱雀第一	88	27 30.7	14 15.9	16 18.2	18 20.5	7 8.0	10 11.4	15 17.0
	朱雀第五	79	22 27.8	18 22.8	16 20.3	9 11.4	3 3.8	12 15.2	11 13.9
	富有	88	24 27.3	21 23.9	10 11.4	3 3.4	8 9.1	10 11.4	15 17.0
	龍池	88	37 42.0	29 33.0	24 27.3	18 20.5	14 15.9	19 21.6	23 26.1
	教業	77	13 16.9	20 26.0	12 15.6	6 7.8	4 5.2	9 11.7	10 13.0
	立誠	65	19 29.2	16 24.6	11 16.9	8 12.3	6 9.2	7 10.8	7 10.8

地域活動類型別にみると（表112）、地域活動に参加していない層は「わからない・ない」が30.0%と高率となっている。それに対して、地域福祉活動やボランティア活動に参加している層では、それぞれの項目に関して高い指摘となっており、それらの層ではまちづくりの課題意識が高まってきているといえる。

知らせること	行政施策や動きを住民にわかりやすく	自治体の職員が、住んでいる地域での福祉活動やボランティア活動に積極的に参加すること	ボランティアや福祉活動の担い手をもっと増やすこと	身近な地域にいつでも気軽に利用できる施設をふやす	身近な交流や活動の拠点（センター）になる施設を設置する	その他	わからない・ない	無回答
137	60	66	162	91	27	108	3	
28.2	12.4	13.6	33.4	18.8	5.6	22.3	0.6	
16	5	4	18	9	-	11	1	
34.0	10.6	8.5	38.3	19.1	-	23.4	2.1	
16	7	7	21	10	5	7	1	
30.2	13.2	13.2	39.6	18.9	9.4	13.2	1.9	
7	4	5	9	4	1	4	-	
28.0	16.0	20.0	36.0	16.0	4.0	16.0	-	
15	6	3	16	11	2	13	-	
28.3	11.3	5.7	30.2	20.8	3.8	24.5	-	
51	20	23	50	29	12	38	-	
31.1	12.2	14.0	30.5	17.7	7.3	23.2	-	
32	18	24	48	28	7	35	1	
22.4	12.6	16.8	33.6	19.6	4.9	24.5	0.7	

知らせること	行政施策や動きを住民にわかりやすく	自治体の職員が、住んでいる地域での福祉活動やボランティア活動に積極的に参加すること	ボランティアや福祉活動の担い手をもっと増やすこと	身近な地域にいつでも気軽に利用できる施設をふやす	身近な交流や活動の拠点（センター）になる施設を設置する	その他	わからない・ない	無回答
137	60	66	162	91	27	108	3	
28.2	12.4	13.6	33.4	18.8	5.6	22.3	0.6	
31	12	11	30	20	5	17	1	
35.2	13.6	12.5	34.1	22.7	5.7	19.3	1.1	
17	4	7	25	12	5	18	1	
21.5	5.1	8.9	31.6	15.2	6.3	22.8	1.3	
23	10	11	17	10	4	22	-	
26.1	11.4	12.5	19.3	11.4	4.5	25.0	-	
31	19	21	45	27	3	14	-	
35.2	21.6	23.9	51.1	30.7	3.4	15.9	-	
16	8	6	21	7	6	25	-	
20.8	10.4	7.8	27.3	9.1	7.8	32.5	-	
19	7	10	24	15	4	12	1	
29.2	10.8	15.4	36.9	23.1	6.2	18.5	1.5	

表112 地域活動類型別にみたまちづくりに必要なこと

	合 計	問24 まちづくりに必要なこと							
		住民の日常的な 対話交流の輪を広げる	高齢者や障害者 たちとの交流	自治会が住民の身近 な課題に取り組むこと	身近な地域で住民の 会を開催すること	学習会の開催	地域で取り組まれて いる活動の交流や	民生委員とボラン ティアの協力・連携	保健師・ヘルパー・社協 の専門員など地域に出 向いて住民と話し合う 専門職員をふやす
全 体	485	142 29.3	118 24.3	89 18.4	62 12.8	42 8.7	67 13.8	81 16.7	
地 域 活 動 類 型	自治会のみ	36 33.3	6 16.7	5 13.9	1 2.8	2 5.6	2 5.6	5 13.9	
	行政協力型	61 24.6	15 29.5	18 23.0	10 16.4	5 8.2	13 21.3	11 18.0	
	子ども会・スポーツクラブ	19 42.1	8 21.1	4 15.8	3 10.5	2 10.5	2 10.5	3 15.8	
	くらしにかかわる 自主的活動	41 26.8	11 31.7	13 17.1	7 14.6	6 14.6	6 14.6	6 14.6	
	地域福祉活動	16 50.0	8 43.8	7 18.8	3 18.8	3 18.8	3 18.8	5 31.3	
	ボランティア活動	61 36.1	22 34.4	21 26.2	16 19.7	12 16.4	10 18.0	11 24.6	
	くらしや健康に関わる 自主的学習会	4 75.0	3 75.0	3 50.0	2 75.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0
	参加していない	247 25.5	63 18.6	46 15.8	39 10.1	25 7.5	12 3.6	28 7.2	35 7.2



知らせること	行政施策や動きを住民にわかりやすく	自治体の職員が、住んでいる地域での福祉活動やボランティア活動に積極的に参加すること	ボランティアや福祉活動の担い手をもっと増やすこと	身近な地域にいつでも気軽に利用できる施設をふやす	身近な交流や活動の拠点(センター)になる施設を設置する	その他	わからない・ない	無回答
137	60	66	162	91	27	108	3	
28.2	12.4	13.6	33.4	18.8	5.6	22.3	0.6	
9	4	6	10	6	5	6	-	
25.0	11.1	16.7	27.8	16.7	13.9	16.7	-	
12	8	10	19	9	3	11	1	
19.7	13.1	16.4	31.1	14.8	4.9	18.0	1.6	
6	3	3	8	5	1	6	-	
31.6	15.8	15.8	42.1	26.3	5.3	31.6	-	
11	4	5	18	12	5	7	-	
26.8	9.8	12.2	43.9	29.3	12.2	17.1	-	
5	4	5	6	5	1	-	-	
31.3	25.0	31.3	37.5	31.3	6.3	-	-	
25	13	13	25	17	3	4	-	
41.0	21.3	21.3	41.0	27.9	4.9	6.6	-	
1	2	1	3	3	-	-	-	
25.0	50.0	25.0	75.0	75.0	-	-	-	
68	22	23	73	34	9	74	2	
27.5	8.9	9.3	29.6	13.8	3.6	30.0	0.8	

分析：中京区地域福祉活動計画策定作業委員長 藤井伸生  
(華頂短期大学助教授)



**第二部**  
**中京区民の福祉のまちづくり**  
**区民フォーラム 1.シンポジストの報告**

区民フォーラム 1.

開催日 平成14年7月10日(水)

開催場所 全日空ホテル 平安の間

# シンポジストの報告

## 報告〈1〉学区社会福祉協議会の取り組み

志知 光恵 氏（朱一学区社会福祉協議会会長）

### ① 組織と活動について

朱一学区社会福祉協議会が社協としての活動に本格的に取り組み始めたのは中京区社会福祉協議会が平成六年に法人化された頃で、これからの高齢化社会においてその活動がますます重要視され期待されている団体であることを再確認しました。この法人化を契機に朱一社協も会則の改正、団体の強化に取り組み、若い人にも役員として加わってもらい区社協の指導のもとに活動を活発化し、布団乾燥サービス、配食サービス、困り事何でも相談、学校行事、体振行事との連携そして高齢者の茶話会、敬老活動にも細やかに心配りをしながら活動してきました。また平成八年には「朱雀大路」という広報誌を発行し学区の全世帯に配布し、学区社協の活動を知ってもらえるようにしました。「朱雀大路」創刊第一号は平成八年11月です。現在、平成十四年三月で10号を発行することが出来ました。これまでは年2回の発行でしたが、今年度からは年3、4回の発行になればと思っています。

### ② すこやかサロンについて

平成8年からの役員の方々の増強もなんとかまとまり、これまでの活動が順調とはいかないまでもスムーズに運べるようになりました頃、平成12年度に区社協より「学区社協モデル推進地区」の指定を受けました。すこやかサロン学級の提起ということで思いも新たにしました。まず、サロン事業を始めるにあたって「どこで、誰が？」との問題から予算のこと等、いろいろ頭の痛いことでしたが何度も役員会を開催し、また区社協にも助言をいただき皆で取り組んでみようとして決定し実施に向けて前進することになりました。それには、朱一学区の住民で区社協主催の3級ヘルパー資格が取れる介護ボランティア養成講座を受講された方を学区社協の役員になっていただきました。その方の加入により「すこやかサロン」事業推進の大きな力になりました。他の受講生の方も学区の各団体で役員をされている方が多く、区社協事業に協力されているボランティアの方々にも協力してもらえるように要請し心良く承諾して頂きました。実施にあたっては一緒に活動していただく担い手さんを確保しなくてはと学区に呼びかけることになり、チラシ、ポスター、回覧板、口コミとあらゆる方法でボランティアさんの募集を行ないました。そうしたところ、2週間で40名ほどの応募をいただきみんな感激いたしました。ボランティアさんのなかには、看護師さん、美容師さん、少林寺拳法の先生で整体の免許をお持ちのかた、鍼灸師、また書道の先生、セラピー体操の先生、3級ヘルパーの方々等いろいろな特技を持った人達など、今までぜんぜん知らなかった一面を知り聞いてみるものだと思った次第です。実施場所はとりあえず、学区の自治会館である朱一会館として2週に一回実施することになり「朱一すこやかサロン」と名付けました。ですがここは2階ということもあり朱一小学校のコミュニティールームの使用許可を学校側との話し合いで京都市に対して学校施設の地域開放を進める「学校ふれあいサロン事業」の展開を望む要望書を校長先生、地域の各団体名で提出しました。そうしたところ、思ったより早く許可を得て改修工事も可能になりました。開所日（平成12年7月）より2ヶ月後には、

朱一小学校コミュニティールームでの「朱一すこやかサロン」の開催がスタートしました。

それまで実施にあたって学区社協の中に「すこやかサロン部会」を設置し、応募頂いたボランティアさんが部会員となり、この「すこやかサロン」部の部長には、3級ヘルパーの資格を持つ新役員の方になっていただきました。開設に向けて具体的な取り決めをするため部会員と学区社協役員から開設企画員を選出し6月半ばから毎週会議を重ねました。開設企画委員会の議長には部長にお任せしました。事務的に大変慣れておられ開設企画会議のスケジュールや資料、チラシ、サロンのパンフレット等パソコンで器用に作ってくださり会議当日は議長として見事に仕切ってくださいました。開設企画会議には企画委員のほか、学区社協の役員や部会員さんの参加もあり熱心な議論を展開していただきました。そのような応募頂いたボランティアさんをA、B、C、の3班に分け役員も3班に分かれそれぞれの班が1回のサロンを担当することにしました。開設企画会議を経ての開所日の10日前には部会員と学区社協役員が一同に会してボランティア研修会を開催しました。これは「すこやかサロン」の実施にむけて担い手全体で具体的に事業の流れを把握しボランティアの役割を確認しレクリエーションの実技講習を行なったものです。ゼロからのスタートで大変なことでしたがいろいろな人にご協力いただき何とか実施にこぎつけることができました。会場となるコミュニティールームに自治会の補助や寄付、学区社協からの出資金などで血圧計や調理用品などを用意し又テレビ、ビデオの設置も学校側で整えていただき利用者のおいでを待つことになりました。

平成12年7月20日に開所となりました「すこやかサロン」の1日の流れを追ってみますと受け付けで各自名札をつけていただきます。健康チェックは血圧を測りその日の気分やひざや腰の痛いところを聞きます。それぞれ利用者の方は定期的にお医者さんにかかっておられるので簡単なチェックにしました。すこやか体操がすめばいよいよプログラムの開始です。当日のプログラム作りもA、B、C、各班が責任をもって連絡を取り合いながら計画を立てやっています。最初の頃は、もの作りのプログラムが多かったです。各役割分担も最初からきっちり決めずに当日出席されるメンバーによって臨機応変に対処できるように、また全体のながれを各部署でつかんでいただけるようにと思ったからです。最近ではそれぞれ自分にあった部署でお世話されています。また現在の利用者の申し込み数は60名余りになり1日の最高参加数は28名でした。まだまだもう少し参加していただきたいと思いプログラムにメリハリをつけ定期的にふれあいの里行きやお花見、レクリエーションと外に出かけることも考えています。また考えなければならない点もあります。ボランティアさんが手伝いすぎたり目一杯のプログラムで利用者が疲れてしまうといったことなどで最近では雑談の時間を設けるなど世話をする方もリラックスするようにしています。このようなさまざまな意見をまとめ考えた結果、A、B、C班のボランティアさんと役員ですこやかサロンの全体会議を開催することにしました。失敗談やあすれば、こうすればの意見もありレクリエーションやもの作りをもっとバラエティーに富んだものにするには各班との連携をもっと密にするように話し合いの回数を増やすためリーダー企画会議の設置をきめました。企画会議、全体会議、ボランティアの研修会も含め定期的な開催を考えています。

### ③ 困りごと相談

朱一社協の活動には始めに申したとうり「すこやかサロン」事業だけでなく「困りごと相談」も月に1件から3件はございます。対象となる方は、1人でお住まいのお年寄り、老夫婦のご家族、身体の不自由な方、母子家庭、女性のみのご家庭です。困りごとの例として玄関のカギの修理、床の板の

張り替え、ストーブをしまい扇風機を出す、床の傾きを直す、池の鯉を神泉苑の池にはなすなどです。相談部の方のお話では、1度相談にのると顔見知りになりその後気軽に電話をしてこられ愚痴や世間話をなさるようになるといわれています。

#### ④ 朱一小学校の児童との交流

朱一小学校の児童達との交流も第2土曜日の「いきいきサタデー」で年に何回か他団体と一緒にします。その一つである七夕茶会は今年で3回目になります。笹飾りは「すこやかサロン」の高齢者の人達の手作りで児童達がそれを笹につけて学校の玄関と廊下に飾り、食堂では抹茶の接待を3年生が受け持ちます。高齢者がお客様になり3年生が浴衣をきてお運びをします。また6年生の体験活動ということで、高齢者のお宅訪問や秋祭りには車イス体験、現在までは、「すこやかサロン」の開所日は隔週の土曜日の午前10時から午後2時ですが、学校側から月1回は児童の登校日に開所していただけないかとの申し入れがありました。児童だけでなく先生方もサロンに参加したいとのことなので企画会議にかけ検討しなくてはと思っています。「すこやかサロン」も6月29日土曜日で開所から50回になりました。平成14年7月で2周年を迎えます。赤ちゃんのハイハイからやっと立ち上がりヨチヨチ歩きができるようになったと感じています。

#### ⑤ 「すこやかサロン」を始めて良かったこと

この事業を始めて良かったと思えるのは、これまで地域の行事や交流など無関心で参加のなかった公団住宅にお住まいの高齢者の方の参加も2、3名と来ていただけるようになったこと、そしてボランティアとしての参加者もあり亀の歩みのごとくではありますがこれを機会に地域との交流、あらゆる年代層に広がっていくことを願っています。今まで公団住宅といえば区民運動会だけは熱心に参加され賞品を一手に引き受けておられたという印象だけでした。というのも児童数が多かったからではありますがそのほか夏祭りなどは団地だけで盛大に開催しておられます。地域に無関心であった住民の方が「すこやかサロン」に参加されるようになられたのは、この団地にお住まいのボランティアさんが熱心な方で口コミによるお誘いが大きく皆様の心に届いたのだと思います。まずは一歩前進ではないでしょうか。

#### ⑥ これからの課題

朱一学区にも最近マンションがたくさん建ちました。その中で地域の組織に入って居られる方は皆無といいでしょう。この人達と今後どのように接するかこれからの課題の一つであると思います。

### 報告〈2〉 区内の高齢者を支える関係施設から

安田 晴子 氏（壬生老人ホーム在宅介護支援センターケアマネージャー）

#### ① 支援センターの説明

京都市から委託を受けて、特別養護老人ホームや総合病院などに在宅介護支援センターというものが設けてあります。そこにはソーシャルワーカー、看護師など専門知識をもったものがおりまして、24時間体制で高齢者の総合的な福祉の相談窓口としてオープンしております。それが中京区にも4ヶ

所ほどあります。壬生老人ホーム、病院として丸太町病院、民医連中央病院、あとは聴言センターの方にデイサービスがありますがその中でも在宅介護支援センターというのがあり、中京区はこの4ヶ所の民間の総合窓口が設けてあります。

## ② 中京区の実態

次に、区社協から申し入れがあり高齢者のための相談をする会議を作ろうということで平成11年度から「中京区高齢者ネットワーク会議」というのを開いております。組織としては、区社協、支援センター、福祉事務所の高齢福祉の方、保健所の方、消防署の方、訪問看護ステーションとデイサービスセンターの所長などが集まり、毎回高齢者に関して今後どのようなことをしていったらよいかということとを相談しております。その高齢者ネットワークの中からもいろいろな問題が出てきましたので、今日、みなさんに少し紹介させていただきます。

第一に、ネットワーク会議で調べたこととして、介護保険を使った高齢者のサービスが中京区の中でどのように分布しているのかを調べました。それは、実はこのネットワーク会議のなかからあがった話ですが、現場で働いていますケアマネージャーなどからどうも東地区は、サービスが少ないのではないかと意見が出てきました。では具体的にどれくらいあって、どういうふうに地域でバラつきがあるのか見てみようということになり、地図におとしてみました。

私たちが実際に仕事をしていて堀川通りをはさんで東部と西部ではおもむきがかなり違うのではないかと印象を受けております。たとえば朱三学区に壬生老人ホームがありますが、ここは特別養護老人ホームとして、中京区に一ヶ所しかありません。特別養護老人ホームには、今のところ、デイサービスや老人ホーム、ショートステイという高齢者の方を短期でお預りする施設とかもありますし、入浴だけを目的にこられているという方など、いろいろな種類のサービスを受けられます。また、少しおもむきを変えた病院の付属の施設というのが朱八学区の西の京老人保健施設と丸太町病院のイリオスというのがあります。大型の施設というのはこの3件であとは梅屋学区にキョートケアハウスがあり少しお元気な方がお入りになる施設です。その他デイサービスやデイケアという入浴もできて車で迎えに行き1日預かっていただけるところは、堀川から西に集中しています。では東側は何があるのかといいますと小さな個人病院（医院）がやられている小規模のデイケアとヘルパーのステーションがパラパラと点在している状態です。

これをふまえ、壬生老人ホームの現状を説明しますと平成14年6月12日現在の特別養護老人ホームの入所待機者数は、女性の方338名、男性107名ということです。老人ホームの定員数は女性が40名、男性が10名しかありません。特養の申請者数というのは半年で50件ペース、一ヶ月で10件ぐらいいは、どんどん増えている現状で、今でもこの時よりは、一ヶ月たっていますので10件ほどふえているという状態です。男女の内訳は4：6で高齢者の人口と同じくらいです。特養というのは重度の障害を持った高齢者の施設ですので、車イスの方などがほとんどです。退所されるのは特養でお世話ができないほど病気が悪くなられた方、病院で入院治療が必要になられたような方、又は終身でお預りするのをお亡くなりになられた方、あとはご家族が家に引き取られた場合しか帰られません。現状で言うと退所の人数と言うのは、ほとんどがお亡くなりになられた人数なのですがそれが1年間に平均10名ぐらいいです。50名の定員で1年間に10名しか退所されません。その計算でいきますと、338名待機されているのを割りますと女性は42年待ち、男性は53年待ちという現状です。それは大きな数字で

はなく京都市全体がこういう数字になっています。中京区に1つしかない特養ですが上京区とか下京区とか、新しい施設はどんどん建っています。しかし新しい施設ほど申し込み数が多く北区の紫野にも新しくできましたが、待機は1000名だそうです。壬生老人ホームとは、桁が変わってきました。このような現状ですので申し分けないのですが、ここにいらっしゃる方はほとんど入れません。ですからそういうことをふまえていただいて、なぜこういう現状になってしまったのかを私どもの方から提起させていただきたいと思います。

中京区内の介護保険サービスを提供する施設は、不足しています。デイサービスは1日25名から30名で送り迎えをしてお風呂に入れて…というふうにしていますが、それでも待機はどんどん増えていきますし、ひどいところになると、半年ほど待たないと順番がこないという話もあります。在宅現場のケアマネージャーの意見として多いのは、ショートステイが不足しています。何かがあった時に、お年寄りをあずかって欲しいといわれてもお部屋の取りようがないのです。今、3ヶ月先の予約しかとれません。お盆のとき預かって欲しいと言われても今の時点では無理ということ。今日ではもう冬休みのことを考えて動いている現状です。というような状況ですのでかなり対応は厳しいです。しかし「施設にたよらないとお年寄りのお世話は出来ないのでしょうか？」というのが私たちが常々考えていることです。

デイサービス、デイケアに通っていただくこと、訪問看護婦さん、ホームヘルパーさんに家に来ていただくことは中京区内でだいたいカバーできるようになってきました。ただし、河原町より東、立誠、銅駝学区については、交通の便というのが問題になってきてかなりサービスを入れるのが難しいというのが現状です。そのような地域性はありますが、家で生活をするということに関してサービスはかなり充実してきています。ただ、「施設が足りない、預かってもらうところが足りない」というだけです。そういうことを中京区の方々としてどう考えていくか、それをみなさんに提起したいと思います。

### ③ サービスに頼らない高齢者の援助

最後に私が今回言いたいことで一番大きなことは、「サービスに頼らない高齢者の援助というものを考えていただきたい」ということです。それには、ボランティアさんの力というのは、とても大きなものだとおもいます。私どもが高齢者のお世話をしているときに何が困るか？ と言ったら「介護保険で対応ができないこと」です。介護保険のサービスはかなり充実してきています。ですから、買い物や調理や入浴はなんとかできるんですが、それで出来ないことが問題として残っております。「話し相手が欲しい」とか言われて病院の待合室がお年寄りの集会所になっているのではないかと、という話を聞きます。なぜ、病院に行かれるのでしょうか？ 元気なのに行かれているのですね。それはお話をする場所がないのではないかと思います。デイサービスを利用される目的の一つに「話しがしたい」、「社会との交流を持ちたい」というのがあります。それがもし地域で出来たら、一つの家に2-3人の高齢者が集まってしばらくお話出来る場所があれば、みなさん病院やデイサービスに集中しなくてすむのではないのでしょうか？ それボランティアの力でなんとか出来ないだろうか？ というのが私達の提案です。

もう一つ、大きくあるのが朝のゴミ出しです。これはヘルパーさんが対応できません。介護保険で朝のゴミ出しというのは認められていません。ですから、高齢者の方が「朝、七時半にゴミを出すの



が困る」と言われた時に頭を抱えます。私たちは運よくボランティアのサークルの方と知り合いになれたので、そこで相談させていただき「ゴミ出しのお願いできませんか？」ということを出しています。心良く引き受けていただいています。今のところ数世帯のお宅で喜んで頂いています。今一つ、ペットの問題で、犬などを飼っておられて高齢者の方が足を悪くされ、散歩につれていけなくて家の中や庭で糞をして困るということや、入院するので犬などを預かってもらえるところがなく処分するしかないという問題がおこっています。ですから、ペットの好きな方ちょっとご相談頂けたら、窓口で待っております。

あともう一つ、知っている人の世話はいやだという方は、施設でもボランティアを募集しています。難しいことは希望しておりません。本当に簡単なことで手伝っていただけたらと思っています。お年寄りがデイサービスに来られたときにお茶を出していただいたり…とかです。職員はお風呂やお食事やオムツ換えなどのお世話などに集中できたらとおもいます。その他、車椅子の車輪のゴミとりとか油さしとか、園芸なども一緒にして頂けたらありがたいです。また資料に載っている内容で「こんなことだったら私も出来るわ」ということがありましたら壬生老人ホームやデイサービスや病院などでも非常に喜ばれると思います。

## 報告〈3〉 地域子育て支援拡充事業からみる子育ての現状と課題

上岸 裕子 氏（京都市聚楽保育所職員）

私が担当しています地域子育て支援拡充事業の1年間の取りくみを報告し、感じたことなどをお話ししたいと思います。1997年に児童福祉法が改定され、保育所の役割として保育所保護者への就労と子育ての両立支援と地域住民への子育て支援がもりこまれました。

京都市は平成9年に策定された児童育成計画に基づき「地域子育てステーション」を平成18年までの10年間で180か所にすることを目標にしています。昨年4月に「地域子育てステーション」に指定されている公立保育所のうち9ヶ所に拡充事業担当の保育士が配置され、この事業がスタートしました。今年4月にさらに七ヶ所が指定され、現在市内で16ヶ所となっております。中京区の子育て支援ステーションは円町児童館、六満保育園、朱一保育所と、地域子育て支援拡充事業にも指定されている京都市聚楽保育所と京都市壬生保育所の5ヶ所です。〈H14現在〉

### (1) 地域子育て支援拡充事業

主な事業内容を紹介します。

#### ① 子育て相談

月に一度の相談日を設けていますが、主には園庭開放の時の立ち話のなかでの相談が多いのが現状です。昨年1年間で90件の相談がありました。

#### ② 子育て講座

子どもの発達や健康についての学習会や「子どもとおもちゃ」「歯の健康」についての講演会を開催したり、人形劇、コンサートを催したりします。

### ③ 子育て教室

10組前後の親子を対象に行っています。お母さん同士の交流を大切にしながら健康や栄養について保健師さん栄養士さんのお話を聞いたり、手作りおもちゃを作ったり保育園児との交流をしたりワンクール6回で取り組んでいます。現在、3期終了しました。

### ④ 園庭開放

週2回園庭を開放し自由に遊んでもらっています。夏にはプール開放も行っています。また週1回児童館との共催の遊ぼう会「じゅらく広場」をしています。

### ⑤ 出前保育

最寄りの公園に、紙芝居などをもって出かけています。「子育て通信」で予告しておく、普段人が少ない公園でもにぎやかになります。園庭には遊びに来られないお母さんにも「困ったときにはいつでも相談に来てください。」という事業の存在を知って頂きたいと思っています。

### ⑥ 子育て通信

朱二学区の回覧板に載せていただいています。民生委員さん、福祉事務所、保健所、区社協などにおかせていただき、毎月400部以上を発行しています。

### ⑦ 地域の関連機関などの連携

福祉事務所に置かれている支援センター主催の子育てステーション会議で情報交換をしたり、保健所と連携をし育児教室などに参加させていただいたり、学習会の講師を派遣していただいたりしています。家庭訪問に行かれたときに事業を紹介していただくケースもあります。

また区社協の地域福祉活動計画策定作業委員会に参加させていただいています。

### ⑧ 世代間交流

保育所の保護者会のお祭りや児童館祭りなどにも参加をしています。昨年は中学校のボランティアのみなさんとの交流もありました。

### ⑨ 子育てサークルの育成支援

この七月に子育て教室の3期生のお母さん方でサークルができました。出来たばかりですがお母さんたちの生き生きした顔が見られるように援助していきたいと考えています。

## (2) 1年間の取り組み

昨年4月に担当者になり、「まず事業が始まったことを知らせよう」「1人ぼっちのお母さんをなくそう」と取り組みを始めました。事業を始めて何より感じたのは、この事業が地域のお母さん方に大変待たれていた事業であるということでした。5月1日より園庭開放を開始し年度末には登録者数は180組

を超え、延べでは約1600組の参加がありました。園庭開放で昨年6月にきいたお母さんたちの声を紹介します。

- 遊ぶところや子ども達がまわりに少なかったのでとても嬉しい。上の子の時もこういうのがあれば良かった。
- 家では絵の具で描いたりはなかなかできないので経験ができて嬉しい。
- 親子で毎週楽しみにしています。前の晩、寝る前に「明日の先生のところ行こうな」というと「行こうな！」と賢く寝ます。親としてどうしたらいいのか少し考えてしまうような時良いアドバイスを頂いたりして助かってます。
- 安全な遊び場が出来て嬉しく思っています。
- 親子で新しい友達ができて良かった。
- 家では用事をしながら相手をするのでお互いがいらいらしてしまう。保育所にくるといろいろなお母さんと話ができて気分転換も出来るし子どもも自由に遊ばせてもらって心地よく疲れてお昼寝もよく眠るようになりました。これから子育ての上で不安や困ったことができたらいつでも相談できるので心強いです。
- 知っている人もいて知らない人もいるという環境は、子どもにも刺激になると思うのでもっと参加したい。

保育所は、育児のノウハウを蓄積しているところです。お母さんにとって保育所の園庭で遊ぶ良さは、わが子と同世代の子どもたちをプロが集団保育する様子が見られることや、幼児とのふれあいで今より成長した子どもの姿をイメージできることではないかと思います。また、子どもは遊びを模倣します。去年は園児の泥んこ遊びを見ていた子が今年は保育所の子に交じって遊ぶようになりました。聚楽保育所は90人定員ですが、定数の弾力化で0歳から就学前まで100人の子ども達がいます。もっと遊びに来ていただきたいのですが、受け入れ人数にも限界があるのも現実です。昨年10月からは年齢で2グループに分け遊びにきてもらうようにしました。

私は今まで保育所の保護者のお母さんしか知らなかったのですが、まず家庭で子育てしている方がたくさんいらっしゃる事に驚きました。そして始めて「親子2人の昼ご飯は寂しい」「ずっと2人で家にいると虐待してしまうかもしれない」などのお母さんたちのつらい気持ちも知ることができました。中には、初めての子育てでとても不安になられているお母さんもおられました。「今の季節、お布団は何をきせたらいいでしょう」「汗疹ができたら病院へ行くべきでしょうか」などの相談もありました。また、子育てにお父さんがどう関わるかで、お母さんの気持ちの負担が違ってくることがわかりました。「毎晩、夜泣きをされて本当につらい。夫に迷惑をかけまいとしてきたが、同じ部屋で寝てもらっただけでも心が安らいた」という声や、「夫は、子どもと1日中2人であるしんどさをわかってくれない」という訴えも聞きました。

月1回土曜日に「お父さんデー」をもうけています。2年めに入り、参加者が増えつつありますがまだまだ少ないです。お父さんたちは恥ずかしがりやです。もっと交流ができるような工夫が必要だと感じています。

昨年1年間で、園庭や公園で200組以上の親子と出会いました。そんな中で、私の役割について考え

てきました。まず、近所のおばさんのように話を聞く事、子どもたちと一緒に遊びながら、関わりかたや喧嘩の仲裁など出来るだけ具体的なアドバイスをすること。しかし、一番大切なのは、人と人をつなぐことではないかと思います。担当者になって初めは困っているお母さんがいたら、私の知っていることを知らせなくてはいけないと思っていました。しかし、事業を進めるうちに、お母さん達と一緒に考えよう、お母さんの持っている力を集めようとするようになりました。

毎月末に井戸端会議のようなイメージの「おしゃべりサロン」を取り組んでいます。子ども達と一緒になのでにぎやかすぎたり、話をしたいお母さんとは裏腹に子どもは外で遊びたがったりうまくいかないこともあります。ちょっと気になることなど出し合って、お母さん同士がとても元気になれる場面をみてきました。こういう時は、私も参加者の1人として、3人の子どもを育てながらしてきた失敗の数々を聞いてもらっています。お母さんたちとお話しながら「こうあらねばならない」とか「ちゃんとしてよう」とかあまり思わないほうがいい、「まあいいか」ぐらい肩の力を抜いたほうがいいんだなと改めて思ったり、「大人も子どももここが悪いと指摘されるよりもありのままを受け入れられた時にこそパワーが沸くんだ」と確信したり、この事業を通して私も成長させてもらった気がしています。

### (3) 今後の課題

今後の課題として三つあげます。

一つは、保健所の児童教室の卒業生のお母さん達で作っている子育てサークル「ばんざいニコニコきっず」の元気な活動や昨年一月に取り組まれた交流会「のんびりままの会」を見てもお母さんたちの皆とのつながりたいという要求を感じます。子育ての主人公はお父さんとお母さんです。今後、大事にしていきたい活動だと考えています。

二つめは、地域とのつながりです。子育て支援には、近所でお母さんのことも子どものことも知っている人々が必要なのではないかということです。学区単位くらいで何時いつでもいいサロンのようなところがあれば理想だと思います。私の仕事も園庭で遊んでもらうだけでなく、お母さんたちが地域に帰ってからの共同を強められるような視点は忘れないようにしたいと思っています。保育所は、働いているお父さん、お母さんにも地域のお父さん、お母さんにも開かれているという情報をもっと発信する必要性も感じています。保育所や保健所、福祉事務所、子ども未来館、児童福祉センターなどのネットワークでひとりで悩んでいるお母さんがいないように社会で支援できる体制をさらに充実することが必要だと思います。

三つめは、地域子育てステーションのない地域での活動です。子どもの分野においても堀川より東側には施設が足りていません。こどもみらい館以外には地域子育てステーションはありません。日彰学区のあるお母さんは鴨川を超えた保育所に入所しているそうです。幼稚園も少ないので困っているという声も聞きました。地域福祉活動計画策定の会議に参加しこの地域にマンションが増えていることを知りました。そこで出前保育の行先に本能公園、御射手公園を入れ、先日11箇所のマンションにピラの掲示をお願いにいきました。聚楽保育所は上京区、右京区にも近いこともあり園庭開放にも行政区を越えての参加があります。地域子育てステーションがあっても専任職員がいないと出来ない事があります。子育て支援には場所も人も必要であることを実感しています。

3月末にアンケートを取りました。その中に「子育ては辛いだけではないと分かった。」という言葉がありました。保育所職員みんなで戸惑いながら事業を進めてきましたが、喜びを感じることが出来

ました。今年はずでに園庭開放には115組の登録があります。6月から2人体制にもなりました。今後も人との出会いを大切に仕事を進めていきたいと思っています。

## 報告〈4〉 開かれた施設づくりと新しい福祉のまちづくり

羽根田 晴美 氏（第2みやこ共同作業所所長）

### —はじめに—

同じ福祉の分野でも、お年よりのこととかお子さんのことは、身近に考えられると思われるのですが、障害を持った人というのは、接し方が分からないとか、障害の種別もいろいろあるので分かりにくいのが現状だと思います。堀川通りから西の方が施設も多いですし障害の種別も色々あります。今、社会情勢が複雑で、精神の障害をもっている方が多くあり、そういう施設が増えてきているのが現状だともいます。

知的障害者の施設というところでお話をさせていただきたいと思っているのですがいわゆる認可施設といわれているところが知的障害者通所授産施設と小規模通所授産施設です。小規模通所授産施設は定員が11名から19名で一千万円の財産を持っていたら社会福祉法人になれるということで、借地でも一千万円の現金を持っていれば、持ち家なら一千万円はいらないということです。私どもはどちらにも該当しない小規模作業所、無認可作業所で、活動を始めてから23年になるのですけれど現在無認可作業所を2つ運営をしております。

### —数度の移転で失ったもの、そして新たな出会い—

無認可作業所は移転というのがついてまわります。自分達で持ち家を持っていないところが多くて私どもも何度も移転をし、一番初めは円町にありますバプテスト教会の一室をおかりしました。そこがスタートでした。それから転々と引越しをしてきまして、その中でもう一つ作業所が必要になるということで「下京みやこ」というのを開設しました。これは仏光寺のなかの大善院の住職である佐々木先生（元白川養護学校の先生）の理解でそこに2つめの作業所ができることになりました。作業所を作るということで檀家のみなさまや仏光寺の皆様にも佐々木先生が説得していただきここで10年間無償でお借りすることができました。もう一つの方が円町の方に3度目の移転でなんとかいられることになったのですが、円町駅ができる時期でもありまして「下京みやこ」の方も10年間の期限がきれるということになり、それで合併で移転しようということになりました。京都市の方にもお世話になりながら物件を探しました。しかし、どちらの作業所も利用者の方16名、職員4名で合計40名が移動することになるとなかなか物件がありませんでした。仲間（利用者）達がバスで通勤していることもありはずれの場所は難しく壬生の朱五学区にやっと見つけることができました。この場所は染物屋さんの工場の跡です。移転費用が1千万円ほどかかりましたがやっと合併移転となりました。壬生にくるまでのそれぞれの10年間は地域のいろいろな活動にお誘い頂いたり楽しくさせていただきました。そのつながりを切ってまた新しいところで地域との交流をつくって行かなければならなかったことが今までの移転で一番つらかったことです。

## —第2みやこの開設—

この朱五学区壬生東大竹町にきました。5年契約なので入った時から次の移転場所を探さなければなりません。授産所は定員数が決まっています。養護学校を卒業したかたは共同作業所にこられます。共同作業所も増えてきていますが私どものほうも45、6名という多くの仲間が大竹町にいました。職員数を合わせると50名から60名になります。その人数を収容できる施設を探すために不動産屋さんのファックスを100件ほど見ました。私どもは認可施設ではないので補助金だけでは家賃50万円はとても捻出できず、50万円も出して行くのであれば買う方向で考えて探して行こうということになりました。そこで見つけたのが西大路六角にある物件で、保護者会が移転の為に長い間貯めてこられた2千万円をもとに銀行でお金を借りました。その当時、無認可の共同作業所にお金を貸すのは初めてのことだということでした。施設も無認可ですからもう一つの作業所の所長の個人名で住宅ローンということで貸していただくことができました。それが5年ほど前になるのですが西大路六角に全員移転したので60坪ですがそこでもどんどん仲間が増えて47名ほどで限界になってきました。そこで「第2みやこ」を開設しようということになりました。これも朱五学区の大竹町なのですが、なぜか朱五学区に縁がありまして、施設に対して反対があるのではないかと心配していたのですが、本当に心良く受け入れていただくことができました。「第2みやこ」をなぜ開設したかといいますと、障害の種別もいろいろで、障害の重い人、軽い人がおられて同じ仕事を一緒にやっていくことに難しさがあります。それで、清掃の仕事を主にしていくということで「第2みやこ」を開設させていただきました。現在、生協北支部その他のメンテナンスの仕事をしています。

## —仲間の給料保障と、市民とのふれあい—

次に仲間の給料というのが出てくるのですが、これだけ仲間が多くなってくると給料を稼ぐのは大変になってきています。当初200円からスタートして300円、350円になり昨年には1日380円ということになりました。「毎月赤字やな」と言いながら30円アップすることは本当にたいへんです。また有給休暇ということが障害者施設では画期的なのですが新しく設けました。

## —今、作業所と地域を結ぶのは—

不況でお仕事をもらっていたところがやめられて仕事なくなってきました。中京区で「中京西部まちづくりを考える懇談会」という会ができました。私共もこの会に入っているのですが、そこでは商店街の人や障害者施設、病院の方などいろいろなひとが二条駅周辺をもう一度にぎやかになるようにということで懇談会が設けられています。それで病院や二条商店街の催すお祭りによんで頂き交流ができることになりました。生協が二条駅に出店されることになり、障害のある方の交流の場所ということで喫茶店のお話をいただきました。ここで喫茶店をすることで、一般の方とふれあい、また仲間の給料保障にもなるのではないかとということで、この5月からさせていただいております。作業所は、どうしても常にお金を生み出していかねばならず運営、仲間の給料のためにも外へ外へと出ていっています。地域の方との交流はどうかということ、地域のかたが作業所に来ていただくことはほとんどないのでそれをどうすればよいか考えました。それにはお店作りがいいのではないかとということで六角のところで「ソフトクリームのお店」をしました。今、やっと定着しまして夕方子どもさんや年

配の方がお子さんを連れてこられたり、両洋の学生さんに寄っていただいたりして「何してはんの？」と聞いていただいたりして会話が弾んだりしています。もう一つ、もっと来ていただくことはないかと考えていたところ、二条店の生協の「ステーション」の荷物を預り作業所にとりに来ていただくということをやりましたところ、何名かがきていただき「何かお手伝いがあれば教えてください。」とやっと話が広がってきました。

他の施設もお店づくりなどで地域との交流をされてきています。こういうお店がどんどんできてくれればいいなと思います。どこの障害者施設でも同じだと思うのですが地域の方との交流というのは入りにくく難しいのではないかと思います。声をかけていただければ参加したいと思っています。

起稿：中京区地域福祉活動計画策定作業委員 小林敬子  
(ふれあいほうむ “どうぞ” 代表者)

**中京区民のくらしの実態と地域福祉の課題**  
**中京区民生活実態調査結果と区民フォーラム1シンポジウム報告**

2003年3月発行

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2

TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829

<http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06>